

平成16年度（第48回）
岩手県教育研究発表会発表資料

総合的な学習の時間

**教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間
の改善に関する研究**
- 総合的な学習単元カリキュラムのリフォームをとおして -

研究協力校

東和町立土沢小学校

花巻市立花巻北中学校

平成17年2月9日
岩手県立総合教育センター
教科領域教育室
齊藤 義宏

目次

研究目的	1
研究仮説	1
1 基本仮説	1
2 第1年次の作業仮説	1
3 第2年次の作業仮説	1
研究の年次計画	2
本年度の研究の内容と方法	2
1 研究の目標	2
2 研究の内容	2
3 研究の方法	2
4 研究の対象	2
研究結果の考察	3
1 総合的な学習単元カリキュラムの基本的な考え方	3
(1) 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の基本的な考え方	3
(2) 総合的な学習単元カリキュラムのリフォームについての基本的な考え方	3
(3) リフォーム試案に基づく改善の方向	3
2 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の改善に関する取り組み事例	3
(1) リフォーム試案に基づくリフォームの実際	6
(2) 総合的な学習単元カリキュラムに基づく指導実践と考察	15
3 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の改善に関する研究のまとめ	19
(1) 成果	19
(2) 課題	19
研究のまとめ	19
1 研究の成果	19
2 今後の課題	20

【参考文献】

【別冊資料】

研究目的

生きる力をはぐくむ総合的な学習の時間が試行期を経て実践段階に移り、着実な成果を上げつつある。一方、教科における基礎的・基本的な内容の確実な定着を求める要請が高まる今日、教科との関連を図りながら、児童生徒の資質や能力を一層高める総合的な学習の推進が強く求められている。

しかし、各教科で身に付けた学習の内容や方法、知識や技術などを総合的な学習の時間に十分に生かした実践例や、総合的な学習の時間で培われた自主性や課題解決の力などが、教科の学習の中に具体的に現れている実践例が多いとは言えない現状がある。これは、計画段階において互いに相乗・補完し合う資質や能力などの関連を意図したカリキュラムの構成がなされていないことによるものと考えられる。

このような現状を改善するためには、これまでの総合的な学習の時間の学習単元カリキュラムを教科との関連から分析と考察し、生きる力につながる学習意欲や学び方などを仲立ちとし再構成、すなわちリフォームする方法や手順を検討し、児童生徒の資質や能力を一層高めるための在り方とその方法を構造化する必要がある。

そこで、この研究は、総合的な学習の時間の単元カリキュラムのリフォームをとおして、小・中学校における教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムの在り方を明らかにし、総合的な学習の時間の改善に役立てようとするものである。

研究仮説

1 基本仮説

全国及び本県における総合的な学習の時間の学習単元カリキュラムにおける教科との関連の状況を先行事例等により把握し、その分析と考察の上に立って、総合的な学習の時間の単元カリキュラムをリフォームする方法や手順を検討し、教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムの在り方を提示するならば、総合的な学習の時間の改善に資することができるであろう。

2 第1年次の作業仮説

作業仮説1

総合的な学習の時間と教科の学習において、学習内容と学び方に視点を向けると関連の方向性が見られるであろう。

手順1

総合的な学習の時間の学習単元カリキュラムにおける教科との関連状況を把握する。
・先行事例の収集 ・中教審中間まとめ 等

作業仮説2

観点別学習状況の評価を基にして、教材や題材、学習活動と資質や能力を分類・整理すれば、関連事項が明らかになるであろう。

手順2

総合的な学習の時間と各教科の中に見られる学習内容と学び方における関連性を検討する。
・先行事例の分析・考察 ・学習活動
・支援(内容・方法) ・評価の観点、規準

作業仮説3

明らかになった関連事項を「どのように」つなげるかを工夫すれば、教科との関連を図る総合的な学習の時間のリフォーム試案を作成することができるであろう。

手順3

教科との関連を図る総合的な学習の時間のリフォーム試案を作成する。
・リフォームする方法や手順

3 第2年次の作業仮説

作業仮説1

作成したリフォーム試案を基に、学習単元カリキュラムをリフォームすれば、教科との関連を図る学習活動が展開できるであろう。

手順1

リフォーム試案に基づき、学習単元カリキュラムを立案し、指導実践を行う。
・リフォームの具体化 ・学習活動の展開

作業仮説2

指導実践による考察を加え、先進的な実践例の整理を行い、それを併せることにより、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」を作成することができるであろう。

手順2

「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」を作成する。
・指導実践による考察(関連教科、関連の考え方、手だて、児童生徒の意識 等)
・先進的な実践例の整理

研究の年次計画

この研究は、平成15年度から平成16年度にわたる2年次研究である。

第1年次（平成15年度）

教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の基本的な考え方の検討、基本構想の立案、先行事例の分析と考察、教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間のリフォーム試案の立案

第2年次（平成16年度）

教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムの立案、指導実践、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」の作成及び研究のまとめ

本年度の研究の内容と方法

1 研究の目標

教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間のリフォーム試案を基に、教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムを立案する。それに基づく指導実践を行い、その結果の考察をとおして、リフォーム試案の妥当性の検討を行い、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」を作成する。

2 研究の内容

- (1) 教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムの立案
昨年度作成したリフォーム試案を基に、教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムを立案する。
- (2) 総合的な学習単元カリキュラムに基づく指導実践と考察
教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムに基づいた指導実践を行い、その結果について、関連の考え方、手だて、児童生徒の意識等に視点を当てて考察を行う。
- (3) 「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」の作成
学校における積極的な実施に資するために、実践結果の考察による改善を加え、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」を作成する。
- (4) 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の改善についてのまとめ
「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」の作成をもって、研究のまとめとする。

3 研究の方法

- (1) 指導実践
教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムについて、研究協力校において実施し、その仮説の妥当性を確かめる。
- (2) 記録法
指導実践の中で、総合的な学習単元カリキュラムを用いた教育活動の成果や児童生徒の様子を記録し、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」を作成する。

4 研究の対象

- (1) 研究協力校
東和町立土沢小学校 花巻市立花巻北中学校
- (2) 研究協力の児童生徒
東和町立土沢小学校第5学年 17名
花巻市立花巻北中学校第3学年 144名

V 研究結果の分析と考察

1 総合的な学習単元カリキュラムの作成

教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の基本的な考え方とそれに基づく基本構想及びリフォーム試案については、本研究の第1年次（平成15年度）に明らかにした。この第1年次の内容は、第2年次の研究内容である「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」の基盤となるものであり、以下にその概略を示す。

(1) 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の基本的な考え方

教科から総合的な学習の時間へ向けて、発展し深化する学習活動を設定できれば、教科と総合的な学習の時間が相互に補完しあって、児童生徒に生きる力を育むことができるし、総合的な学習の時間から教科へ向けて発展し深化する学習活動を設定することができれば児童生徒の学校生活はより深まり、学習意欲の向上へつながると思われる。

教科との関連を考える原則

総合的な学習の時間と教科とは、それぞれがもつ次の二つの特質から相互の関連を図るようにする必要がある。

教材や題材、学習活動による関連

身に付けた資質や能力による関連

(2) 総合的な学習単元カリキュラムのリフォームについての基本的な考え方

総合的な学習の時間においては、教育課程の趣旨（課題について知識を身に付けることや課題を具体的に解決することが目的ではない）を踏まえることが大切であり、内容も学び方を重視する。しかし、教科等における学習内容・方法の定着がなければ総合的な学習の時間が十分に展開されない。総合的な学習の時間が教科等と関連して十分に展開されるためには、総合的な学習の時間が学校全体の教育課程に位置付き、根付くものにする必要がある。

本研究においては、学習単元カリキュラムをリフォームすることによって、各教科の学習で身に付けられた知識や技能、資質や能力などを生かし、それらをつなげながら学んでいくという質の高い「学び」を期待し、研究を進めた。

本研究におけるリフォーム

教科との関連を図る学習単元カリキュラムの在り方を提示するために、総合的な学習の時間の実践の蓄積の中から、望ましい総合的な学習の時間の姿を再構成していく作業

作業の視点としては、次の4点である。

- ・学習した教材や題材、学習活動が、総合的な学習の時間にどのように関連しているか。
- ・教科の学習で身に付けた資質や能力が、総合的な学習の時間にどのように関連しているか。
- ・総合的な学習の時間の学習の成果や経験などが、教科の学習にどのように関連しているか。
- ・関連事項をつなげる手だてをどのようにするか。

(3) リフォーム試案に基づく改善の方向

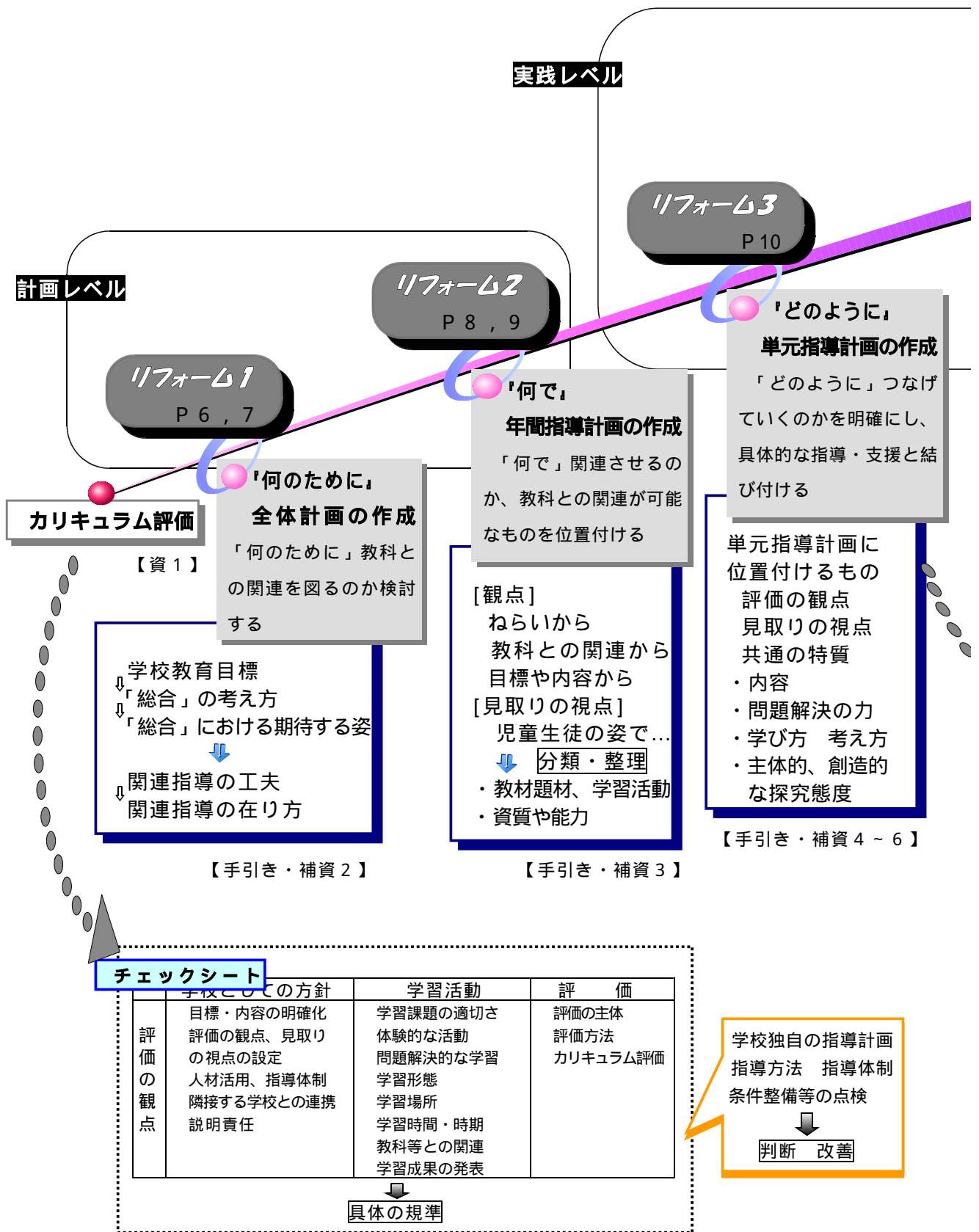
次頁【資料1】参照

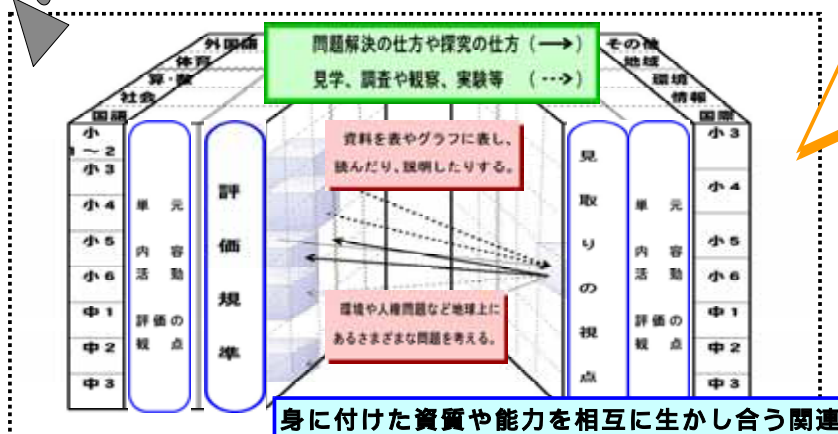
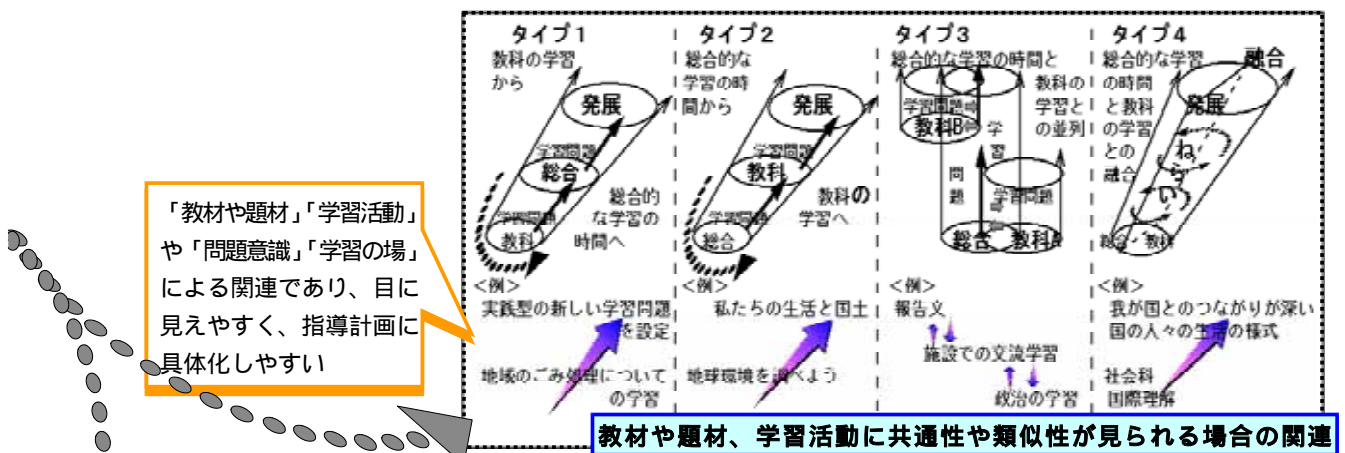
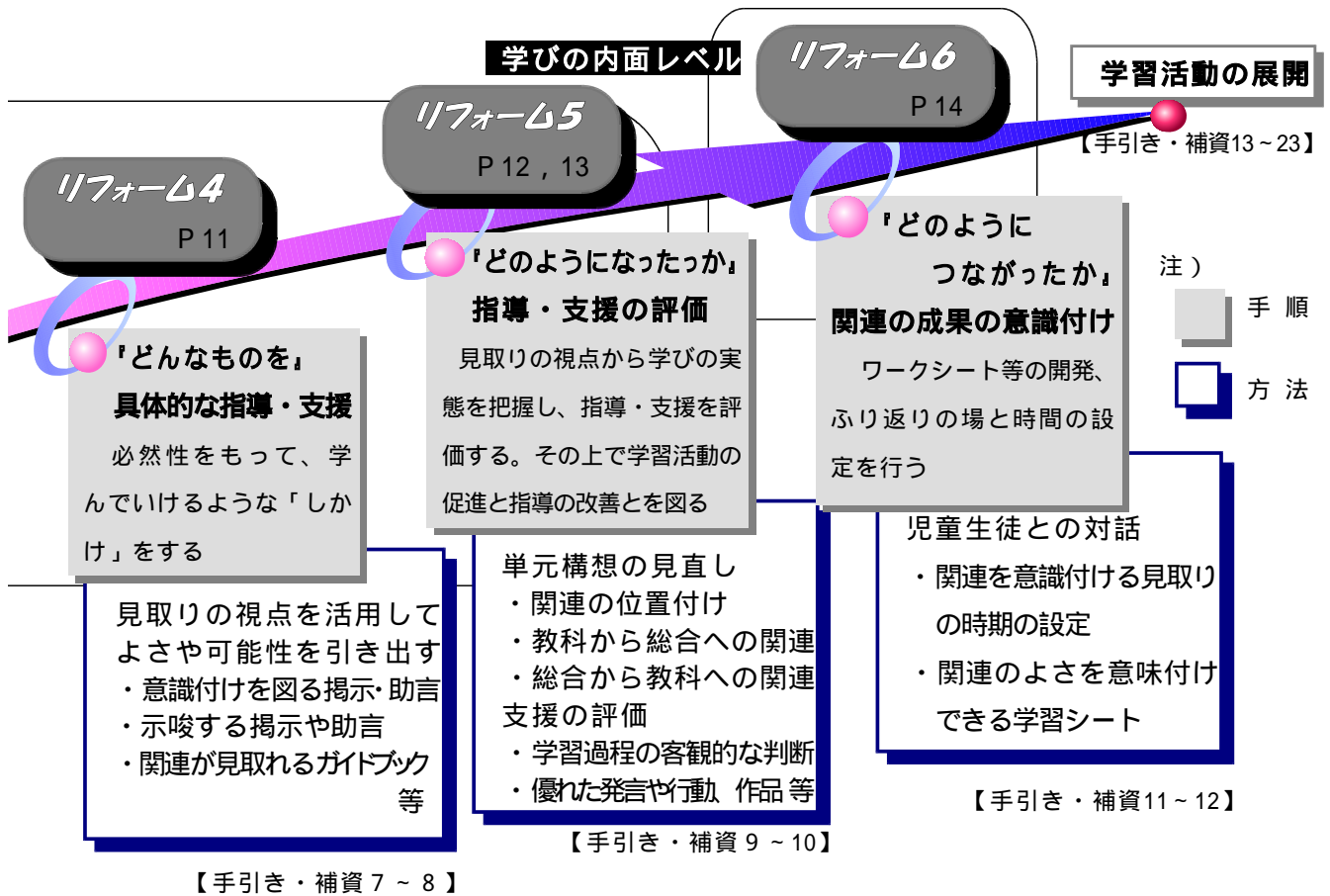
2 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の改善に関する取り組み事例

- 「総合的な学習単元カリキュラムのリフォームをとおして」の実践による考察 -

本研究が提示した総合的な学習単元カリキュラムのリフォームを生かした総合的な学習の時間の改善に関する基本的な考え方（リフォーム試案）について、その一端を取り込んだ独自の取り組み及び学習活動を研究協力校それぞれが展開した。その事例を紹介するとともに、リフォーム試案についての考察を加えることとする。

【資料1】 リフォーム試案に基づく改善の方向





相互に支え合う力を総合的な学習の時間と教科の中に見いだした関連が図られる

(1) リフォーム試案に基づくリフォームの実際

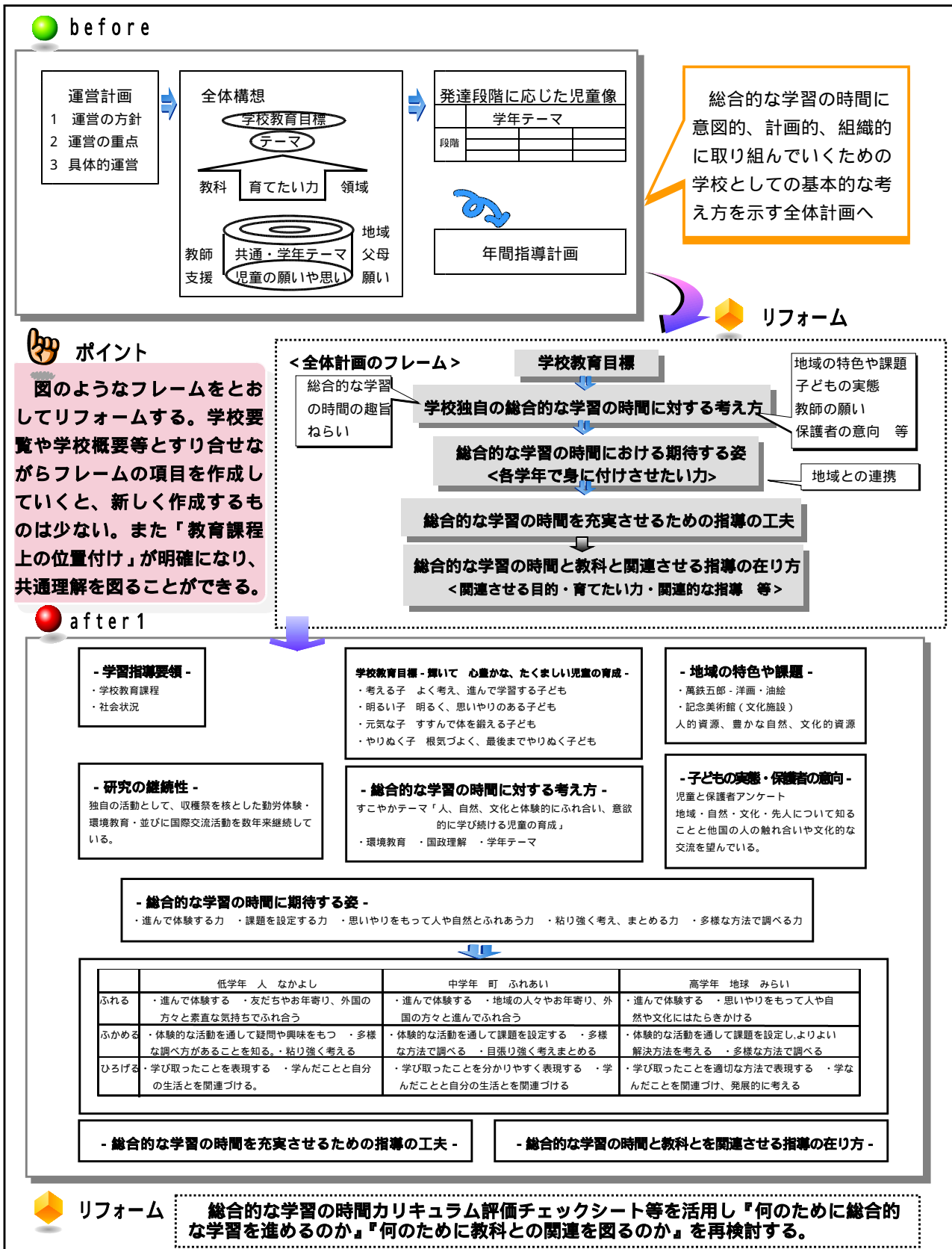
リフォーム1「何のために」

計画レベル

全体計画の作成のポイント

「何のために」教科との関連を図るのが、どのような力を育てたいのかを十分に検討し、共通理解を図る。

全体計画では、総合的な学習の時間に対する学校としての基本的な考え方をきちんと示した全体構想が必要であり、その全体構想によって学習活動の意味付けがなされ、評価が行われるものとする。



- 関係法規 -
 ・学習指導要領
 ・学校教育課程
 ・社会状況 等

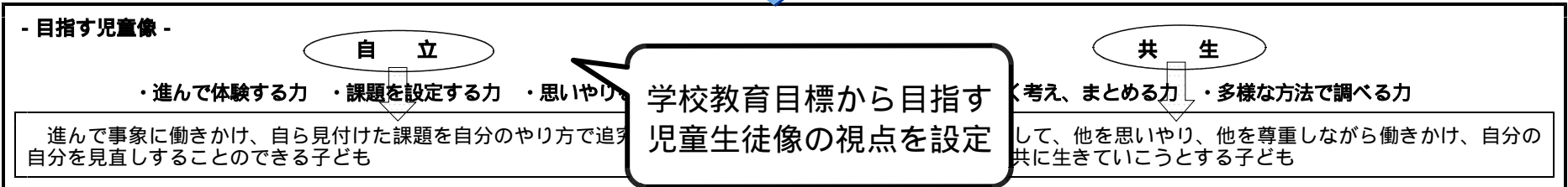
- 学校教育目標 -
 輝いて 心豊かな、たくましい児童の育成
 ・考える子 よく考え、進んで学習する子ども
 ・明るい子 明るく、思いやりのある子ども
 ・元気な子 すずんで体を鍛える子ども
 ・やりぬく子 根気強く、最後までやりぬく子ども

- 地域の特徴や課題 -
 ・周囲を緑に囲まれ、自然環境が豊か
 ・萬鉄五郎 - 洋画・油絵 記念美術館（文化施設）
 人的資源 豊かな自然 文化的資源

- 研究の継続性 -
 独自の活動として、収穫祭を核とした
 勤労体験・環境教育・並びに国際交流
 活動を数年来継続している。

- 総合的な学習の時間に対する考え方 -
 すこやか テーマ「人、自然、文化と体験的にふれ合い、
 意欲的に学び続ける児童の育成
 ・環境教育 ・国際理解 ・学年テーマ

- 子どもの実態・保護者の意向 -
 児童と保護者のアンケートから
 「すこやかな学習」
 地域・自然・文化・先人について知ることと他
 国の人のふれ合いや文化的な交流を望んでいる。



各学年の目指す児童像

	自立	共生
1年	進んで活動し、楽しむことができる子	自然や人とのかかわりを感じ、楽しむことができる子 体験や観察から、おもしろさや不思議さに気付く子
2年	思いや願いをもち、主体的に取り組む子	身近な人や動植物とのかかわりを大切にできる子 友達と相談したり工夫したりする子
3年	自ら課題を見付け、自分なりの方法で情報を集め、解決していくことができる子	課題を解決するために、身近な人や地域、自然と進んでかかわりながら、自他のよさに気付くことができる子
4年	自ら課題を見付け、自分なりの方法でねばり強く解決していく子	人や環境とかがわりながら、自分の考えを深めたり共感したりすることができる子
5年	自ら課題を見付け、主体的に行動することに喜びを感じられる子	目的に応じて他（人・物・環境）とかがわりながら情報収集し、自分の考えを深める子
6年	自ら課題を解決する過程で培ってきたことを進んで実生活の中に生かすことができる子	自ら進んで他とかがわり合い、共に生きる喜びを実感できる子

【生活科】
 1・2年生の学習内容についての大綱化を図り、子ども同士（友だち・上級生・下級生等）のかかわりを継続させて学習を展開する。
 具体的な行動や体験を繰り返すことを通して、学習したことを生活に生かす（生活化）方法や考え方に気付き、自主的に実践していこうとする態度を促す。

**総合的な学習の時間を
充実させるための
指導の工夫**

【「すこやか」総合的な学習の時間】
 児童が自ら見つけた課題について、計画を立てて自分なりの方法で追究・解決する学習を進める。
 追究活動を進める際の四つの重点
 興味・関心からの出発 地域に密着した活動
 教科関連・発展型の学習 体験活動の重視
 育てたい資質・能力に迫るための学習過程
 (1)ふれる (2)ふかめる (3)ひろげる

<学習活動>
自主的・創造的な学習活動

自己実現に迫る学習活動の工夫
・自己実現の目標を設定
・自己学習の計画を立てる
・自己学習の振り返り
・自己学習の発表・発表の準備
・自己学習の振り返り
・自己学習の発表・発表の準備

<指導計画>
「かかわり」と体験活動の展開

指導計画の作成
・展開の工夫
・調べ学習に偏らないような体験を重視した多様な展開
・子どもの思考の流れに沿った柔軟な展開

<評価>
個に応じた活動の見取り

評価観点・見取りの視点の作成
・<関心・意欲・態度><思考・判断>
・<技能・表現><知識の活用>の4観点の設定
・各学年・各単元毎に学習過程に沿った評価規準を作成
・評価方法の工夫
・ポートフォリオや振り返りカードによる自己評価の工夫
・情報交換、発表、作品紹介等の場の確保や振り返りカードによる相互評価の工夫
・個別相談、話し合いによる見取りと支援の工夫

<学習環境>
学習環境の整備・充実

情報教育環境の整備
・視聴覚室（PC室）の活用及びコンピュータリテラシーの育成
・インターネットの有効活用とマナーの育成
・図書資料の活用方法の指導
・校内環境の充実
・地域マップの作成
・学級園等の有効活用
・保護者、地域との連携及び協力体制の確保（学習協力者リストの作成）

カリキュラム評価チェックシートで指導計画、指導方法、指導体制、評価方法、条件整備等の状況を点検し、改善の重点事項を設定

- 総合的な学習の時間と教科とを関連させる指導の在り方 -
 本校の学校教育目標は「輝いて、心豊かな、たくましい児童の育成」であり、児童像の一つに「よく考え、進んで学習する子ども」を設定している。これは、基礎的・基本的事項を自分なりに活用して問題を粘り強く解決していく児童を想定し、そのための標準的な学習活動を構築することをねらいとしている。
 総合的な学習の時間と教科との関連を考えた場合、「問題解決の学習」の観点から、このことを踏まえ、「教材や題材、学習活動などに共通性、類似性」を有する教科や単元と関連させ、児童の資質や能力を一層高めることができると考える。特に、主題研究を行うこととする。

学校教育目標や総合的な学習の時間で目指す児童生徒像の具現化のために、教科で培う問題解決的な学習過程を中心に設定

国語	社会	理科	算数	音楽	家庭	図工	体育
<ul style="list-style-type: none"> 国語に対する関心をもち、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。 目的に応じて読みとったり読書に親しんだりする。 自分の考えを豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象に関心をもち、それを意図することを通して、社会の一員として自覚をもって責任を果たそうとする。 社会的な事象から学習問題を見だして追究・解決し、社会的な事象の意味を考え、適切に判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事象・現象を観察し、実験を計画、実施し、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、それらの過程や結果を的確に表現する。 自然現象の性質や規則性、相互の関係などについて理解し、それらについての考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形についての表現や処理にかかわる技能を身に付けている。 数量や図形についての豊かな感覚をもち、それらの意味、性質などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に親しみ、音楽を進んで表現し、鑑賞しようとする。 音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し、生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住や家族の生活について関心をもち、家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。 家庭生活について見直し、身近な生活の課題を見付け、その解決を目指して考え自分なりに工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いをもち、進んで表現や鑑賞の創造活動を楽しみ、つくりだす喜びを味わおうとする。 感じたことや考えたことなどをもとに、想像力を働かせながら自分らしい発想をし、よさや美しさなどを考え、豊かな表現を構想する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで楽しく運動しようとする。また、身近な生活における健康・安全に関心をもち、進んで学習に取り組もうとする。 運動の課題の解決を目指して、生活の仕方を考え、工夫している。また、身近な生活における健康や安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。 運動の楽しさや喜びを味わうために必要な動きや技能を身に付けている。 身近な生活における健康・安全に関心して、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じて、筋道を立てて話しつたの確に聞き取ったりする。 相手や目的に応じて、筋道を立てて文章に書く。 表現及び理解の能力の基礎となる発音、文字、語句、文・文章等について理解し、習熟している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象を的確に観察・調査したり、各種の資料を効果的に活用したりするとともに、調べたことを表現する。 社会的な事象の様子や働き、特色及び相互の関連を具体的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しさや数理的な処理のよさに気付き、日常生活の事象の考察に進んで生かそうとする。 算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、見直しをもち筋道を立てて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形についての表現や処理にかかわる技能を身に付けている。 数量や図形についての豊かな感覚をもち、それらの意味、性質などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な活動や体験に基づいて、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。 音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。 音楽を楽しむ聴く、鑑賞し、そのよさや美しさを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住や家族の生活に必要な基礎的な技能を身に付けている。 衣食住や家族の生活に関する基礎的な事項について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現したい思いや意図に応じて、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりしながら表現方法を工夫する。 造形作品などに関心をもち、よさや美しさを感じ取り、味わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを味わうために必要な動きや技能を身に付けている。 身近な生活における健康・安全に関心して、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

上段は問題解決的な学習過程を構成する力 下段は問題解決的な学習過程を支える力

全体計画の作成にあたっては、各学校の創意工夫によるところが大きい。次の4点に留意する必要があると考える。
 「総合的な学習の時間の位置付け」として、学習指導要領、学校教育課程、社会状況
 「総合的な学習の時間の目標設定」として、学校の特徴、地域との連携、育てたい児童生徒像、目標から指導内容の設定
 「総合的な学習の時間のカリキュラム」として、学校段階と指導内容の設定、教科関連、領域（特別活動、道徳）関連
 学校行事との関連、カリキュラムの検証と評価
 指導計画の作成として、年間指導計画、単元指導計画、単元時間ごとの指導計画
 上記、指導計画は、研究のテーマにしたがってカリキュラム評価チェックシートから検討した改善の重点、教科との関連等を意識して作成したものである

リフォーム2「何で」
計画レベル
年間指導計画の作成のポイント

「何で」関連させるのかを明確にするために、教科との関連可能なものを洗い出して、年間指導計画に位置づける。

年間指導計画では、総合的な学習の時間のどの単元内容と教科等のどの単元内容を関連させるのかが明確に示されるだけでなく、それらを「何で」つなげようとしているのかが明確に示されたものを作成する必要がある。

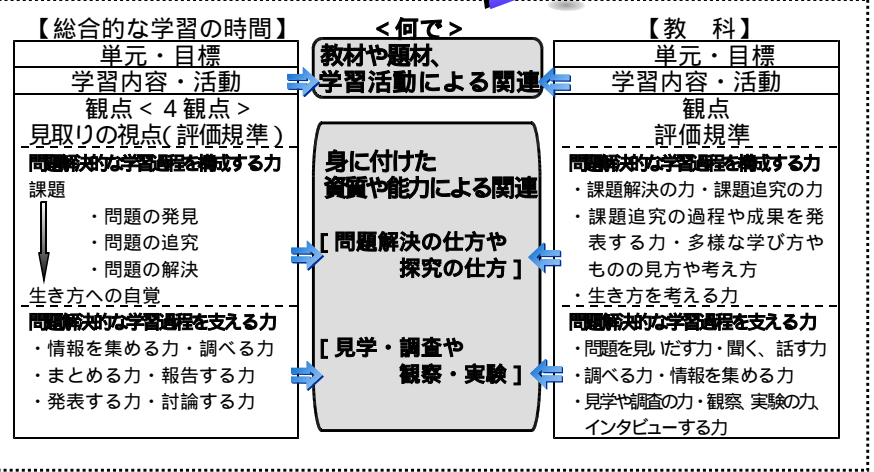
before

学年行事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式	入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式 入学式

体験的・問題解決的な学習を
ととして児童生徒に育てたい資
質や能力を明確にし、その上で
教科との関連が可能なものを
教材や題材、学習活動、児童
生徒が身に付けた資質や能力に
分類・整理していく。

ポイント

「何で」で関連させるのかを明確にし、教科等との関連が可能なものを洗い出して、年間指導計画に仮に位置付ける。具体的には、教科の評価規準と総合の見取りの視点（評価規準）とを照らし合わせながら関連を図る。
総合の見取りの視点を教科の4観点で作成すると関連事項が見えやすい。



<関連例>

<p>第5学年 総合『見つめよう私たちの学校田』</p> <p>目 標 ・米づくりに興味・関心をもち、学習情報を効果的に活用して課題を立ち上げることができる ・自分から進んで田植えや稲の育て方に関する手だてを考え、課題を見つけたら、自分なりの方法で追究・解決することができる - 以下略 -</p> <p>学 習 活 動 ・田植えを体験しよう ・稲作の仕事調べをしよう ・稲作農家の苦労・工夫を知ろう ・田を見つめて、調べたことを伝えよう - 以下略 -</p> <p>見 取 り の 視 点 例 - 技能・表現 - ・様々な方法で情報収集、課題解決、情報発信することができる - 以下略 - ・自分の課題に応じて調査する能力 ・発信相手に応じて表現する能力</p>	<p><何で> 題材、学習活動に共通性・類似性が見られる 相互に関連を図りながら、同時期に展開する 「題材」「学習活動」「学習の場」 「問題意識」「社会」 総合的な学習の時間</p> <p>・身近なものを手がかりにして調べる ・土地利用図の読み取り方 ・社会での調べ方、まとめるレポートの書き方、写真の読み取り方、地図の読み取り方、取材の仕方、ビデオレターでの交流の仕方、意見交換の仕方、インターネットでの調べ方</p>	<p>社会科『1私たちの生活と食料生産(1)(2)』</p> <p>目 標 (1)我が国の食料生産の中心である米作りの様子や従事している人々の工夫や努力について、調査したり、資料などを活用したりして調べ、私たちの食料を確保する重要な役割を果たしていることを考える - 以下略 -</p> <p>学 習 活 動 ・米の生産の様子・手順について調べ、栽培カレンダーなどにまとめる ・生産の工夫や苦労、米作りの将来について取材や調査、資料を基に調べ、レポート、新聞などにまとめる - 以下略 -</p> <p>評 価 規 準 例 - 技能・表現 - ・食料の中には外国から輸入しているものがあることなどを調べたり地図や資料を活用したりして調べている - 以下略 - ・社会事象について観察などをして具体的に調べる能力 ・基礎的資料を効果的に活用する能力 ・調べたことを表現する能力</p>
---	--	---

ポイント

総合的な学習の時間を計画の中心に配置し、関連する単元を線でつなく。
教材や題材、学習活動関連、..... 能力・資質関連、..... 両方関連
のような線種によって「何で」つなげるかの相違まで明示すると関連が具体的に提示できる。

	4	5	6	7	
国語	新しい友達 詩を味わおう ふるさと・海雀	依頼の手紙 お礼の手紙	海にねむる未来 仮名づかいの決まり	言葉の研究レポート 漢字の成り立ち わたしたちは、こう考える	読書の楽しさを伝 ブラム・クリークの土手で 宇宙... 読書発表会を
社会	わたしたちの生活と食料生産 米づくりの盛んな地域 日本の農産物と耕地 水産業の盛んな地域				
算数	小数と整数	垂直と平行	小数のかけ算とわり算1	四角形 計算の見積もり	
理科	種子の発芽と成長	魚や人のたんじょう	実や種子のできかた		
音楽		音を重		きれいな	
図工	かいたり、消したり	白の世界		と 見える、どうする	
家庭	家庭ってなあに？	生活ウ		クッキング 夏を快適に	
体育	短距離走・リレー			運動 水泳	
				けがの予防(保健)	
すこやか単元構想	<p><学年テーマ> 米づくり</p> <p>ふれる</p> <p>見つめよう 私たちの学校田 (30h)</p> <p>・農家の苦勞、工夫を知る</p> <p>・伝える</p> <p>観察 →</p> <p><共通テーマ> 27h</p> <p>田植え2 畑除草1</p> <p>自由研究計画1</p> <p>国際理解6 EM発酵液1 EM観察1 EM観察1</p>				
学び方	「すこやか」学習の進め方 学校生活や地域の情報、各教科の内容の収集の仕方	- 共通体験 - 実際に見たり、聞いたりすること。友だちの課題に興味をもつ。調べる楽しさ・分かったことへの達成感 人に伝える喜び(体験) 具体的な課題設定の方法、調べ方、ま			
総合を支援する教科の力	<p>社会</p> <p>農業と自然環境の深いかかわりを知り、農業に従事している人々の工夫や努力に気づく</p> <p>理科</p> <p>植物を育て、発芽や成長の条件・必要なものについて調べる</p>	<p>国語</p> <p>礼状や依頼状を相手に意識して効果的な表現を工夫しながら書く</p> <p>結論が時間配分はまったことしながら話</p>	<p>教科の中に総合的な学習の時間で身に付けさせたい共通する学び方を見出し、教科で培った資質や能力を総合的な学習の時間を支える力として活用する</p> <p>図工</p> <p>用途を考えて、デザインの能力や創造的な工作の力を高める</p>		

- は教材や題材、学習活動関連
... は資質・能力関連
= は両方が関連

総合的な学習の時間の単元構想を計画の中心に配置し、教科の評価規準と総合の見取りの視点とを照らし合わせて、関連する単元を線で結ぶ

教科の中に総合的な学習の時間で身に付けさせたい共通する学び方を見出し、教科で培った資質や能力を総合的な学習の時間を支える力として活用する

リフォーム3「どのように」
実践レベル
単元指導計画の作成のポイント

児童生徒の実態をふまえて、単元指導計画を立て、「どのように」つなげていくのかを明確にし、具体的な指導・支援と結び付ける。

総合的な学習の時間は学校独自のカリキュラムが要求され、学校や指導者が教科との関連を意図的、計画的に組み込み、目指す教育の方向性が見えるものでなければならないものとする。

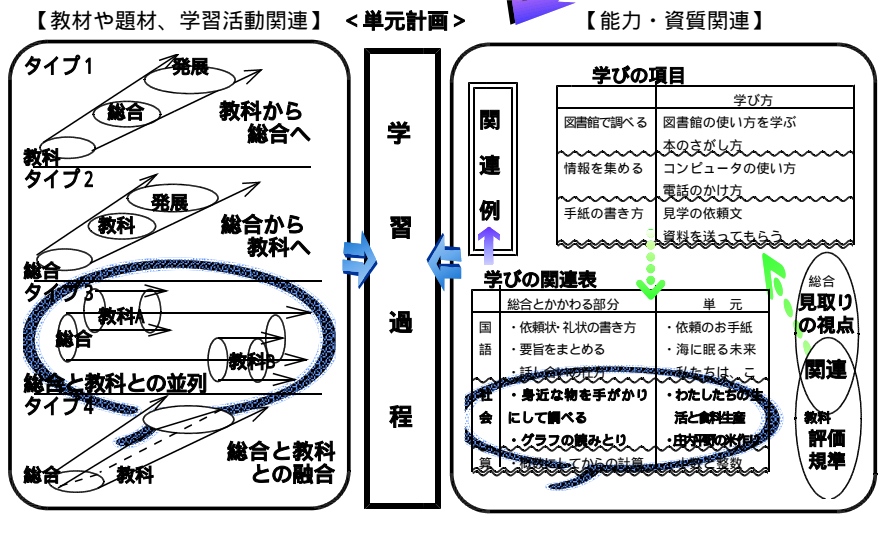
● before

単元名 単元の目標 学習活動 支援 総合的視点 他領域との関連 評価の素材	【単元計画】		【本時の展開】	
	学習活動	支援・留意点	学習活動	留意点
→	ふ	全体のテーマを設定する	一 斉 活 動	本時の予定を確認する
	る	課題を設定、活動の見通しを立てる		米についてのテーマ設定
	ふ	活動の見通しを立てる		課題を設定する
	か	活動の計画を立てる		設定した課題を発表する
	め	課題追究		まとめをする
	る	報告会		
	ひ	ふり返り		
	げ	生活に生かす		
	る			

カリキュラムは、実際には単元を単位として構成され、単元の実施によって実現を図るものである。教科を関連させることにより、より効果的で適切なカリキュラムの作成を...

👉 ポイント

- ・教える内容の詰め込みとして事前に計画されたものではないもの
- ・一つの教科だけでなく、いくつかの教科が含まれるとともに、問題解決の課程で他教科にも広く期待されているもの
- ・学び方や自己のふり返り方の習得を含むもの
- ・テーマや主題をめぐって中心付けられているものであり、児童生徒の意味付けに基づくかわりを大切にすることも
- ・児童生徒の中の経験の中起こる重要なものは何かを取り扱うもの



● after

5 単元計画 (全22時間)

意識化・意欲化	主な学習活動 > 支援・留意点 >	教科との関連	評価() <観念方法>	(2) 本時の展開 (1/22時間)
意 識 化 ・ 意 欲 化	<p>全体のテーマを設定する。 ・児童の願いや興味・関心を生かした活動ができるようにする。</p> <p>田植えをし、稲を育てている。稲作農家の苦労・工夫を知った。</p> <p>↓</p> <p>「お米博士になりたい!!」</p> <p>・米について、全体テーマ(第1次から)を設定し、何を調べ、発言したらよいか意見を出し合い、課題を整理する。</p>	<p>社会: 単元名「わたしたちの生活と食料生産 米づくりの盛んな地域」 学習内容や資質・能力(学び方)を総合的な学習の時間の学習活動に生かすことにより、よりよき解決ができたことを意識させる。</p> <p>・農産物に関する人々の工夫や苦労 ・調べ方、情報収集や取材の仕方、資料やグラフの読み取り等</p>	<p>これからの活動に興味・関心をもち、進んでかわるうとしているか。</p> <p><自: 閉意態/発言/行動> わたしの考えにも興味をもち、意見を述べたか。</p>	<p>形態: 一斉 時間: 本時の活動予定を確認する。 ・第1次の「見つめようとしたら...」の活動をもとに、稲の活動をもとに、米の活動()を準備する。</p> <p>米についての全体テーマを設定 ・自分が知りたかったことを全体で確認してまとめ、全体テーマに結びつける。</p> <p>お米博士になろう! カードをもとに話し合う ・自分が知りたかったこと</p>
課 題	<p>課題ごとに児童の希望でプロジェクト隊を編成する。</p> <p>プロジェクト隊のテーマ(課題)を設定し、活動の見通しを立てる。 ・プロジェクト企画書をもとに「価値」「ゴール」を自覚させる。</p>	<p>各教科: テーマ(課題)を研究する上で、関連しそうな学習内容や学び方を紹介し、積極的に総合的な学習の時間と教科の学習と</p>	<p>グループ編成にかかわって、友だちの話を聞いて取り入れているか。</p> <p><共: 閉意態/行動> 自分と友だちの企画の同意点や相違点に気づいて</p>	<p>評価() 支援() () () ()</p> <p>社会: 単元名「わたしたちの生活と食料生産 米づくりの盛んな地域」の関連による課題解決から、関連的成果を認識させる。 学習内容・能力(学び方)・調べ方・情報収集や取材の仕方・資料・グラフの読み取り等</p> <p>自分の活動のねらいを確かめ、見通しをもって取り組もうとしているか。 <自: 閉意態/行動> 自分のねらいを達成するとともに、友だちへの働きかけや作業手順が理解できるように支援する。 自分の今日の活動を確認させたり、友だちと相談したりできるように支援する。</p> <p>友だちが知りたかったことについて話し合いをおして、そのよさに気づくことができる。 共: 思考・判断/発言・記録 共通点と相違点に着目させ、内容について</p>

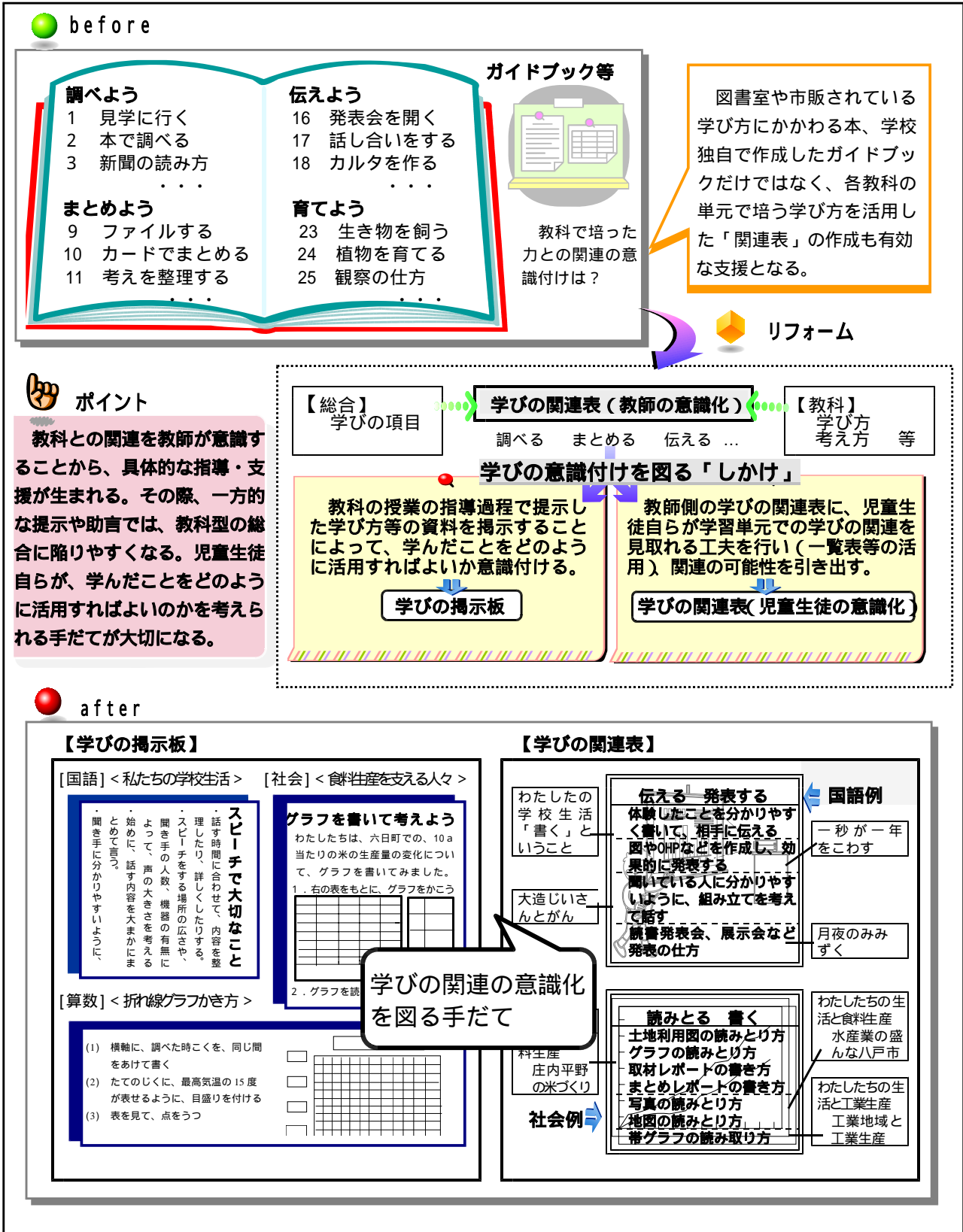
年間指導計画で結び付けた単元の線を単元指導計画(単元計画・本時の展開)で具体的に設定

リフォーム4「どんなものを」

実践レベル
具体的な指導・支援のポイント

児童生徒がやらされているという意識をもつことなく、必然性をもって、学んでいけるように教師が「しかけ」をする。

実践していく際には、児童生徒が学んだことを他の学びに転移させることができるよう学びのつながりの意識付けを図る「しかけ」が必要になる。具体的には「関連の意識付けを図ったり示唆する掲示や助言、関連が見取れる関連表等が必要になると考える。



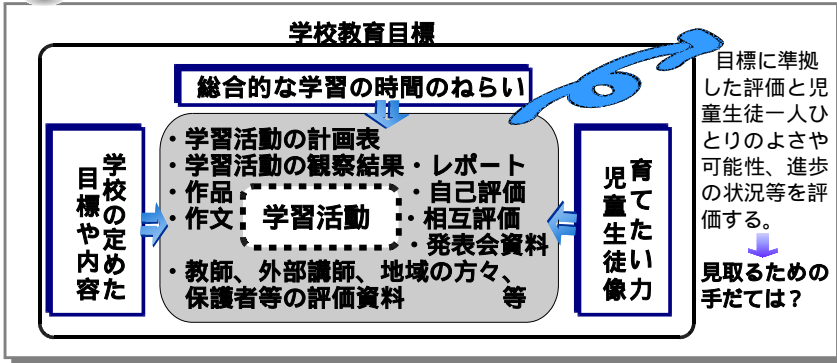
リフォーム5「どのようになったか」

実践レベル
指導・支援の評価のポイント

児童生徒の学びの実態から指導・支援を評価し、学習活動の促進と指導の改善を図る。

実践されている総合的な学習の時間で、児童生徒にどのような資質や能力を育むことができたのか、また、どのような資質や能力が身に付いたのかを示すためには、見取りの視点（評価規準）が重要な意味をもつ。

before

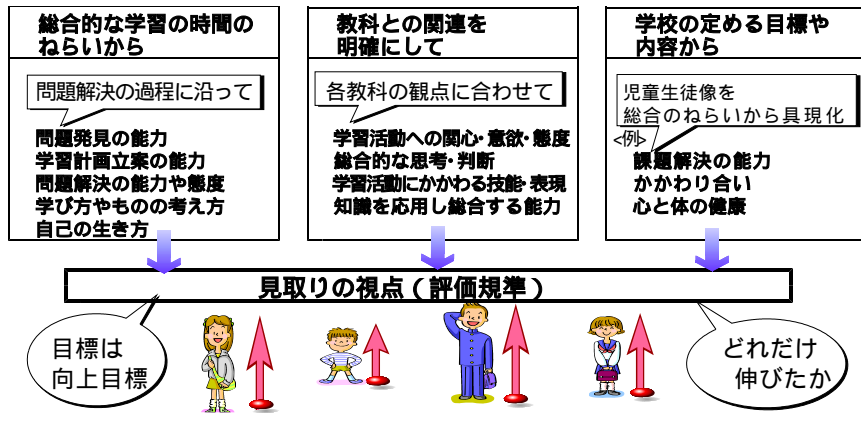


教師の独善的、恣意的な基準に照らした評価としないためにも、総合的な学習の時間において児童生徒に育むべき資質・能力を明確にした評価の観点や見取りの視点（評価規準）の設定を...

ポイント

評価の観点は、総合的な学習の時間のねらいを踏まえ、各学校の目標、内容に基づいて設定する。
児童生徒のよさや可能性を肯定的に評価するためにも見取りの視点（評価規準）を設定し、複数の目で、様々な方法を組み合わせ、継続的に児童生徒の学びの過程を読み取っていく。

【観点】の設定



【見取りの視点】の設定

学校が育てたい児童生徒像<例>

進んで事象に働きかけ、自ら見つけた課題を自分のやり方で追究・解決し、自分を見直すことができる子ども
他とのかけわりをとおして、他を思いやり、他を尊重しながら働きかけ、自分の考えをより深め、共に生きていこうとする子ども

【ねらいから】

評価観点	見取りの視点（高まっていく姿）
問題発見の能力	・ 追究できそうな問題を選ぶ ・ 自分の力で解決できる問題を見つける
企画する能力	・ 問題解決に必要な活動を考え、計画を立てる
学習への主体的な態度	・ 困ったことがあっても、問題の解決を目指して取り組む
情報収集の能力	・ 自分の問題解決に必要な情報を工夫する
情報を処理する能力	・ 相手の子とを考慮して表現方法を工夫する
自ら学びを振り返る能力	・ 自分の追究の改善を見いだす

【教科との関連から】

評価観点	見取りの視点（高まっていく姿）
学習活動への興味・関心・態度	・ 自分なりの課題を見付け、進んで調べたり、体験しようとしていたりする ・ 自他の違いを見付けて認め合ったり、他を思いやったり、大切にしようとしていたりする
総合的な思考・判断	・ 自ら課題を見つけ、自分なりの方法で追究・解決する ・ 他とかけわりながら、自分の考えを深める
学習活動にかかわる技能・表現	・ 解決の手順や方法を知り、課題を追究したり、過程や結果を表現したりする ・ 課題を追究・解決するために他とかけわり、自分なりに方法を工夫して表現する
知識を応用し総合する力	・ 教科の学習で学んだことを生かして、課題解決の学習に取り組むことができる ・ 情報交換をして知識を、自分の学習に生かしていくことができる

【学校の目標・内容から】

評価観点	見取りの視点（高まっていく姿）
課題解決の能力	・ 問題点や疑問点から自分の課題を見つけられる ・ 最後までやり抜くことができる ・ 多角的な視野で考え、行動に移すことができる ・ 自己決定できる ・ 自分なりの方法で表現できる
かけわり合い	・ 自分を肯定的に見ることができる ・ 人のよさを認め合える ・ 生き物の命を大切にできる ・ 人の好意に感謝できる ・ 先人の活躍を尊敬したり、地域の文化を大切にできる
心と体	・ よりよい生活築こうと願う ・ 今までの自分を見つめ、将来を考えることができる

は、発達段階や学習内容に応じて高まっていく児童生徒の姿の目安（とは省略）

学校が総合的な学習の時間において「子どもに育てたい力」そのものを表現

総合的な学習の時間の全体目標とその目標や内容に基づいた評価の観点、見取りの視点（評価規準）から、各学年や学団ごとの総合的な学習の時間の目標や内容に基づいた見取りの視点（評価規準）を設定する。

教科との関連を明確にして観点を設定した単元の見取りの視点（評価規準）例

第5学年 総合的な学習の時間 見取りの視点（評価規準） No. 1

単元名		見つめよう 私たちの学校田 (30時間扱い)			
単元目標	米づくりに興味・関心を持ち、学習情報を効果的に活用して自分の課題を立ち上げることができる。(関・意・態) 自分から進んで田植えや稲の育て方に関する手だてを考え、課題を見つけたら、自分なりの方法で追究・解決したりすることができる。(思考・判断) 田植えの方法や自分なりの方法で表現し、得た知識を生かして苗を育てることができる。(技能・表現) 田植えの経験や得た知識や気持ちを自分の生活に生かしていくことができる。(知識の活用)				
観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識の活用	
単元の見取りの視点	自立	課題解決に向けて、積極的に調べたり	課題解決の課程で課題の修正をしたり既習事項と	様々な方法で情報収集・課題解決・情報発信することができる。	学習過程で得た知識や情報を関連付けて新たな知識として構築し、生活実践できる。
	共生	友だちの話や地域の話を聞いて、共同して体験しようとする。	友だちや地域の人から、課題を修正したり既習事項と関連付けたりして解決することができる。	様々な方法で友だちや地域に働きかけ、情報収集・課題解決・情報発信することができる。	友だちからの情報交換で得た知識や情報を、新たな知識として結びつけることができる。
観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識の活用	
学習の各段階に	意識化・意欲化	稲作について興味を持ち、自分の活動に意欲的に取り組もうとしているか。(発言・行動)	様々な学習情報を基に稲作に関する学習意欲を高め、主体的に取り組もうとしているか。(活動)	web 図などを効果的に使い、自分の考えを焦点化しながら表したり発表したりできるか。(発表)	体験したことを基に課題解決の手段として取り入れ、新たな知識とすることができるか。(活動)
	課題設定	課題の立ち上げに主体的に取り組む自分から進んで課題を設定しているか。(行動)	これまで得た情報を整理し、新しい課題を設定することができるか。(活動)	友だちの課題にも興味を示して意見交換しようとするか。(発言・行動)	友だちの考えを自分の学習結果と比したりすることや様々な部分にとつ課題を設定することができるか。(活動)
	追体験	課題解決に向けて積極的に調べたり、主体的に体験しようとしていたりしているか。(活動)	学習情報を効果的に利用して、田植えができるようにしているか。(発言・活動)	友だちの課題にも興味を示して意見交換しようとするか。(発言・行動)	友だちの考えを自分の学習結果と比較したり取り入れたりとすることができるか。(活動)
	自己実現・実践化	自分が調べたり考えたりした結果を情報として積極的に発信・公開しようとしているか。(活動)	自分の考えを発展させて、新たな課題を立ち上げようとしていることができるか。(発言・活動)	発表に際し、課題追究過程や結果を様々な表現方法を使って発信することができるか。(発言・発表)	田植えや農作業の体験を通して農家の願いや思いに気づき、自分の生活と関連付けることができるか。(活動)

自校のめざす児童生徒像を2つの視点を決めて設定

目標に準拠した評価と児童生徒一人ひとりのよい点や可能性、進歩の状況などを評価するための個人内評価との両方をめざして設定

リフォーム6「どのようにつながったか」

内面レベル
関連の成果を意識付けるポイント

児童生徒の学びの記録として、ワークシート等の開発、ふり返りの場と時間の設定を行い、関連の成果を残し、見直しにつなげる。

教科での学習の成果を総合的な学習の時間で生かすことにより、それらの学習の理解が深められたり、問題解決にあたり学習の意義を見いだすことができるようになることや、総合的な学習の時間の学習活動から教科の学習の必然性や問題解決の見通しや視点を実感できるようになることを意識付けていく工夫が大切である。

● before

<p>【計画書】</p> <p>テーマ 自分が調べたいこと 調べる方法 見学・インタビュー に行きたいところ 聞きたい人 やってみたいこと 記録を取る方法 まとめる方法</p>	<p>【活動シート】</p> <p>テーマ 調べる内容 調べた方法 発見・心に残ったこと 次に行いたいこと ～活動をふり返ろう～ 今日のポイント がんばり度 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/><input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>【まとめカード】</p> <p>学習活動をふり返ろう 学習テーマ 調べ方 発表・まとめ 感想 先生から</p>
---	--	---

ワークシートには、教科との関連事項を盛り込む工夫を図り、各学校で設定している学びの過程の節目を見取りの主な時期としてとらえ、学びのつながりを意識付けたい。

👉 ポイント

関連のよさを意味付け
できる学習シート
見取りの主な時期にお
ける学びのつながりの
意識化
自分の記録や話し合っ
たことをもとに発想が
広げられる資料
児童生徒との対話を通
しての学びの質の向上

スタートの段階で	各段階間の節目で	ゴールの段階で	単位時間内で
<p>前学年までの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題 ・追究内容 ・思い、願い ・伸びてきた力 ・伸ばしたい力 <p>アンケート 前学年引き継ぎ</p>	<p>学習活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたこと ・感じたこと ・伸びてきた力 ・次の取り組み ・伸ばしたい力 <p>レポート・作品 評価カード 報告内容(中間)</p>	<p>学習活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたこと ・感じたこと ・伸びてきた力 ・次年度の取り組み ・伸ばしたい力 <p>レポート・作品 評価カード 報告内容(最終)</p>	<p>進行に合わせて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組んでいる活動の目的 ・活動を進める上で困っていること <p>作成中の作品・ レポート 観察を通して得た情報</p>
実態把握	学びの見通し	新たな学びへの意欲	学習活動の確認整理

児童生徒との対話

● after

<p>計画書</p> <p>メンバー <input type="text"/> 個人課題 <input type="text"/> プロジェクト名 <input type="text"/></p> <p>どのようになれば完成になりますか 生活にどのように役立ちますか まわりの人や学校・地域社会にどのように役立ちますか 完成させるためにやらなければならぬことを書いて下さい</p> <p>プロジェクトを進めるために、参考になる教科は？ ・その教科のどんなことですか</p>	<p>学習シート</p> <p>めあて <input type="text"/> 調べる内容 <input type="text"/> 調べた方法 <input type="text"/> わかったこと <input type="text"/> この次にやりたいこと <input type="text"/></p> <p>教科で学んだどんなことを参考にしましたか ～活動をふり返ろう～ 今日のポイント 自分のがんばり度</p>	<p>まとめカード</p> <p>学習テーマ よくできた・できた・もう少し</p> <p>調べ方 よくできた・できた・もう少し</p> <p>発表・まとめ よくできた・できた・もう少し</p> <p>教科の学習の活用 よくできた・できた・もう少し</p> <p>感想 <input type="text"/> 先生から <input type="text"/></p>
---	---	---

(2) 総合的な学習単元カリキュラムに基づく指導実践の概要と考察

リフォームの実際にしたがって、総合的な学習単元カリキュラムを立案した。そして、研究協力校の児童生徒を対象として、学習活動を展開し、考察を試みた、以下はその概要の一部である。(詳しくは、【補充資料3】総合的な学習の時間 学習活動計画案と指導実践の概要と考察を参照)

大単元「米づくりにチャレンジしよう」(89時間)第2次単元「お米博士になろう」(22時間)の学習活動計画案の概要
対象：東和町立土沢小学校第5学年17名

第5学年 「米づくりにチャレンジしよう」 『(第2次)お米博士になろう』(22時間)
単元目標・米に興味をもち、課題を立ち上げ、学習情報を効果的に活用しながら課題を追究することができる。
・進んで自分の課題に沿った情報を自分なりの方法で追究・解決することができる。
・稲や米に関する情報を自分の方法で表現し、得た知識を生かしてまとめることができる。
・田植えの経験や「お米博士になろう」で得た知識や気持ちを自分の生活に生かしていくことができる。

教科との関連を図るための具体的な手だて

プロジェクト学習企画書において、「学習活動を進めるうえで必要な学習」という動機付けにより、教科の学習についても、自発的に学ぶようにする。どのような学習が自分のプロジェクトに必要なかをイメージさせたい。

プロジェクト隊での追究活動や発信活動の場面において、それぞれのテーマに応じた必要な教科の学習との関連の意識化を図りたい。その際「学びの関連表」を用い、学び方と各教科の単元との関連を紹介し、以降自分たちで総合的な学習の時間と教科とが相互に行き来できるよう「学びの掲示板」等を提示していきたい。

単元指導計画

	主な学習活動< > 支援や留意点<・>	教科との関連	
意識化	全体のテーマを設定する ・全体テーマを設定し、何を調べ、何を発信したらよいか意見を出し合い課題を整理する	社会「わたしたちの生活と食料生産 米作りの盛んな地域」 学習内容や資質・能力を追究活動に生かすことによって、よりよい解決ができたことを意識させる	実践1
	課題ごと児童の希望でプロジェクト隊を編成する	各教科	
課題設定	プロジェクト隊のテーマ(課題)を設定し、活動の見通しを立てる プロジェクト隊ごとに分かれる	テーマ(課題)を追究するうえで、関連しそうな学習内容や学び方を紹介し、総合と教科とが相互に行き来するよう動機付ける	実践2
	活動計画を立てる	理科「実や種子のでき方」 観察の仕方や知識・理解 稲の観察の結果を理科の学習内容(花から実、実になる部分、結実の仕組み)に関連させる	実践3
追究・体験	課題追究1 ・課題追究の計画を基に追究活動を行う	国語「わたしは こう考える」	実践4
	中間発表会 これまで追究してきたことを報告し合い、アドバイスし合う	身に付けた資質や能力を生かし、結論がまとまるように、時間配分に注意したり、決まったことを確認したりしながら話し合う	
自己実現・実践	課題追究2 アドバイスされたことを参考に計画を修正し、さらに課題を追究する	社会・算数 資質・能力(学び方) 資料やグラフの読み取りや活用の仕方等	
	プロジェクト報告会の計画を立てる ・課題追究の成果を知らせる計画を立てる	国語「分かりやすく伝えよう」 身に付けた資質・能力(学び方)を生かし、「だれに」「何を」「どのように」伝えるか、工夫して書く	
実践・実生活	プロジェクト報告会 ・課題追究の成果を報告し合い、よかったことやアドバイスを「発見カード」に書いて渡す	国語「依頼状・礼状を書こう」 身に付けた資質・能力(学び方)を生かし、礼状を相手を意識して効果的な表現を工夫しながら書く	
	追究活動をふり返り、自分たちのよさや成長を確認する	教科との関連の成果を意識付け、教科と総合のつながりによる学びのよさを意味付ける	実践5
実践化	自分の学習や生活に役立てる	学びの記録 学びの関連表 学びの掲示板 教科の学習 等	

実践2 - 第5学年 米づくりにチャレンジしよう「(第2次)お米博士になろう」

本時のねらい

関心・興味をもっていることがらについて、学習活動の企画を立てることができる。
 友だちの企画にも興味を示して、理解・比較しながら意見交換を行い、学習活動の企画を検討・修正することができる。
 企画の段階で、教科の学習内容や教科で培った力を生かすことを意識できる。

関連の段階：見通しを立てる段階

関連教科と考え方

教科 課題解決にあたり、各教科で培う知識や技能、学び方などが活用できること意識と見通しをもつ。


国語 「わたしたちは、こう考える」学習活動の内容「計画的に話し合うために」を話し合いの場で活用し、定着を図る。

手だて：「学びの掲示板」「学びの関連表」「計画シート」

指導計画の類型と関連事項

教材や題材、学習活動での関連		資質・能力での関連
教科	タイプ1 教科から発展 総合 教科へ	各教科の学習活動における内容を想起し、つながりを考える。 <知識の活用>
	タイプ1 教科から活用 定着 総合 国語へ	計画的な話し合いの仕方を理解し、自分の考えをまとめる。 <学習活動>
国語		学び方(問題解決的な学習過程を支える力)の活用を考える。 <思考・判断><技能・表現>
		結論がまとまるように、時間配分に注意し、決まったことを確認したりしながら話し合う。<話す・聞く能力>

展開 (3・4 / 22時間)

形態	学習活動() 留意点(・)	教科との関連	評価() 支援 ()ねらいを達成した児童へ ()ねらいの達成が不十分な児童へ
一斉	本時の活動予定を確かめる。 プロジェクト企画書を作成し、グループのテーマと活動の見通しをもつ。 ・プロジェクト隊編成までの活動をふり返り、本時の活動の見通しをもって、意欲的に取り組めるようにする。		自分の活動のねらいを確かめ、見通しをもって取り組もうとしているか。 <自 関心・意欲・態度/行動> 自分のねらいを達成するとともに、友だちへの働きかけや仕事分担ができるように支援する 自分の今日の進捗を確認させたり、友だちと相談したりできるように支援する。
活動	プロジェクト隊企画書(計画シート)にしたがって、テーマを設定し、活動の見通しを立てる。 「価値」「ゴール」の自覚 「追究活動の過程」のイメージ化 教科との関連の意識化 企画書の項目にしたがって、グループで意見交換しながら、完成させる。 ・必要に応じて具体的なイメージができるように働きかける。	国語 「わたしたちは、こう考える」 資質・能力「聞く、話す力」 結論がまとまるように、時間配分に注意し、決まったことを確認したりしながら話し合う。 (学びの掲示板の利用)	自分の企画のよいところに気づき、積極的に表現しようとしているか。 <自 技能・表現/活動・記録> その子らしさが表れている項目を紹介し、活動への意欲へつなげる。 工夫したことや困ったことについて体験を通して具体的に表現できるように支援する。
活動	追究活動や発信活動において、どのような学習が必要か考え、教科との関連を具体的にイメージする。 ・「学びの関連表」を提示し、追究・発信活動に活用できそうな教科を、具体的な事例を取り上げながら考えさせる。 教科で培う力を様々な形で追究・発信活動に活用できることを全員で確認する	各教科 「学習活動を進めるうえで必要な学習」という動機付けによって、具体的にどのような学習(学習内容・能力や資質)と関連を図るかを具体的な例示をとおして、イメージさせる。	教科の学習成果を活用してお米博士になる見通しを立てることができるか。 <自 思考・判断/発言・記録> 発表を聞きながらのつぶやきや気づき・記録に対して具体的にイメージできるように支援する。 各グループの考えや取り入れたらよりよい活動になりそうなポイントに気づくように支援する。
一斉	プロジェクト隊の企画を発表する。 学習のまとめをする。・学習カードに記入し、次時の活動の予定を確認する。		

考察：さまざまな事物・事象とのふれ合いや友だちとの話し合いから自分の学習課題を決めて、学習活動の見通しをもつ場面である。学習活動のスタートに当たり、教科と総合的な学習とのかかわりを意識付けることが必要である。話し合い活動では、国語の学習内容と「聞く、話す能力」は「学びの掲示板」を利用して、各教科との学びのつながりは「学びの関連表」を利用して、関連のイメージを図った。たくさんの教科の学習が結び付いていることに驚いたり、教科書にフィードバックして確かめたりしていた児童もいて、自分の追究活動に活用しようとする意欲が見られた。

単元「環境問題」(50時間)の学習活動計画書の概要

対象：花巻市立花巻北中学校第3学年144名

第3学年 「環境問題」(50時間)

単元目標・環境や環境問題、その対応策に関心をもち、意欲的に調べようとする生徒を育てる。

- ・環境や環境問題に関する問題解決のための技能、思考力、判断力をもった生徒を育てる。
- ・活動の中で「学び方」を身に付けるとともに、自分の考えを他に工夫して伝えられる生徒を育てる。
- ・自らの生活を見直し、進んで環境を保全していこうとする心情や自薦的態度を身に付ける生徒を育てる。

活動を支えるものとして育成したい資質や能力

・問題発見能力・・・体験活動 ・問題解決能力・・・調査研究活動 ・表現力・・・まとめ、発表会

単元指導計画(国語科との関連を重視した指導計画)

	主な学習活動と場面	資質・能力	関連する教科の資質・能力 (ゴシック字体は、国語科)
意識化	学年オリエンテーション ・学年テーマ「環境問題」についての説明を聞く コース別オリエンテーション [生物問題][ごみ・リサイクル問題] [地球圏][資源・エネルギー問題] ・各コースの説明を聞き、テーマ決定の参考にする	問題発見能力	
課題設定	個人テーマ決定 ・具体的テーマ例を手がかりに、個々のテーマの方向性を決める ・個人テーマ・テーマ設定理由を決め、調査したいことをアイデアネットを用いて深める		・文章を読んで考えを深め、自分の課題を見つける (日本語・古典) ・社会的事象を、環境条件や人々の営みと関連付けて地域的特色を多面的・多角的にとらえる視点や方法を考察する力 <社会> ・事象の生じる要因や仕組みを科学的に考察する力 <理科>
課題追究・解決	調査計画の立案 ・類似テーマを基に、3名程度でグループを組み、調査計画を立てる ・調査方法の例を紹介し、複数の方法で調査できるようにする 調査活動1(文献調査) ・基礎となることについて文献調査を行う(学校図書館・市立図書館・インターネット) コース別校外学習 ・各コースごとに関連性の高い施設に行く(県立博物館・ダム・ごみ処理施設など) 調査活動2(実施調査) ・さらに自分の体験を通して調査し学習を深める(観察・訪問インタビュー・実験・アンケート)	情報収集能力 情報を選択する力	・見つけた課題についてインタビューやアンケートを活用して調査し、報告書にまとめる ・読書をとおして材料を集める ・文章から興味・関心をもった事柄について調べたり、関係する文章について探したりする 実践1 ・自分の考えや気持ちを的確に表すために広い範囲から適切な材料を選ぶ力 <社会> ・事象に潜む関係やきまりをとらえ、見通しをもち順序よく筋道を立てて考える力 <数学>
まとめ・表現	発信準備 ・発表準備計画を発表方法の工夫を重点に作成する 模造紙・紙芝居・OHP・模型・実物実物投影機 実演・ビデオ・パワーポイント・パンフレット ・発表原稿を作成する ・発表資料を作成する ・発表練習を行いコース内で相互評価し、見直す グループ発表会 ・全コースの発表が聞けるように6グループに再編成して発表会を行う ・互いに評価し、よいところを学びあう 全校発表会 ・全校の発表にふさわしい方法で発表する ・よく聞いて評価し、よいところを学ぶ ・一年間のまとめと反省をする	まとめる力 表現力	・課題について調査し、報告書にまとめる ・インタビューを通して材料を集める ・アンケートを作成して調査する ・根拠を明らかにしながら自分の意見を文章にまとめる ・自分の主張が明確に効果的に伝わるよう、構成の仕方を工夫して書く ・表現の仕方を工夫して文章にまとめる ・「私のアルバム」作りの計画を立て、何をどう載せるか、どのような構成にするかを考える ・紙面や題名にも工夫して「私のアルバム」を作る ・追究し考察した過程や結果を年表や報告書などにまとめたりして発表する力 <社会> ・観察、実験をとして、規則性や見出したり自らの考えを導き出したり創意ある発表や報告書の作成を行う力 <理科> ・シンポジウムを開き、ものの見方や考え方を広げたり深めたりする ・「肯定」「否定」の立場に分かれて討論会をもつ ・外部の人を招待してスピーチの会を開き、自分たちのものの見方・考え方を訴える 実践2

指導実践の概要と考察

実践1 - 第3学年「環境問題」調査計画書の作成

本時のねらい

個々の設定した「環境問題」のテーマについて、問題解決していくために必要な調査内容を明確にできるようにする。

調査したい内容を明らかにするために、より効果的な調査方法を選ぶことができるようにする。

関連の段階：調査計画の段階


関連教科と考え方

国語 「一 言葉とわたしたち 日本語は乱れているか」

学習で培った日本語について調査したこと報告書にまとめる「書く力」を調査計画の段階で活用し、見通しをもち調査計画をさせる。

手だて：国語での学習事項の確認

指導計画の類型と関連事項

	教材や題材、学習活動での関連	資質・能力での関連
国語	タイプ1 教科から 	・質問を工夫して話したり工夫したりする。 ・インタビューを通して、相手の思いをとらえて文章で表現する <学習活動>
		事実を踏まえながら、相手の思いが伝わるように、段落構成を工夫して書く。 <書く能力>



展開 (8・9 / 50時間)

形態	学習活動() 留意点(・)	教科との関連	評価()
一斉	本時の活動予定を確かめる。 自分の「環境問題」テーマの解決のための調査計画書を作成する ・計画作成において、テーマに迫るために必要な調査内容と、自分の体験や行動を通した調査方法を考えることを促す		自分の活動のねらいを確かめ、見通しをもって取り組もうとしているか。 <関心・意欲・態度/行動>
活動	調査計画書を作成する。 テーマ テーマ設定の理由 調査内容 調査方法 等	国語 「日本語は乱れているか」 資質・能力「書く力」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 見つけた課題についてインタビューやアンケートを活用して調査し、報告書にまとめる </div>	テーマに迫るために必要な内容や方法で調査しようとする計画が作成できたか。 <思考・判断/活動>
活動	調査計画書の見直しをする。 ・計画見直しのチェックポイントを与えて、特に調査方法について充実させる。		文献調査だけでなく、自分の体験や行動を通した調査方法であるか。 <思考・判断/発言・記録>
一斉	学習のまとめをする。 ・学習カードに次時の活動予定を記入する。		

考察

- ・総合的な学習の時間の学年段階の最後として、多様な調査方法を駆使して問題解決できることを目指した。1年生では「課題決定 調査 発表・まとめ」という大きな学習の方法を学び、2年生では職場体験による学習を行った。3年生のテーマ「環境問題」は、文献調査のほかに、実験・観察、施設訪問など、様々な調査ができるものであり、調査方法の充実をポイントに実施した。
- ・体験を通して方法として、アンケート調査があるが、国語科のこの単元では、アンケートの作り方について学習しており、これも一つの調査方法として取り入れた。

3 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の改善に関する研究のまとめ

本年度の研究目標は、教科との関連を図る総合的な学習の時間のリフォーム試案に基づき、教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムを立案し、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」を作成することであった。その具体的な手だてとして、リフォームの実際と学習活動の展開案を提案し、部分的ではあったが研究協力校における実践をとおして、次のような成果と課題を得ることができた。

(1) 成果

- ア リフォーム試案に基づく、教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムの立案から、以下の五点について提示することができた。
 - (ア) 学校教育目標や総合的な学習の時間で目指す児童生徒像を明確にし、その具体化のために教科で培う問題解決的な学習過程を設定した全体計画の作成手順を提示できたこと
 - (イ) 総合的な学習の時間の単元と教科の単元を、「何で」(教材や題材、学習活動、資質や能力)関連させるのかが見えるような年間指導計画の作成手順を提示できたこと
 - (ウ) 単元の目標や学習活動、評価規準等を照らし合わせて明らかになった関連事項を、「指導計画の類型」や「学びの関連表」を手だてとして、学習活動の過程に組み入れた単元指導計画の作成手順を提示できたこと
 - (エ) 学びのつながりの意識付けを図ったり示唆したりするための具体的な手だてとして、「学びの掲示板」や「学びの関連表」、「関連をふり返るワークシート」を提示できたこと
 - (オ) 目標に準拠した評価と児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況をなどを評価するための個人内容評価との両全を目指した評価規準を提示できたこと
- イ 総合的な学習単元カリキュラムに基づく指導実践をとおして、焦点化した総合的な学習の時間と教科との資質や能力を見ていくことにより、互いの基礎基本も明らかになった。そのことにより、教科で育成した資質や能力を総合的な学習の時間の場で活用しようとしたり、教科の資質や能力も総合的な学習の時間をとおして向上させようとする意識の高まりが、教師や児童生徒に見られるようになったこと。
- ウ 本研究における基本的な考え方や推進構想を、実践をとおした考察と先進的な実践例の整理を行うことにより、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」としてまとめることができたこと。

(2) 課題

- ア 総合的な学習単元カリキュラムのリフォームという研究内容から、部分的な実践にとどまったため、今後構想のすべてについての確認が必要なこと。
- イ 総合的な学習の時間と教科との関連を図っていく場合、各教科のもつ系統性や児童生徒の資質や能力の発達段階との調整をどのように図っていくか、今後さらに検討が必要なこと。

研究のまとめ

1 研究の成果

この研究の目的は、総合的な学習の時間の単元カリキュラムのリフォームをとおして、小・中学校における教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムの在り方を明らかにするものである。

第2年次となる本年度の研究目標は、教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間のリフォーム試案を基に、教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムの立案、指導実践の考

察をととしてのリフォーム試案の妥当性の検討、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」の作成であった。ここでは、研究内容について、概括的にまとめる。

(1) 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の改善に関する取り組み事例

ア リフォーム試案に基づくリフォームの実際

昨年度作成したリフォーム試案を基に、学校の実態に即した視点から吟味・検討を行い、教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムを立案することができた。

イ 総合的な学習単元カリキュラムに基づく指導実践と考察

教科との関連を図る総合的な学習単元カリキュラムに基づいた指導実践を行い、その結果について、関連の考え方や手だての妥当性について検討するとともに、実践に対する教師の理解の状況や児童生徒の意識を把握することができた。

(2) 総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」の作成

学校における積極的な実施に資するために、実践結果の考察による改善を加えるとともに、先進的な実践例を参考にしながら、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」を作成することができた。

(3) 教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の改善のまとめ

「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」の作成をもって、研究のまとめとするが、今後、実際の活用をとおしてさらに改善を図っていきたいと考える。

2 今後の課題

道徳や特別活動においては、態度としての資質・能力の育成が大きく、特に、行事等の内容的な事柄の関連が図られやすい特別活動では、特別活動のねらいである「自主的な態度や集団生活における自発的・自治的な実践力」を関連させていくという考え方が大切になる。

今後、「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」の内容と活用方法について、実際の活用をとおして実践的に効果を確かめるとともに、道徳や特別活動との関連の在り方を明らかにしながら、より一層内容を充実させていく必要があるものとする。

おわりに

この研究を進めるに当たり、ご協力いただきました研究協力校の先生方、児童生徒の皆さんに心からお礼を申し上げます。

【参考文献】

- 小川哲哉(2002),『カリキュラムデザインと評価の実際』,東洋館出版
片山宗二(2004),「“学び方スキル”のアップ法」,『総合的学習を創る』5月号,明治図書
北 俊夫(2001),『「総合的な学習」のカリキュラムの実際』,明治図書
北 俊夫(2001),『「総合的な学習」と教科との相互関連』,明治図書
児島邦宏(2003),『総合的な学習ハンドブック』,ぎょうせい
早坂五郎(2000),『双方向からの総合的な学習』,東洋館出版
東京都教育委員会(2002),『小学校総合的な学習の時間指導資料 第3集 評価編』
東京都大田区山王小学校(2002),『研究紀要』
独立行政法人教員研修センター(2003),教職員等中央研修講座シリーズ から
『総合的な学習の時間〔小学校版、中学校版〕』
静岡県静岡市立一番町小学校(2003),『研究紀要』
新潟県教育委員会(2002),『児童生徒の学習状況の評価について』

【参考Webページ】

- 川崎市総合教育センター “教科と「総合的な学習の時間」の関連を図った教育課程の編成”
<http://www.keins.city.kawasaki.jp/database/kiyou/kiyou15/15-021-036.pdf>
国立教育政策研究所 “総合的な学習の時間と評価の工夫”
<http://www.nier.go.jp/seika/sogo-report/sogo.htm>
山梨県教育センター “総合的な学習の時間カリキュラム評価チェックリスト例”
<http://mquicksv.kai.ed.jp/cgi-bin/myweb.exe/#seek>

【別冊資料】 「総合的な学習単元カリキュラム・リフォームの手引き」

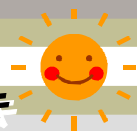
教科との関連を図る小・中学校総合的な学習の時間の改善に関する研究

- 総合的な学習単元カリキュラムのリフォームをととして -



総合的な学習単元カリキュラム・

リフォームの手引き



My School 【総合】 *Reform Guide*

平成17年2月9日
岩手県立総合教育センター

目次

基本的な考え方

- ・教科との関連を図るための基本的な考え方を明確にしましょう 1
- ・リフォームの基本的な考え方をとらえましょう 1
- ・リフォームのプランを立てましょう 2

カリキュラムチェック

- ・総合的な学習の時間のカリキュラムをチェックしましょう 3

計画レベル

- ・全体計画を作成しましょう リフォーム 「何のために」 4
- ・年間指導計画を作成しましょう リフォーム 「何で」 5

実践レベル

- ・単元指導計画を作成しましょう リフォーム 「どのように」 7
- ・具体的な指導・支援を工夫しましょう リフォーム 「どんなものを」 9
- ・指導・支援を評価しましょう リフォーム 「どのようになったか」 10

内面レベル

- ・関連の成果を意識付けましょう リフォーム 「どのようにつながったか」 12



総合的な学習単元カリキュラム・

リフォームの手引き



My School 【総合】 Reform Guide

教科との関連を図る総合的な学習の時間

リフォーム・ガイド

基本的な考え方

カリキュラムチェック

計画レベル

実践レベル

内面レベル



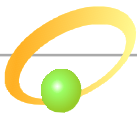
教科との関連を図るための基本的な考え方を明確にしましょう！

各教科等との関連の在り方と深く関係している教育課程審議会の答申（平成10年7月）の内容は、総合的な学習の時間と教科との関連を考える基本であり、これからの教育を方向付けています。

教育課程審議会「答申」（平成10年7月）

「各教科等それぞれで身に付けられた知識や技能などが相互に関連付けられ、深められ児童生徒の中で総合的に働くようになる。」

つまり、教科から総合的な学習の時間へ向けて、発展し深化する学習活動を設定することができれば、教科と総合的な学習の時間が相互に補完し合って、児童生徒に生きる力を育むことができるし、総合的な学習の時間から教科へ向けて発展深化する学習活動を設定することができれば、児童生徒の学校生活はより深まり、学習意欲の向上へつながります。



教科との関連をこのように考えてみては？

- ◇総合的な学習の時間と教科との関連を成立させるためには、児童生徒一人一人が各教科の基礎・基本を確実に身に付けるようにすること
- ◇総合的な学習の時間と教科の学習においては、それぞれの学習の成果が相互に発揮されるようにすること
- ◇総合的な学習の時間と教科について、次の二つの特質から相互の関連を図るようにすること
 - ①教材や題材、学習活動による関連
 - ②身に付けた資質や能力による関連



リフォームの基本的な考え方をとらえましょう！

総合的な学習の時間においては、課題について知識を身に付けることや具体的な課題解決が目的ではないことを踏まえることが大切です。内容も学び方を重視します。しかし、教科における学習内容・方法の定着がなければ総合的な学習の時間は十分に展開されません。

総合的な学習の時間が教科と関連して総合的な学習の時間が十分に展開されるためには、総合的な学習の時間が学校全体の教育課程に位置付き、根付くものにする必要があります。

総合的な学習単元カリキュラムのリフォームとは？

総合的な学習の時間の実践の蓄積の中から、望ましい総合的な学習の時間の姿を再構成する作業



リフォームのプランを立てましょう！

総合的な学習の時間と教科とを関連付けた指導を進めていくには、下図に示すような手順とポイントを踏まえつつ、相互の関連の必然性をもちながら児童生徒が学べるように、学びの実態に応じて指導・支援を見直しリフォームしていくことが大切です。

スタート！



カリキュラム評価

P3

本校のカリキュラムの状況はどうだろう？



まずは、状況の点検を…
リフォーム箇所を明らかに
します。

計画レベル

1
リフォーム



全体計画の作成

P4

「何のために」教科との関連を図るのだろう？



総合的な学習の時間で育て
たい力を明確にして、関連
の在り方を検討します。

計画レベル

2
リフォーム



年間指導計画の作成

P5

「何で」関連させることができるのだろう？



相互の評価規準から教材や
題材、学習活動と資質や能
力に分類・整理します。

実践レベル

3
リフォーム



単元指導計画の作成

P7

「どのように」つなげていくことができるのだろう？



「関連タイプ」や「学びの
関連表」を活用し、つなぎ
方を明確にします。

実践レベル

4
リフォーム



具体的な指導・支援

P9

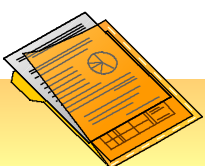
「どんなものを」用意したらいいのだろう？



学びのつながりの意識付け
を図る「しかけ」を用意し
可能性を引き出します。

計画レベル

5
リフォーム



指導・支援の評価

P10

「どのようになったか」実態をつかむためには？



見取りの視点から学びの実
態を把握し、指導・支援の
在り方や改善点を検討します。

内面レベル

6
リフォーム



関連の成果の意識付け

P12

「どのようにつながったか」関連の成果を残すには？



関連を意識付ける時期を設
定し、関連の意味付けを学
習シートに盛り込みます。

完了



さあ！リフォームを始めましょう





教科との関連を図る総合的な学習の時間

リフォーム・ガイド

基本的な考え方

カリキュラムチェック

計画レベル

実践レベル

内面レベル



総合的な学習の時間のカリキュラムをチェックしましょう！

カリキュラム評価は、学校独自の指導計画、指導方法、指導体制、条件整備等の状況を点検することにより、それらが教育目標を達成できるものになっているかどうかを判断し、改善を加えるものです。

「学校の方針」「学習活動」「評価」等に視点を当てて評価の観点や規準を設定し、チェックシートを作成します。チェックシートを基にカリキュラムを評価し、リフォーム箇所を検討しましょう。

カリキュラム評価の観点は、下表のようなことが考えられます

【補資1】

	学校としての方針	学習活動	評価
評価 の 観 点	①目標・内容の明確化	⑥学習課題の適切さ	⑬評価の主体
	②評価の観点、見取りの視点の設定	⑦体験的な活動 問題解決的な学習	⑭評価方法
	③人材活用	⑧学習形態	⑮カリキュラム評価
	④隣接する学校との連携	⑨学習場所	
	⑤説明責任	⑩学習時間・時期 ⑪教科等との関連 ⑫学習成果の発表	

チェックシートは、具体的な姿で見取れるように工夫しましょう

例えば①<目標・内容の明確化>、⑪<各教科等との関連>を例にすると…

評価の観点	レベル1	レベル2	レベル3
① 目標・内容の明確化	<input type="checkbox"/> 単元活動レベルでは検討されているが、総合の目標や内容は明確にされていない	<input type="checkbox"/> 学校としての目標や内容は明確にされているが、学年ごとには具体化されていない	<input type="checkbox"/> 学校としての目標や内容が明確にされ、学年ごとにも具体化されている
⑪ 各教科等との関連	<input type="checkbox"/> 関連は特に意識していない	<input type="checkbox"/> どの学年のどの単元とかかわるのかを意識して指導している	<input type="checkbox"/> 「何で」「どのように」かかわるのかを計画的に指導している

チェックの結果から、明らかになったリフォーム箇所すべてについて改善を加えることが目的ではありません。あれもこれもと手を付けて疲労感だけが漂うことがないように、「どんな力を身に付けた子どもたちの姿が見たいのか」という最終ゴールをイメージして、重点項目をしばりましょう。



教科との関連を図る総合的な学習の時間

リフォーム・ガイド

基本的な考え方

カリキュラムチェック

計画レベル

実践レベル

内面レベル

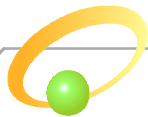


全体計画を作成しましょう！

リフォーム ① 『何のために』

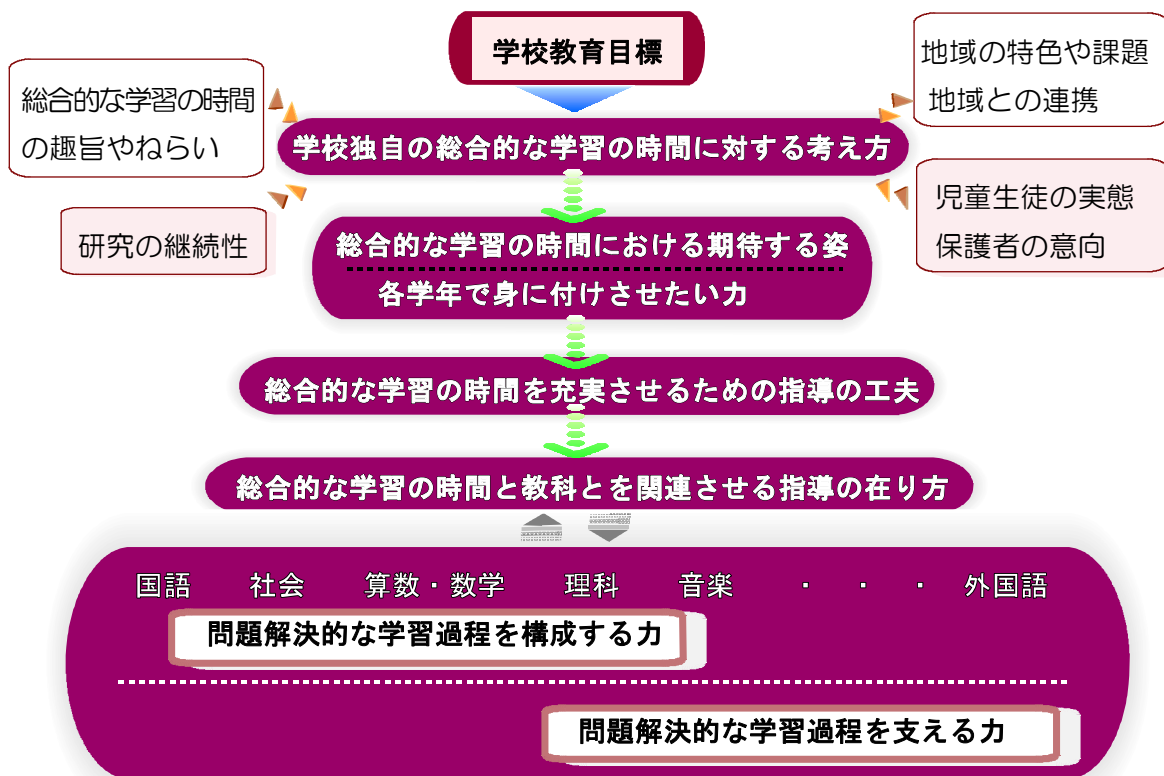
学校として総合的な学習の時間に意図的、計画的、組織的に取り組んで行くためには、総合的な学習の時間に対する学校としての基本的な考え方を示した実践のための全体計画が必要になります。

全体構想を見直し、教科との関連も含めた全体計画を作成するにあたっては、「何のために総合的な学習を進めるのか」「何のために教科との関連を図るのか」をもう一度検討してみましょう。



全体計画のフレームをとおしてリフォーム！

【補資2】



今までの全体計画や学校要覧、学校概要等とすり合せながらフレームの項目を整理します。「不必要なものは何か？新たに加えなければならないものは何か？」を検討しながら作成することで、教育課程上の位置付けが明確になり、共通理解を図ることができます。

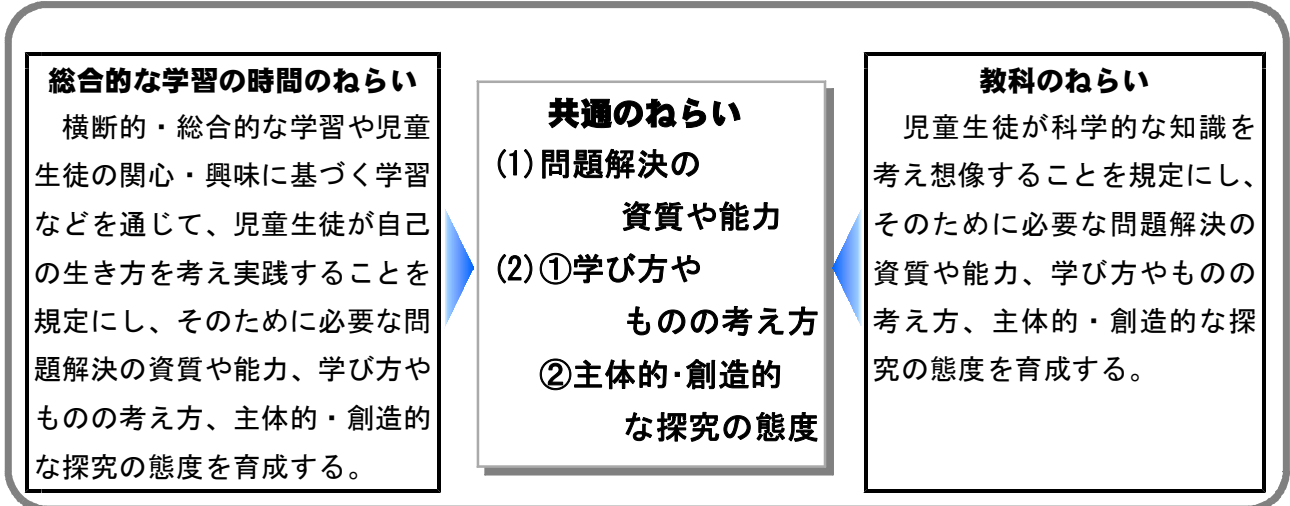


年間指導計画を作成しましょう！

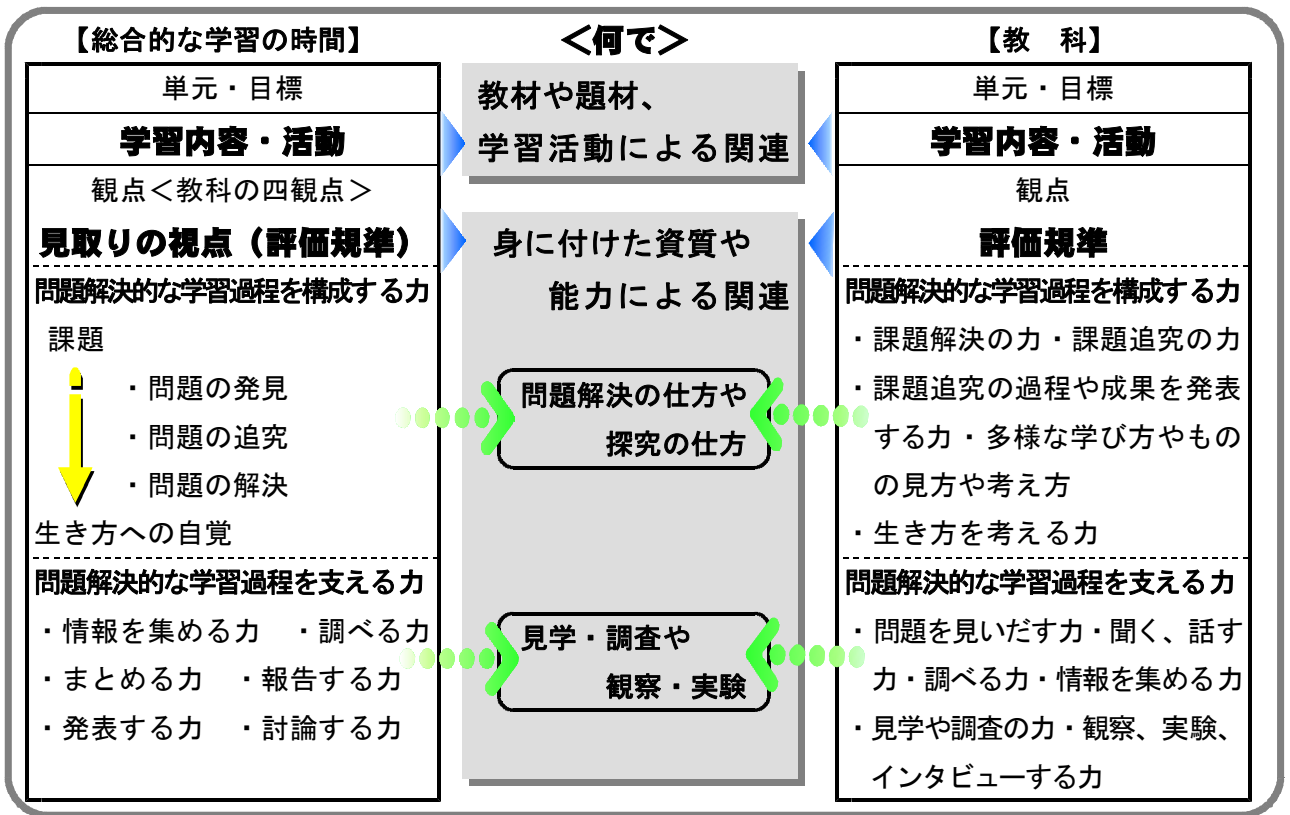
リフォーム ② 『何で』

年間指導計画では、総合的な学習の時間のどの単元内容と教科のどの単元内容を関連させるかが示されるだけでなく、それらを「何で」つなげようとしているのが明確に示されたものを作成する必要があります。そのためには、総合的な学習の時間と教科との間に共通性を見いださなければなりません。

はじめに、それぞれのねらいに着目すると、次のような共通のねらいが存在することが分かります。

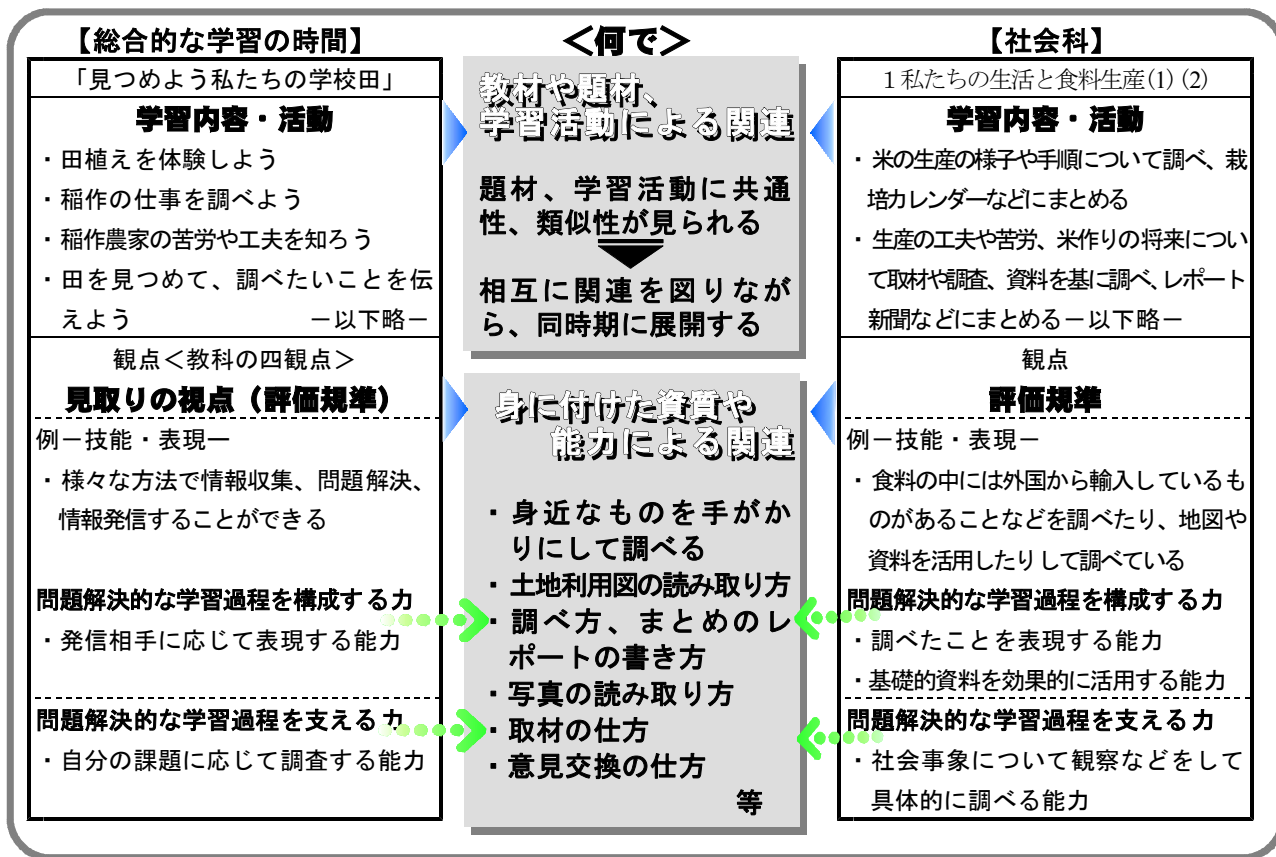


この共通のねらいに注目しながら、それぞれの指導計画を照らし合わせてみると、「教材や題材、学習活動」と「身に付けた資質や能力」でのつながりが見えてきます。



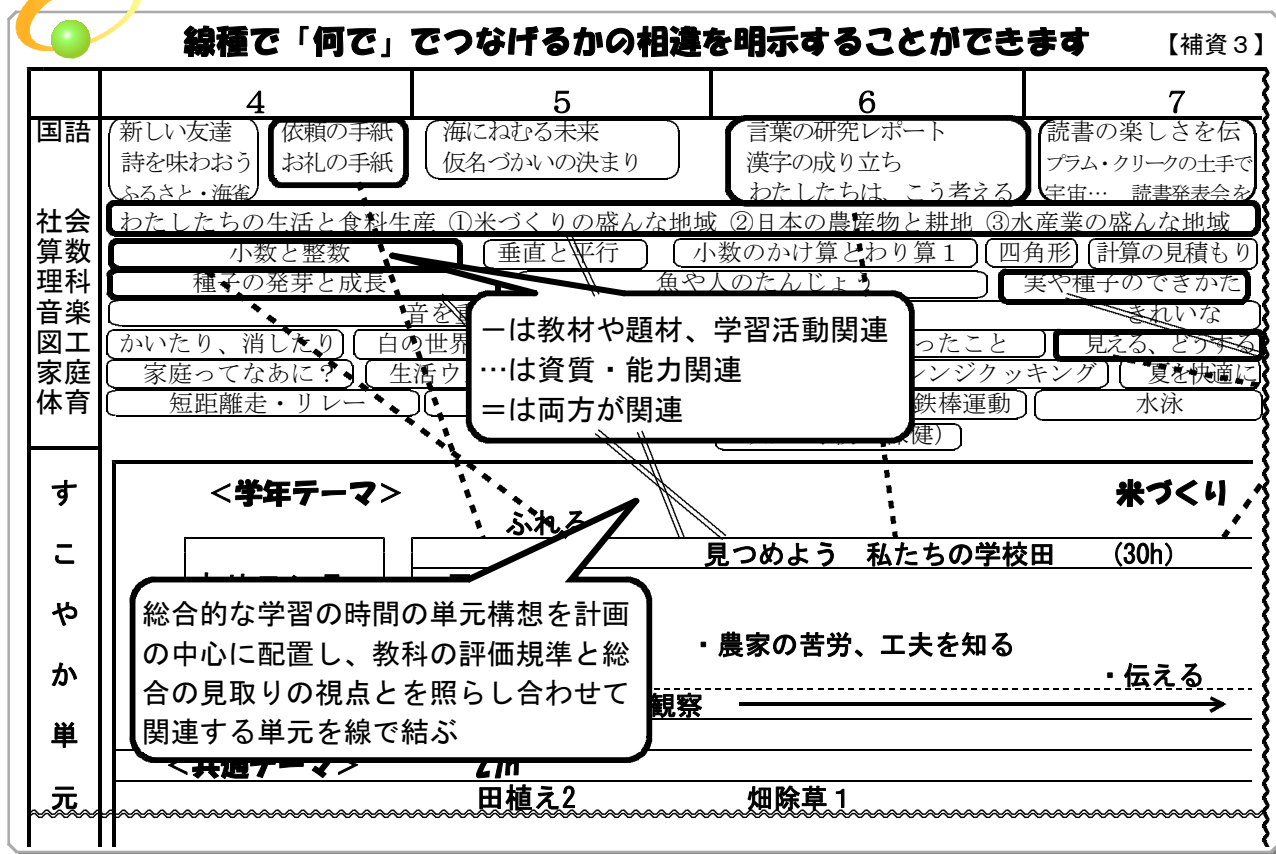
総合的な学習の時間の見取りの視点（評価規準）と教科の評価規準とを照らし合わせながら、「教材や題材、学習活動」「身に付けた資質や能力」に分類・整理して年間指導計画に位置付けます。

それでは、評価規準を照らし合わせた事例を基にして、関連するものを見てみましょう。



「何で」関連するのかが明らかになったら、線種で意味付けし、年間指導計画に位置付けます。

関連を具体的に提示した年間指導計画例の一部概略



同じように、道徳や特別活動との関連も位置付けてみましょう。



教科との関連を図る総合的な学習の時間

リフォーム・ガイド

基本的な考え方

カリキュラムチェック

計画レベル

実践レベル

内面レベル



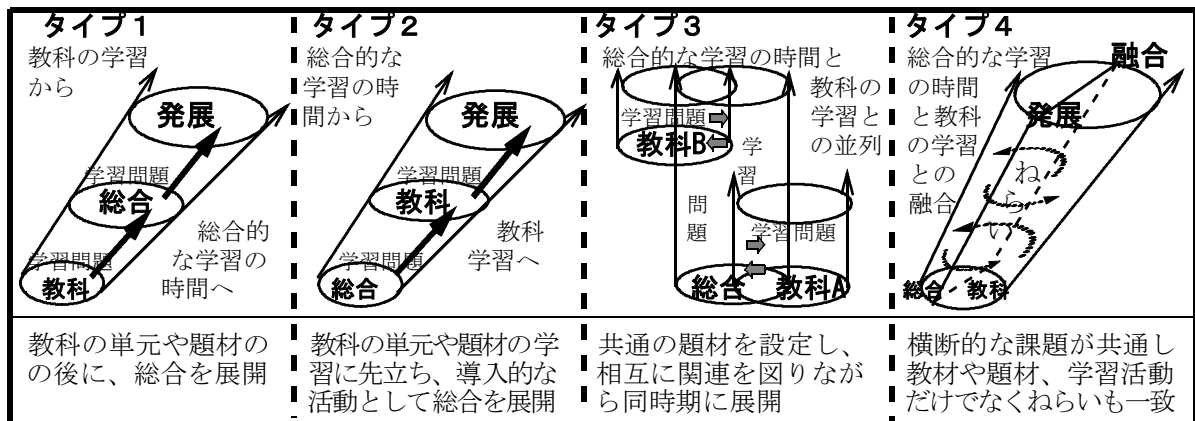
単元指導計画を作成しましょう！

リフォーム ③ 「どのように」

総合的な学習の時間は学校独自のカリキュラムが要求され、学校や指導者が教科との関連を意図的、計画的に組み込み、目指す教育の方向性を示すことが大切です。

■ 教材や題材、学習活動などに共通性、類似性が見られる場合の関連

教材や題材、学習活動による関連を図る指導計画を類型すると四つのタイプに示すことができます。



これらの関連は、目に見えやすく、指導計画に具体化しやすいのですが、教材や題材、学習活動がたとえ同じでも、それを通して身に付けるねらいが違うことをおさえることが大切です。

■ 児童生徒が身に付けた資質や能力による関連



教科の学習で培った資質や能力を総合的な学習の時間で活用しながら相互に生かしながら積極的に関連付けて、総合化し、身に付けさせたい力を育成していくことをねらいます。

この関連を連続性をもって継続させることにより、相互に支え合う力を総合的な学習の時間と教科の中に見いだした関連指導が図られます。

さらに、学校独自で総合的な学習の時間で身に付けさせたい学び方や考え方をまとめた「学びの項目」や「学びの関連表」を作成することで、関連させる能力・資質の具体的な項目が明確になります。

【学びの項目例】 ▶▶ 各教科の単元にあてはめると…▶▶ 【学びの関連表例】 (例示は5年生)					
	学び方項目		総合とかかわる部分	単元	
「学び方」 を学ぶ 図書館で 調べる 情報を集 める 手紙の書 き方	1	テーマを決め学ぶ	国	依頼状・礼状の書き方	依頼のお手紙
	2	テーマについてWebする	語	調べたことを分かりやすく	言葉の研究レポート
	6	図書館の使い方を学ぶ	社会	レポートを書く	
	18	スクラップの仕方	社会	身近な物を手がかりにして	私たちの生活と
	19	コンピュータの使い方	算	調べる	食料生産
	28	電話のかけ方	数	グラフの読み取り	庄内平野の米作り
30	見学の依頼分		概数にしてから計算	小数と整数	
31	資料を送ってもらう		帯グラフ・円グラフの書き方	割合とグラフ	
		【補資4】		【補資5～6】	

■ 単元指導計画と展開例

カリキュラムは、実際には単元として構成され、単元実施によって実現を図るものです。教科を関連させることで、より効果的で適切なカリキュラムの作成を目指します。下の単元指導計画と展開の例は、社会科と関連させた意識化を図る段階の例です。



年間指導計画で結び付けた線を具体的に設定します

◆ 単元指導計画

【補資17～18】

	主な学習活動<○> 支援や留意点<・>	教科との関連
意識化・意欲化	<ul style="list-style-type: none"> ○全体のテーマを設定する <ul style="list-style-type: none"> ・児童の願いや興味・関心を生かした活動ができるようにする ○田植えをし、稲を育てている ○稲作農家の苦勞・工夫を知った ➡ 知りたいことがはっきりしてきた ○「お米博士になりたい！」 ・米について、全体テーマ（第1次から）を設定し、何を調べ、発信したらよいか意見を出し合い課題を整理する。 	社会：単元名「わたしたちの生活と食料生産①米づくりの盛んな地域」 ○学習内容や資質・能力（学び方）を総合的な学習の時間の追究活動に生かすことによって、よりよい解決ができたことを意識させる ・農業に従事している人々や苦勞 ・調べ方、情報収集や取材の仕方、資料やグラフの読み取り等

◆ 本時の展開

【補資19～23】

	学習活動(○) 留意点(・)	教科との関連
一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動予定を確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1次の「見つめよう私たちの学校田」を繰り返る。 ○田植えの経験 稲の成長観察 ○社会科で学習したことを基にした調べ学習 ➡ 自分が調べたいことがはっきりしてきた ↓ (新しい課題) ・本時の活動の見通しをもって意欲的に取り組めるようにする。 ○全体のテーマの設定 ○課題の修正、整理 	社会：「わたしたちの生活と食料生産①米づくりの盛んな地域」との関連による課題追究から、関連の成果を意識付ける ○学習内容 ・農業に従事している人々の工夫、苦勞に気付く ○資質・能力（学び方） ・調べ方・情報収集や取材の仕方、資料・グラフの読み取り方等

実際には学習活動と資質・能力は複合的に関わり合っており、学習状況を総合的に把握しながら関連を工夫することが大切です。



具体的な指導・支援を工夫しましょう！

リフォーム 4 「どんなものを」

実践していく際には、児童生徒が学んだことを他の学びに転移させることができるように、学びのつながりの意識付けを図る『しかけ』が大切です。具体的には、関連の意識付けを図ったり示唆する掲示や助言、関連が見取れる関連表等が必要になります。

学びの意識付けを図る「しかけ」

教科の授業の指導過程で提示した学び方等の資料を掲示することによって、学んだことをどのように活用すればよいか意識付ける。

学びの掲示板

教師側の学びの関連表に、児童生徒自らが学習単元での学びの関連を見取れる工夫を行い、関連の可能性を引き出す。

学びの関連表（児童生徒用）

ここでは、「学びの掲示板」や「学びの関連表」を提示しますが、児童生徒自らが、学んだことをどのように活用すればよいかを考える手だてを工夫していくことが大切です。つまり、教科との関連を教師が意識することから、具体的な指導・支援が生まれます。

「しかけ」を具体化してみましょう！

【補資 7～8】

【学びの掲示板】の例

【国語】＜私たちの学校生活＞

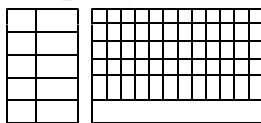
・ ・ ・ ・ ・ ス
聞ま始よ聞ス理話ビ
きとめつきピしすー
手めにて手した時チ
にて、のチり間で
分言話声人を、に大
かうすの数す詳合切
り。内大るしわな
やす容き機場くせ
すをさ器所して、と
い大をののた、
ようま考有広り内
にかえ無さす容
ににににや、を、
整

【社会】＜食料生産を支える人々＞

グラフを書いて考えよう

わたしたちは、六日町での、10a当たりの米の生産量の変化について、グラフを書いてみました。

1. 下の表をもとに、グラフをかこう

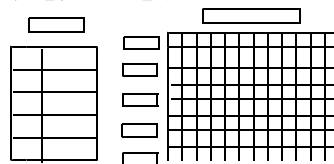


2. グラフを読み取るう

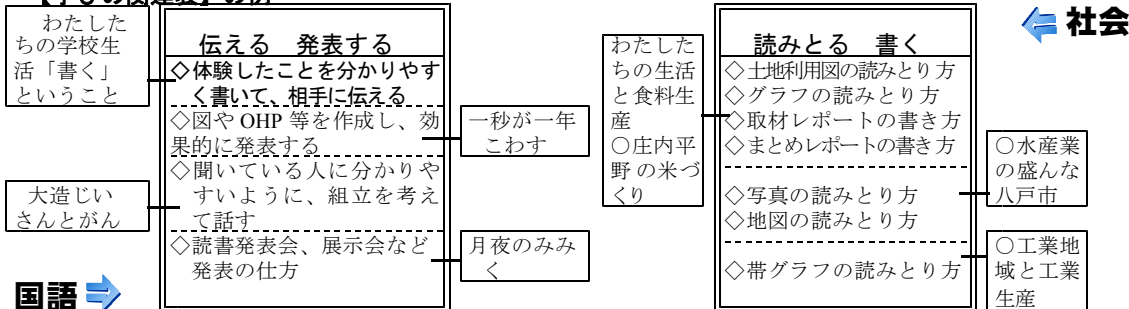
【算数】＜折れ線グラフかき方＞

折れ線グラフのかき方をおぼえよう

- (1) 横のじくに、調べた時こくを、同じ間をあけて書く
- (2) たての軸に、最高気温の15度が表せるように、目盛りを付ける
- (3) 表を見て点をうつ



【学びの関連表】の例



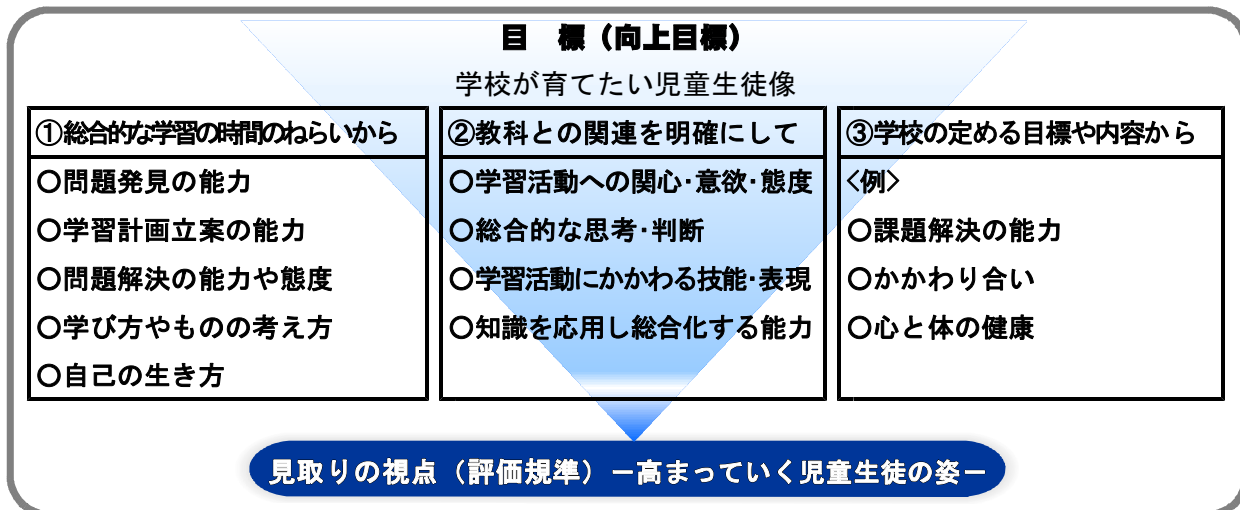


指導・支援を評価しましょう！

リフォーム 5 「どのようになったか」

児童生徒の学びの実態から指導・支援を評価し、学習活動の促進と指導の改善を図る必要があります。実践されている総合的な学習の時間で、どのような資質や能力を育むことができたのか、また、どのような資質や能力が身に付いたのかを示すためには、見取りの視点（評価規準）が重要な意味をもちます。

まず、観点を設定しましょう。



次に、観点を徐々に具体的なものに下ろして「学校（学年）レベル」「単元レベル」での見取りの視点（評価規準）を作成します。

学校レベルでの見取りの視点（評価規準）例（②教科との関連を明確にして）

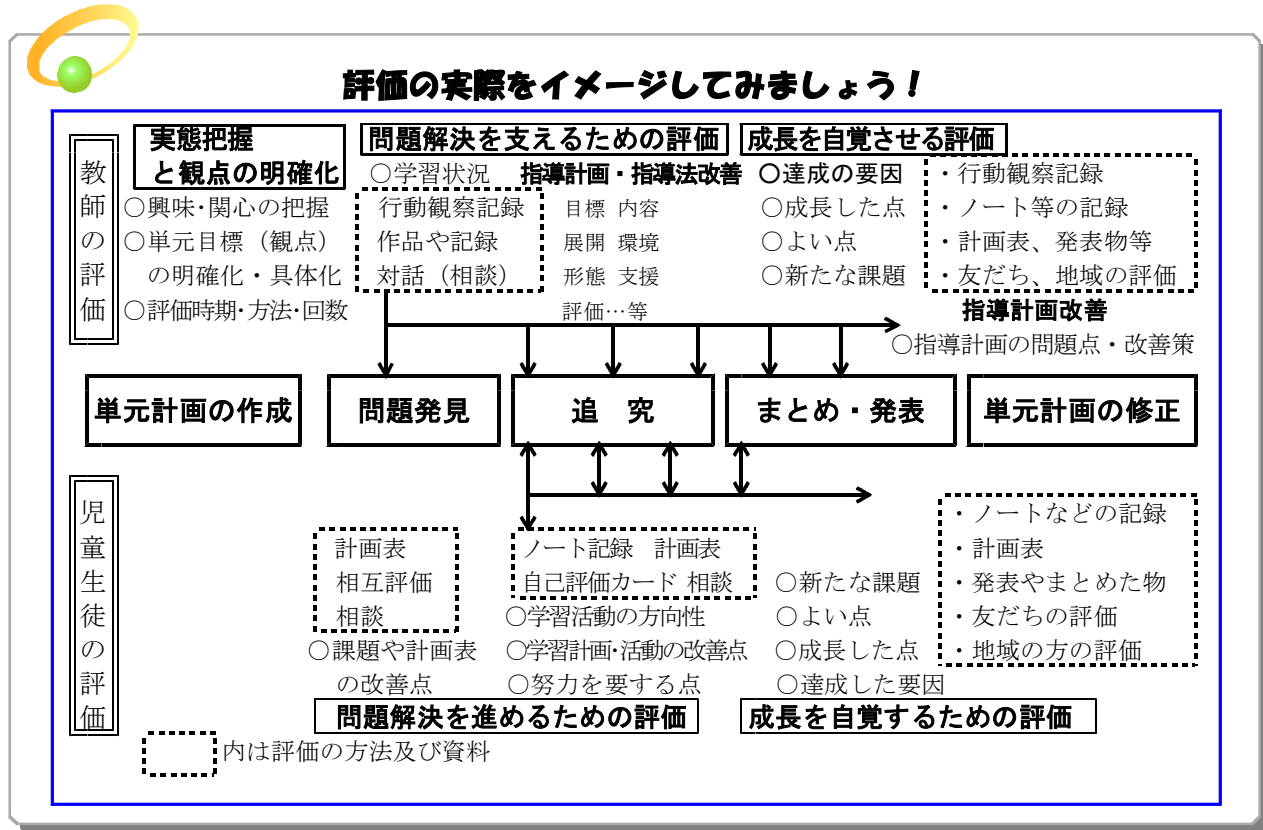
【補資9】

	＜自 立＞	＜共 生＞
学習活動への興味関心態度	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで体験し、学習活動を楽しむことができる ○興味・関心を基に自分なりの課題を見つけ、進んで調べたり、体験しようとしたりすることができる ◎見付けた課題を追究・解決するために主体的に学習活動に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な事象に興味・関心をもち、進んでかかわろうとすることができる ○自他の違いを見付けて認め合ったり、他を思いやって大切にしようとしたりすることができる ◎自他の違いやよさを尊重し、他のよさを自分の中に生かしていこうとしたり、共に生かしていこうとしたりすることができる
総合的な思考判断	<ul style="list-style-type: none"> ●思いや願いを実現するための方法を考えることができる ○自ら課題を見付け、自分なりの方法で追究・解決することができる ◎自ら課題を見付け、自分なりの予想を立てて見通しをもち、方法を工夫して追究・解決することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●他とのかかわりを通して、自分の考えを明確にすることができる ○他とのかかわりながら、自分の考えを深めることができる ◎目的に応じて他とのかかわり方を工夫し、自他の考えを深め合い高め合うことができる

＜●→○→◎は、発達段階や学習内容に応じて高まっていく児童生徒の姿＞

第5学年 総合的な学習の時間		見取りの視点（評価規準）			No. 1
単元名		見つめよう 私たちの学校田			
		(30時間扱い)			
単元目標	○米づくりに興味・関心を持ち、学習情報を効果的に活用して自分の課題を立ち上げることができる。 ○自分から進んで田植えや稲の育て方に関する手だてを考え、課題を見つけたり、自分なりの方法で追究・解決したりすることができる。 ○田植えの方法や自分なりの方法で表現し、得た知識を生かして苗を育てることができる。 ○田植えの経験や得た知識や気持ちを自分の生活に生かしていくことができる。	○関心・意欲・態度 ○課題解決に向けて、積極的に調べたり、修正したり既習事項と関連付けて取り組むことができる。 ○友だちや地域の人々の話を聞いて、共同して体験しようとする。 ○思考・判断 ○課題解決の課程で課題の修正をしながら既習事項と関連付けて解決することができる。 ○自己を理解し比較しながら、課題を修正したり既習事項と関連付けて解決することができる。			
視点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識の活用	
単元の見取りの視点	自校のめざす児童生徒像を二つの視点を決めて設定				
意識化・意欲化	◇稲作について興味を持ち、自分の活動に意欲的に取り組もうとしているか。 ◇友だちの課題にも興味を示して意見交換しようとするか。	◇様々な学習情報を基に稲作に関する学習意欲を高め、主体的に取り組もうとしているか。 ◇GTや友だちから得た情報を自分の情報と比較し課題を焦点化することができるか。	◇様々な方法で情報収集・課題解決・情報発信することができる。 ◇様々な方法で友だちや地域に働きかけ、情報収集・課題解決・情報発信することができる。	◇学習過程で得た知識や情報を関連付けて新たな知識として構築し、生活実践できる。 ◇友だちからの情報交換で得た知識や情報を、新たな知識として結びつけることができる。	目標に準拠した評価と児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などを評価するための個人内評価との両方をめざして設定
の	◇課題の立ち上げに主	◇これまでの学習情	◇web学習の掲示板の情	◇インターネットや様々な	

このように、順次設定していくことにより、「総合的な学習の時間」の意義やねらいに対して一貫性のある評価規準を作成し、実践、見取り、指導・支援、改善に生かすことができます。





教科との関連を図る総合的な学習の時間

リフォーム・ガイド

基本的な考え方

カリキュラムチェック

計画レベル

実践レベル

内面レベル

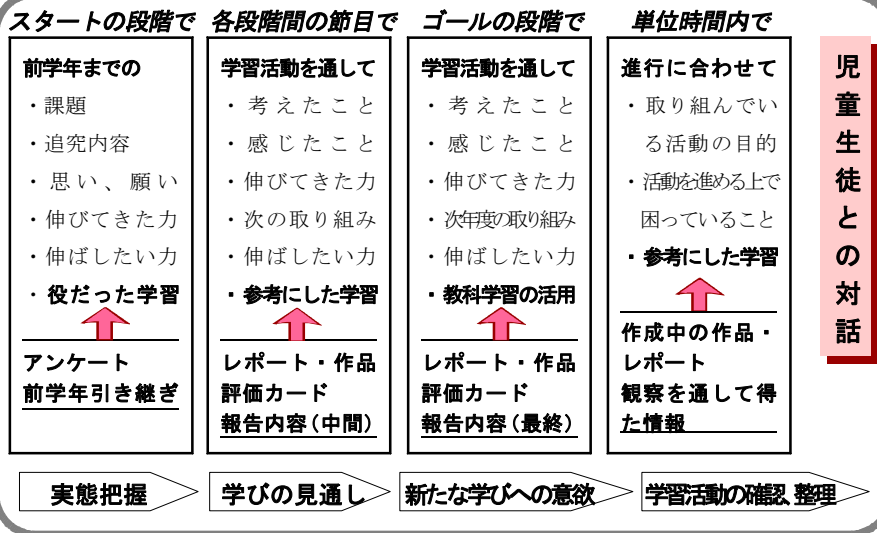


関連の成果を意識付けましょう！

リフォーム 6 「どのようにつながったか」

教科での学習の成果を総合的な学習の時間で生かすことにより、それらの学習の理解が深められたり、問題解決にあたり学習の意義を見いだしたりするようになることや、総合的な学習の時間の学習活動から教科の学習の必然性、問題解決の見通しや視点を実感できるようになることを意識付けていく工夫が大切になります。

ここでは、ワークシートを取り上げてみます。右の図のように、教科との関連事項を盛り込む工夫を図り、各学校で設定している学びの過程の節目を見取りの主な時期としてとらえ、学びのつながりを意識付けていきます。また、発想が広げられる話し合いや資料（記録）を用意することも有効です。



ワークシートに関連を意識付ける項目を位置付けるだけでもOK！【補資11～12】

<p>計画書</p> <p>メンバー <input type="text"/></p> <p>個人課題 <input type="text"/></p> <p>プロジェクト名 <input type="text"/></p> <p>◇どのようになれば完成になりますか</p> <p>◇生活にどのように役立ちますか</p> <p>◇まわりの人や学校・地域社会にどのように役立ちますか</p> <p>◇完成させるためにやらなければならないことを書いて下さい</p> <p>◇プロジェクトを進めるために、参考になる教科は？ ・その教科のどんなことですか</p>	<p>学習シート</p> <p>めあて <input type="text"/></p> <p>調べる内容 <input type="text"/></p> <p>調べた方法 <input type="text"/></p> <p>わかったこと <input type="text"/></p> <p>この次にやりたいこと <input type="text"/></p> <p>●教科で学んだどんなことを参考にしましたか <input type="text"/></p> <p>～活動をふり返ろう～</p> <p>◇今日のポイント</p> <p>◇自分のがんばり度</p>	<p>まとめカード</p> <p>学習テーマ</p> <p>よくできた・できた・もう少し <input type="text"/></p> <p>調べ方</p> <p>よくできた・できた・もう少し <input type="text"/></p> <p>発表・まとめ</p> <p>よくできた・できた・もう少し <input type="text"/></p> <p>教科の学習の活用</p> <p>よくできた・できた・もう少し <input type="text"/></p> <p>☆感想 ☆先生から</p>
--	--	---

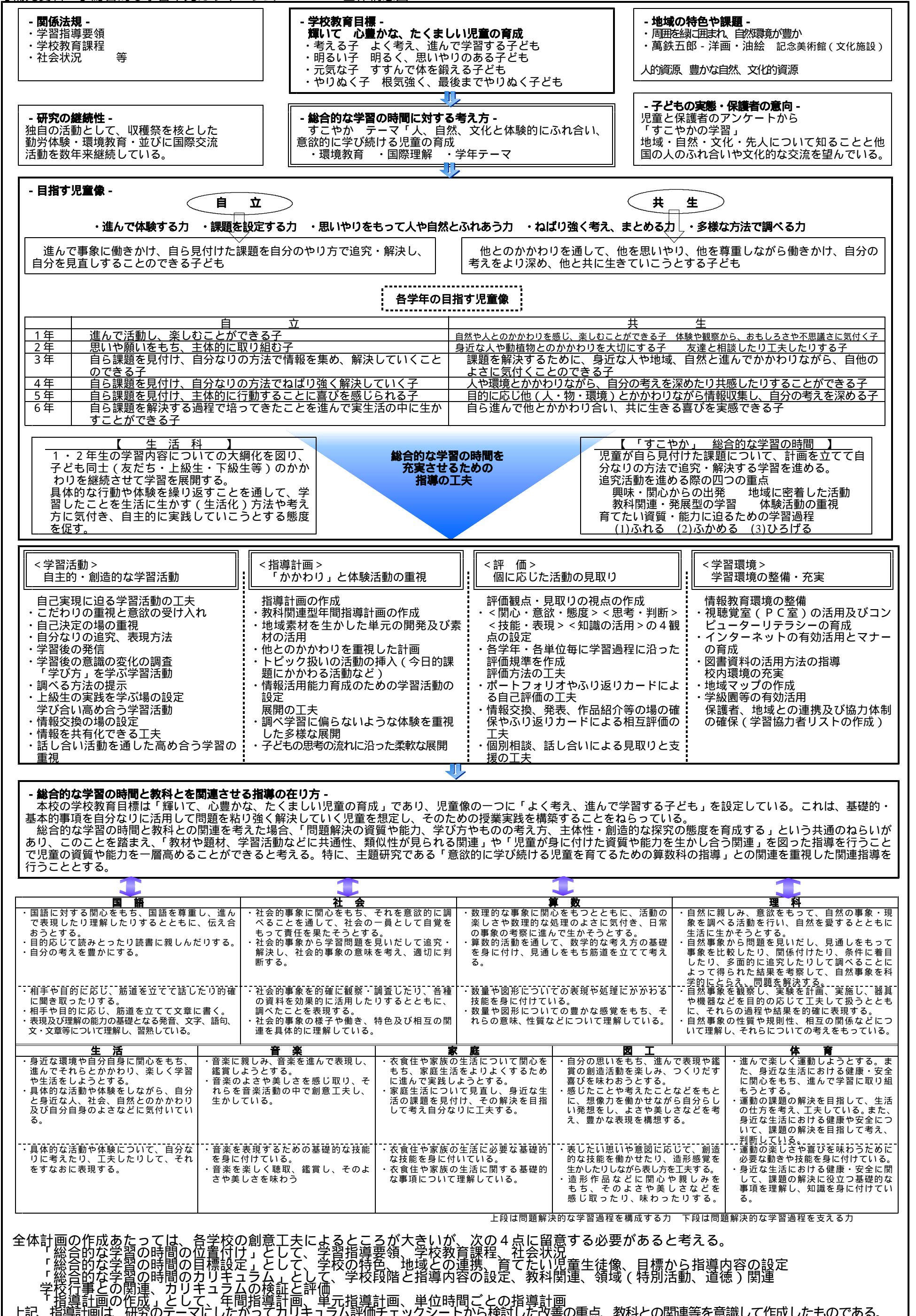
補 充 資 料

<目 次>

【補充資料1】総合的な学習の時間 カリキュラム評価チェックシート	資 1
【補充資料2】総合的な学習単元カリキュラム	
1 全体構想図	資 2
2 年間学習活動計画一覧表	資 3
3 学びの項目と評価の観点	資 4
4 学びの関連表（教師用）	資 5
5 学びの関連表（児童用）	資 7
6 学びの掲示板	資 8
7 学校レベルでの見取りの視点（評価規準）	資 9
8 単元レベルでの見取りの視点（評価規準）	資10
9 関連の意識化を図るワークシート	資11
【補充資料3】総合的な学習の時間 学習活動計画案と指導実践の概要・考察	
◇学習活動案（大単元）	資13
◇学習活動案（小単元）	資15
◇指導実践の概要・考察	資19

【補充資料1】総合的な学習の時間 カリキュラム評価チェックシート

	評価の観点	レベル1	レベル2	レベル3
学校としての方針	目標・内容の明確化	単元の活動レベルでは検討されているが、総合的な学習の時間の目標や内容は明確にされていない。	学校としての目標、内容は明確にされているが、学年ごとには具体化されていない。	学校としての目標、内容が明確にされ、学年段階ごとにも具体化されている。
	評価の観点、見取りの視点の設定	観点や見取りの視点が設定されていない。	観点、見取りの視点は設定したが、学習過程の各観点ごとの見取りの視点は設定していない。	観点、見取りの視点を定め、学習過程の各段階ごとに見取りの視点が設定されている。
	人材活用、指導体制	校内での話し合いは行われず、授業者がその都度協力依頼をすることになっている。	人材バンクや校内の共同指導体制についての話し合いがもたれ共通理解が図られている。	人材バンク登録者と連絡を密にしたり、登録者を拡大する取り組みが行われたりしている。
	隣接する学校との連携	特に考慮していない。	検討中である。	小・中・高校などとの間で、カリキュラムについての情報交換を実施している。
	説明責任	地域や保護者に対して、総合的な学習の時間についての説明や協力依頼を実施していない。	総合的な学習の時間についての説明や協力依頼を行ったが、成果についての説明は考えていない。	総合的な学習の時間の趣旨説明や協力依頼を行い、さらに、成果や課題についての情報公開も計画している。
学習活動	学習課題の適切さ	短時間で課題が決められており、やりたいこと、楽しいことに偏りがちである。	十分な体験活動や資料収集を行った上で課題が設定されているが、問題意識という点では課題が残る。	学習スキルを高めつつ、生き方の自覚が図られるような、価値ある学習課題が設定されている。
	体験的な活動や問題解決的な学習	知識の獲得を重視した、教師中心の授業形式である。	体験的な活動や問題解決的な学習が一部に取り入れられているが、図書やインターネットによる調べ学習が大半である。	実験、観察、現地調査、インタビューなど体験的な活動や問題解決的な学習が十分に展開されている。
	学習形態	特に学習形態を検討せず、学級内での個人学習やグループ学習のみに偏っている。	個人学習、学級内でのグループ学習のほか、学年内グループ学習などいくつかの学習形態を試みている。	異学年での合同学習やグループ学習など、様々な学習形態を工夫している。
	学習場所	ほとんどの学習が教室内で行われている。	コンピュータ教室、図書館、特別教室など、学校内のスペースを十分に活用している。	学校内のみならず、地域の施設などを積極的に活用し、社会体験や自然体験を行っている。
	学習時間、学習時期	45分、または50分単位の授業のみで活動が行われている。	2コマまとめどりなど、時間割の工夫をしている。	一単位時間の設定を弾力的に工夫したり、特定の時期に活動を集中させたりするなどの工夫をしている。
	各教科、道徳、特別活動との関連	関連は特に意識していない。	指導計画や実際の指導場面で、どの学年の、どの単元とかかわるのかを意識して指導している。	指導計画や指導の場面で、「何で」「どのように」かかわるのかを計画的に指導している。
	学習成果の発表	学級内、学年内の発表のみである。	学級や学年内の発表ばかりでなく、全校の児童生徒や保護者に対して発表する機会もある。	あらかじめ発表の場が決められているのではなく、内容に応じて場所や方法、対象者を検討している。
評価	評価の主体	児童生徒の自己評価と担任教師による評価のみである。	自己評価、担任教師による評価ばかりでなく、児童生徒の相互評価や複数の教師による評価も行っている。	自己評価、相互評価、複数の教師による評価のほか、外部講師や保護者による評価も取り入れている。
	評価方法	学習カードによる自己評価、相互評価のみである。	学習カードによる自己評価、相互評価の結果に、教師による見取り評価の結果を重ねている。	学習カードによる評価や教師の観察による評価のほか、作文やレポートなど多様な方法で評価を行っている。
	カリキュラム評価	教師間での情報交換で終わっている。	成果と課題を明らかにし、改善策を見いだす評価が教師間で計画的に行われている。	児童生徒の声や保護者、地域の意見も生かした評価が行われている。



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
国語	新しい友達 ふるさと・ 海雀・がえ...	田植えの 依頼状・礼状 を書こう	形に注目 読み方に 注目	海にねむる 未来・仮名 づかいの...	言葉の研究... 漢字の成り立ち わたしは、こう考える	読書の楽しさを伝えよう プラム... 宇宙を... 本と... 読書会を開こう	あなたへ 熟語づくり のことをわかりや すく伝えよう	わらぐつの中の神様 方言と共通語 読む人のこと を考えて 言葉の使い分け	地球環境について考えよう 一秒が一年をこわす ホタル... 子ども環境会議	国語辞典を使って 思い出番組を作るう 漢和と和語	言葉を集 め...漢字の 読み方...	ニュースを発信しよう ニュースを伝える 伝え方を工夫して発信しよう	同じ音 の漢字 みみずく	
社会	わたしたちの生活と食料生産 米づくりの盛んな地域 日本のお土産物... 水産物の...				わたしたちの生活と工業生産				わたしたちの生活と情報					
算数	小数と整数	垂直と平行	小数のかけ算とわり算1	四角形	計算の見積もり	変わり方の	小数のかけ算とわり算2	面積	式と計算	分数	割合	円	5年のまとめ	
理科	種子の発芽と成長	魚や人のたんじょう	実や種子のできた			流れる水のはたらき	天気の変化	もののついで	おもりの動きとはたらき	ものついで	考えよう・調べよう			
音楽	目を重ねて		きれいなひびきで				曲の気分をどうして		音楽の持ちようを感じて		はばたけ歌声			
図工	かいたり、消したり	白の世界	ここにマイハウス	心に残ったこと	見える、どうする	不思議なキャンディーを食べたら	ここでパチン	だんだんコリントゲーム	乗ってみたいな	きょうかひじゅつかん	美術誌を見学しよう	音をカタチにしてみる		
家庭	家庭ってなあに?	生活ウォッチング	宝箱オープン	チャレンジクッキング1	夏を快適に		実りの秋を楽しもう		大掃除大作戦	チャレンジクッキング2	マイマネープラン	心を込めてプレゼント		
体育	短距離走・リレー	リズムダンス	体ほぐしの運動・鉄棒運動	水泳		ハードル走・走り幅跳び	ソフトバレーボール	体力を高める運動	マット運動	表現	跳び箱運動	スキー	バスケットボール	
			けがの予防(保健)					心の健康						
すこやか単元構想	<p><学年テーマ> ふれる 米づくりにチャレンジしよう ふかめる 89h ひろげる</p> <p>オリエンテーション (2h)</p> <p>見つめよう私たちの学校田</p> <ul style="list-style-type: none"> 田植え体験 稲作の仕事調べ 農家の苦勞・工夫を知る 伝える 成長観察 <p>お米博士になろう 味わおう収穫の喜びを まとめてよう米づくりを</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題に取り組みよう 稲刈りの仕方 計画を立てる 収穫際の準備 最終報告会を開く 学習のまとめ 農業の問題を考える 成長の観察、まとめ <p><共通テーマ> 27h</p> <p>田植え2 畑除草1 夏休み 自由研究計画1 自由研究発表会1 国際理解1 国際理解1 国際理解1</p> <p>稲刈り2 収穫祭3 冬休み 自由研究計画2 自由研究発表1 国際理解1 国際理解1</p>													
学び方	<p>「すこやか」の学習の進め方 学校生活や地域の情報、各教科の内容の収集の仕方</p> <p>- 共通体験 - 実際に見たり、聞いたりすること。友だちの課題に興味をもつ。調べる楽しさ・分かったことへの達成感、人に伝える喜び(体験) 具体的な課題設定の方法調べ方、まとめ方、表現の方法(基本的な方法の学び)</p> <p>課題を見付ける</p> <p>課題を設定する</p> <p>学習計画を立てる アンケート調査 表やグラフの活用</p> <p>フィールドワーク 実験・観察 インタビュー</p> <p>GT から学ぶ</p> <p>話し合い 発信 伝える</p> <p>振り返る</p>													
総合的な学習の力	<p>社会</p> <p>農業と自然環境の深い かかわりを知り、農業 に従事している人々の 工夫や努力に気付く</p>	<p>国語</p> <p>礼状や依頼状を 相手を意識して 効果的な表現を 工夫しながら書く</p>	<p>結論がまとまるように 時間配分に注意したり 決まったことを確認し たりしながら話し合う</p>	<p>国語</p> <p>だれに何を どのように 伝えるか工 夫して書く</p>	<p>家庭</p> <p>米を炊いて ごはんにする ことができる</p>	<p>社会(4年単元)</p> <p>伝統工芸の現状を知り、 国民生活と関連する伝統 工芸の意味について考え ることができる</p>	<p>社会</p> <p>情報の 発信と 受信</p>	<p>算数</p> <p>希望調査やアンケート調査の 結果を百分率で表にしてま とめることができる (既習 棒・折れ線グラフ 帯グラフや円グラフの よみ方やかき方が分かる)</p>	<p>理科</p> <p>植物を育て、発芽や生 長の条件・必要なもの について調べる</p>	<p>図工</p> <p>花から実への変化を調べ 実になる部分を考えたり 結実の仕組みを調べる</p>	<p>国語</p> <p>用途を考えて、デザイン の能力や創造的な工作の 力を高める</p>	<p>国語</p> <p>わらぐつを心をこめて作 場面にふれ、わら細工へ 関心を高める</p>	<p>面積</p> <p>公式を用いて 面積を求める とができる</p>	<p>社会</p> <p>公害と自分たちの暮らし 地域全体の環境保全</p>

設 課題設定の能力		解 課題解決の能力		学 学び方・ものの考え方		自 自己の生き方 (は関連する項目を示す)	
学び方項目(指導)				評価の観点			
「学び方」を学ぶ	1	テーマを決め学ぶ	テーマをどうやって決めるかがわかる				
	2	テーマについてウェビングをする	ウェビングの仕方がわかる				
	3	興味のある項目を二つか三つ調べる	的を絞ることができる				
	4	疑問や調べたいことと同じ人とグループになる	適度なグループを作ることができる				
	5	調べるグループで活動する	自分たちで行動することができる				
図書館で調べる	6	図書館の使い方を学ぶ	図書館を利用し本を借りることができる				
	7	名人に聞く	意義ある質問を考え質問することができる				
	8	本の探し方	目的の本を探し当てることができる				
	9	本の借り方、返し方・図書館の約束を知る	図書館の決まりを守ることができる				
	10	図鑑の使い方	調べるものを探すことができる				
	11	辞書の使い方	調べる言葉を探すことができる				
	12	年鑑の使い方	調べる国や事項を探すことができる				
	13	百科事典の使い方	調べる事項を探すことができる				
	14	新聞記事・縮刷版の調べ方	目的の記事を探し当てることができる				
	15	雑誌の調べ方	目的の記事を探し当てることができる				
	16	コピーの取り方	機械の使い方がわかり、拡大・縮小ができる				
	17	著作権について知る	コピーしてよいものといけなものの区別ができる				
	18	スクラップの仕方	必要な記事をスクラップすることができる				
情報を集める	19	コンピュータの使い方	基本的な操作(起動、終了)がわかる				
	20	CD-ROMの使い方	ソフトを使って調べ学習ができる				
	21	ビデオ屋さんで調べる	目的のビデオやCDを探し出すことができる				
	22	ビデオの借り方	ビデオを借りたり期限を守って返すことができる				
	23	インターネットで調べる	検索の機能を使うことができる				
	24	ホームページを見る	目的の情報を集めることができる				
	25	必要なページを印刷する	情報の選択ができ、印刷範囲指定ができる				
	26	必要な情報をメモする	情報の選択ができ、箇条書きができる				
	27	Eメールで質問する	メールを書いたり開いたりすることができる				
	28	電話のかけ方	話し方や質問の仕方がわかる				
29	ファックスをする	ファックスの使い方がわかる					
手紙の書き方	30	見学の依頼文	調べる目的を的確に文で表現できる				
	31	資料を送ってもらう	資料請求の文を書くことができる				
	32	企業や役所、博物館などに聞く	調べる内容を相手に伝えることができる				
	33	アポイントの取り方	目的や日時、方法を相手に伝えることができる				
	34	お礼の手紙の書き方	お礼の手紙や電話をかけることができる				
見学や訪問する	35	インタビュー(人に聞く)をする	質問事項を考え聞くことができる				
	36	見る・聞く・ふれる・かぐ・味わうの五感を使う	五感を使って調べようとしているか				
	37	現場にもって行くものを確認する	もち物を自分で用意することができる				
	38	記録の取り方	メモやインタビュー、スケッチ、絵の取り方がわかる				
	39	アンケートをとる	アンケート項目を考えることができる				
	40	写真・ビデオを撮る	デジカメ、ビデオの使い方がわかる				
	41	カードで情報を整理する	分類の仕方がわかる				
	42	カードで使い方を調べる	情報整理の仕方がわかる				
	43	カードを見て分かったことを書く	情報の生かし方がわかる				
	44	疑問を解決する	自分の疑問を整理することができる				
	45	疑問から更に新しい疑問をもつ	わかったことと新たな疑問を区別する				
	46	すぐ解決する疑問から価値のある疑問をもつ	本当に調べたい核心に迫ることができる				
取材のまとめ方	47	資料保存の方法(ポートフォリオ等)	袋ファイルやポートフォリオに整理できる				
	48	実験する	推論し実験をして検証できる				
	49	観察する	様子をよく見て飼育や栽培、現象観察できる				
	50	数える・計る・測る・図る・比べる	様々な方法で数値化できる				
	51	表にする・グラフにする・絵にする	分かりやすく伝えることができる				
プレゼンテーションをつくる	52	思ったこと、考えたことを書く	調べたことから自分の意見をもつことができる				
	53	パソコンソフトを使う	パワーポイントなどが使える				
	54	新聞にする	段組をして見出しを付けることができる				
	55	実物を使って説明する(実演)	実演し、体験してもらうことができる				
	56	絵本・巻物・紙芝居する	物語のように構成をすることができる				
	57	パネルにする	分かりやすく写真やポスターで表現できる				
	58	ドキュメンタリーをつくる	映像や写真を分かりやすく構成できる				
	59	演劇する	総合芸術の形にすることができる				
	60	パンフレットにする	見やすく絵や写真を入れてつくることができる				
	61	ホームページで発表する	ソフトを使って表現することができる				
	62	レポートにする	自由研究のような形式で発表できる				
	63	立体作品(ミニ模型など)にする	実物を使って説明できる				
自己評価 相互評価	64	がんばったことを言う	自己評価が的確にできる				
	65	友だちのよいところをほめる	友だちのよさを指摘することができる				
	66	自分の学習や生活と結びつけることができる	学習や生活と関連づけを意識して生かすことができる				

総合的な学習の時間と教科との関連表

< 第5学年 >

教科	総合的な学習の時間とかかわる部分	単元
国語	依頼状・礼状の書き方。 要旨をまとめる。	依頼のお手紙、お礼のお手紙 海にねむる未来
	調べたことをわかりやすくレポートに書く 見出しや構成の工夫 調べたことを項目ごとにカードに書く 課題に対して適切な調べ方を選択し、辞書や本、インタビュー、インターネットなどの方法での調べ方を身に付ける 必要な資料を見付け出す	言葉の研究レポート
	話し合いの仕方 ・見通しをもって、計画的に話し合う ・意図をはっきりさせて、発表する ・丁寧な言葉遣いで話す	わたしたちは、こう考える
	体験したことをわかりやすく書いて、相手に伝える	私たちの学校生活 「書く」ということ
	事実、意見、感想を組み立てる 助言カードの書き方 資料の記述を読む人にわかりやすく、書き直す	読む人のことを考えて
	地球環境に興味をもつ 図やビデオ、OHPなどを作成し、効果的に発表する	一秒が一年をこわす
	国語辞典の使い方	国語辞典を使って
	インタビューの仕方	インタビュー名人になろう
	学校や地域の題材を集め、わかりやすく工夫して、新聞記事や放送原稿を書く	ニュースを伝える、 伝え方を工夫して発信しよう
	聞き手にわかりやすいように、組立を考えて話す	大造じいさんとがん
	読書発表会、展示会などの発表会の仕方	月夜のみみずく

教科	総合的な学習の時間とかかわる部分	単元
社会	身近な物を手がかりにして調べる 土地利用図の読みとり方 社会での調べ方 課題や方法 取材レポートの書き方 グラフの読みとり方 まとめのレポートの書き方	わたしたちの生活と食料生産 庄内平野の米作り
	写真の読み取り方 地図を読みとる 取材の仕方	わたしたちの生活と食料生産 水産業の盛んな八戸市
	ビデオレターで交流する 意見交かんの仕方 インターネットで調べる	わたしたちの生活と食料生産 これからの食料生産
	自分の興味のあることを調べて、わかりやすくまとめる 問題の見付け方 見学の仕方 自分の関心あるテーマで研究して、小グループで話し合う 電子メールで調べたことを伝え合う	わたしたちの生活と工業生産 自動車をつくる工業
	資料から学習問題を作ろう ノートをまとめる 帯グラフを読みとる ポスターセッションの仕方	わたしたちの生活と工業生産 工業地域と工業生産
	世界の国々との協力を考える	わたしたちの生活と工業生産 工業生産をささえる貿易と運輸
	情報の集め方について、身近な事例を手がかりに調べる	わたしたちの生活と情報
	情報の質を見分ける 情報関連のホームページを調べる 学校新聞やホームページで情報を発信する ホームページと電子メールで ~発信・交換~	わたしたちの生活と情報 情報と社会
	日本の環境は今どうなっているのか	わたしたちの国土と環境 わたしたちの生活と環境
	森林ウォッチング・・・春夏秋冬 立場に分かれて話し合う（ディベート）	わたしたちの国土と環境 わたしたちの生活と自然保護

教科	総合的な学習の時間とかかわる部分	単 元
算	概数にしてからの計算	小数と整数
	いろいろの物の比かくの仕方 ・視点を決めて	下巻 表紙
数	運動場にコースをかく ・いろいろな物を使って工夫する	円
	割合を求める 百分率を求める 歩合の表し方 帯・円グラフの書き方	割合とグラフ

教科	総合的な学習の時間とかかわる部分	単 元
理	比較実験のやり方 観察スケッチのかき方 ヨウ素液などの薬品の扱い方	発芽と養分、 植物の成長と肥料・日光
	新聞などから気象情報を調べる コンピュータの利用 インターネット、ライブカメラの利用 表やグラフで結果を表す	天気の変化(1)
	メダカの飼い方 解剖顕微鏡の使い方	生命の誕生 メダカの誕生
	顕微鏡の使い方	植物の実や種子のでき方
	川の流れの観察の仕方 写真やグラフの比かく 水を防ぐ工夫をインターネットで調べる	流れる水のはたらき
科	てんびんの作り方 上皿てんびん	てことものの重さ
	上皿てんびんを使ったものの量のはかり方 メスシリンダーを使ったものの量のはかり方 実験データを表とグラフにまとめる る紙の使い方 水溶液の熱し方 用具の使い方	もののとけ方

◎学びの関連表（第5学年）

【国語と関連】

依頼のお手紙、お礼のお手紙

言葉の研究レポート

読む人のことを考えて

ニュースを伝える
伝え方を工夫して、新聞記事
や放送原稿を書く

国語辞典の使い方

海にねむる未来

書く

- ◇依頼状や礼状を書く
- ◇調べたことをわかりやすくレポートに書く
- ◇見出しや構成を工夫する
- ◇事実 意見 感想を組み立てる
- ◇友だちへのアドバイスを書く
- ◇資料に書いてあることをわかりやすく書き直す
- ◇学校や地域の題材を集め、わかりやすく工夫して、新聞や放送原稿を書く

調べる まとめる

- ◇課題に対して、適切な調べ方を選択し、辞書や本、インタビュー、インターネットなどの方法で調べる
- ◇国語辞典の使い方、調べ方
- ◇要旨をまとめる

話し合う

- ◇話し合いの仕方
 - ・見通しをもって計画的に話し合う
 - ・意図をはっきりさせて、発表する
 - ・丁寧な言葉遣いで話す

伝える 発表する

- ◇体験したことをわかりやすく書いて、相手に伝える
- ◇図やビデオ、OHPなどを作成し、効果的に発表する
- ◇聞いている人にわかりやすいように、組み立てを考えて話す
- ◇読書発表会、展示会など発表会の仕方

◇インタビューの仕方

わたしたちは、
こう考える

わたしたちの学校生活
「書く」ということ

一秒が一年をこわす

大造じいさんとがん

月夜のみみずく

インタビュー名人になろう

調べる

- ◇身近な物を手がかりにして調べる
- ◇インターネットで調べる
- ◇情報の集め方について、身近な事例を手がかりに調べる
- ◇情報関連のホームページを調べる

読みとる 書く

- ◇地理利用図の読みとり方
- ◇グラフの読みとり方
- ◇取材レポートの書き方
- ◇まとめレポートの書き方
- ◇写真の読みとり方
- ◇地図の読みとり方
- ◇帯グラフの読みとり方

みつける 見分ける 考える

- ◇問題の見つけ方
- ◇見学の仕方
- ◇世界の国々との協力を考える
- ◇情報の質を見分ける

交流 話し合い 発信

- ◇ビデオレターで交流
- ◇自分の関心のあるテーマについて小グループで話し合う
- ◇電子メールで調べたことを伝え合う
- ◇ポスターセッションの仕方

【社会と関連】

わたしたちの生活と食料生産
庄内平野の米づくり

わたしたちの生活と食料生産
これからの食料生産

わたしたちの生活と情報

情報と社会

わたしたちの生活と食料生産
水産業の盛んな八戸市

わたしたちの生活と工業生産
工業地域と工業生産

わたしたちの生活と工業生産
自動車をつくる工業

わたしたちの生活と工業生産
工業生産をささえる貿易と運輸

◇学校新聞やホームページ
で情報を発信する

◇立場に分かれて話し合う
(ディベート)

わたしたちの国土環境
わたしたちの生活と自然保護

【理科と関連】

比較実験 観察

- ◇比較実験のやり方
- ◇観察スケッチのかき方
- ◇川の流れの観察の仕方
- ◇写真やグラフの比較
- ◇てんびんの作り方
- ◇上皿てんびん
- ◇上皿てんびんを使ったものの量のはかり方
- ◇メスシリンダーを使ったものの量のはかり方
- ◇ろ紙の使い方
- ◇水溶液の熱し方
- ◇用具の使い方

発芽と養分
植物の成長と肥料・日光

流れる川のはたらき

てことものの重さ

もののとけ方

天気の変化(1)

飼育 器具

- ◇メダカの飼い方
- ◇解剖顕微鏡の使い方
- ◇顕微鏡の使い方

生命の誕生 メダカの誕生
植物の実や種子のでき方

調べ方 他

- ◇気象情報を調べる
- ◇コンピュータ利用
- ◇インターネット
- ◇ライブカメラの利用
- ◇表やグラフで結果を表す

【算数と関連】

- ◇概数にしてからの計算
- ◇いろいろな物の比かくの仕方
・視点を決めて
- ◇運動場にコースをかく
・いろいろな物を使って
- ◇割合を求める
- ◇百分率を求める
- ◇歩合の表し方
- ◇帯・円グラフのかき方

小数と整数

下巻 表紙

円

割合とグラフ

学びの掲示板 国語編

「書く・まよめる」言語の研究レポート

調べる・書く・読む・話す

レポートの構成

- 調べようと思っただ理由・動機
- 調べた事から
- 調べた内容
- まとめ
- 調べた結果、明らかにになったことがあれば書く。
- 調べた内容から考えられることを書く。
- 調べた感想を書く
- 今後の課題（分からなかったこと、もっと調べたいことなど）があれば書く。

「話し合う」 わたしたちは、こう考える

話し合う・話し合わせる

計画的に話し合うために

- 議題を選ぶ — 議題が複数あるときは、重要性や話し合いにふさわしい時期などの条件を考えて、話し合う順序を決める。
- 会議（話し合い）の流れを理解する。 — 時間内に、何と何を、どういう順序で話し合うかを、参加者全員が理解する。
- 会議（話し合い）のルールを決める。
- 提案のしかた ・ 司会や記録の役割
- 話題にそって発言する。 — 解決の方法を考えながら人の意見を聞き、積極的に新しい考えを出す

カードを使って組立てる

「伝える・発表する」わたしたちの学校生活

- カードを使うと、内容ごとにまとまりを作ったり、順序を考えたりするときに、いろいろためしてみる事ができる。そのためにも、一まいりのカードに、一つのことから書くようにしよう。

スピーチで大切なこと

- 話す時間に合わせて、内容を整理したり、くわしくしたりする。
- スピーチをする場所の広さや、聞き手の人数、機器の有無によって、声の大きさを考える。
- 初めに、話す内容を大まかにまとめて言う。
- 聞き手に分かりやすいように、まとまりごとに、間をおいたり声の調子を改めたりする。

「伝える」一秒が一年をこわす

伝える・発表する

筆者の考えと具体例

説明文では、具体的事例を取り上げて、それをもとに筆者の考えを読者にうつたえるものが多い。読むときは、どの部分が事例で、どんな考えを支えるために挙げられているかを考えることが大切である。次のような表現に注意しよう。

「———である。」 「———をした。」 「例えば、———
 事実や事例を示す
 「———にちがいない。」 「———といえる。」
 「———だろう。」 考えを示す。

【書く能力】

文章全体を見通して、書く事柄を整理している。
 見出しを工夫したり構成を意識して書いたりしている。
 相手に分かりやすく伝わるように工夫して書いている。

【話す・聞く能力】

結論がまとまるように、時間配分に注意したり、決まったことを確認したりしながら、話し合いを進めている。
 自分の立場や意図をはつきりさせ、簡単な討議の形式を取りながら話したり聞いたりしている。

【書く能力】

だれに何をどのように伝えるか工夫して書いている。
 書く事がらを整理して書いている。
 読み手によく分かるように、構成を工夫して書いている。
 効果的なスピーチになるよう、原稿を書き直している。

【読む能力】

筆者の意見や感想をとらえ、自分の立場から自然環境と人間についてどのように考えるか意識して読んでいます。

【補充資料2】総合的な学習単元カリキュラム 7 学校レベルでの見取りの視点（評価規準）

目指す児童像の二つの視点（自立・共生）を生かした上で、「総合的な学習の時間」の評価の観点を＜学習活動への関心・意欲・態度＞＜総合的な思考・判断＞＜学習活動＞にかかわる技能・表現＞＜知識を応用し総合する能力＞の四つにとらえ、それぞれの見取りの視点（評価規準）を作成した。（下表）

学校レベルにおける総合的な学習の時間の評価の観点と見取りの視点（評価規準）

視点 観点	< 自 立 >	< 共 生 >
学習活動への 興味 関心 態度	<p>進んで体験し、学習活動を楽しむことができる。</p> <p>興味・関心を基に自分なりの課題を見付け、進んで調べたり、体験しようとしたりすることができる。</p> <p>見付けた課題を追究・解決するために主体的に学習活動に取り組むことができる。</p> <p>行動観察、発言分析、記録分析</p>	<p>身近な事象に興味・関心をもち、進んでかかわろうとすることができる。</p> <p>自他の違いを見付けて認め合ったり、他を思いやって大切にしようとしたりすることができる。</p> <p>自他の違いやよさを尊重し、他のよさを自分の中に生かしていこうとしたり、共に生かしていこうとしたりすることができる。</p> <p>行動観察、発言分析、記録分析</p>
総合的な 思考 判断	<p>思いや願いを実現するための方法を考えることができる。</p> <p>自ら課題を見付け、自分なりの方法で追究・解決することができる。</p> <p>自ら課題を見付け、自分なりの予想を立てて見通しをもち、方法を工夫して追究・解決をすることができる。</p> <p>行動観察、発言分析、記録分析</p>	<p>他とのかかわりを通して、自分の考えを明確にすることができる。</p> <p>他とのかかわりながら、自分の考えを深めることができる。</p> <p>目的に応じて他とのかかわり方を工夫し、自他の考えを深め合い高め合うことができる。</p> <p>行動観察、発言分析、記録分析</p>
学習活動にかかわる 技能 表現	<p>自分の思いや考えを実現するための手順や方法を知り、実行したり表現したりすることができる。</p> <p>課題解決の手順や方法を知り、それを生かして自分の課題を追究したり、その過程や結果を表現したりすることができる。</p> <p>目的に応じて方法を工夫しながら、情報を収集・整理したり表現したりすることができる。</p> <p>行動観察、発言分析、記録・作品分析</p>	<p>他とのかかわるための方法を知って実行したり、他とのかかわりの様子を自分なりに表現することができる。</p> <p>課題を追究・解決するために他とのかかわり、自分なりに方法を工夫して表現することができる。</p> <p>目的に応じて他とのかかわり方を工夫したり、伝える相手を意識して、表現の仕方を工夫したりすることができる。</p> <p>行動観察、発言分析、記録・作品分析</p>
知識 を応用し 総合する 能力	<p>課題解決をしながら、調べた内容を理解し、新たな知識を獲得することができる。</p> <p>教科の学習で学んだことを生かして、課題解決の学習に取り組むことができる。</p> <p>課題解決を通して学んだこと、体験したことを、他の教科の学習や自分の生活の中で活用していくことができる。</p> <p>発言分析、記録・作品分析</p>	<p>他から受け入れた情報を認め、理解することができる。</p> <p>情報交換をして得た知識を、自分の課題解決に生かしていくことができる。</p> <p>課題解決を通して学んだことや体験したことを広く情報発信し、他に積極的に働きかけることができる。</p> <p>発言分析、記録・作品分析</p>

（ は、発達段階や学習内容に応じて高まっていく子どもの姿の目安 ）

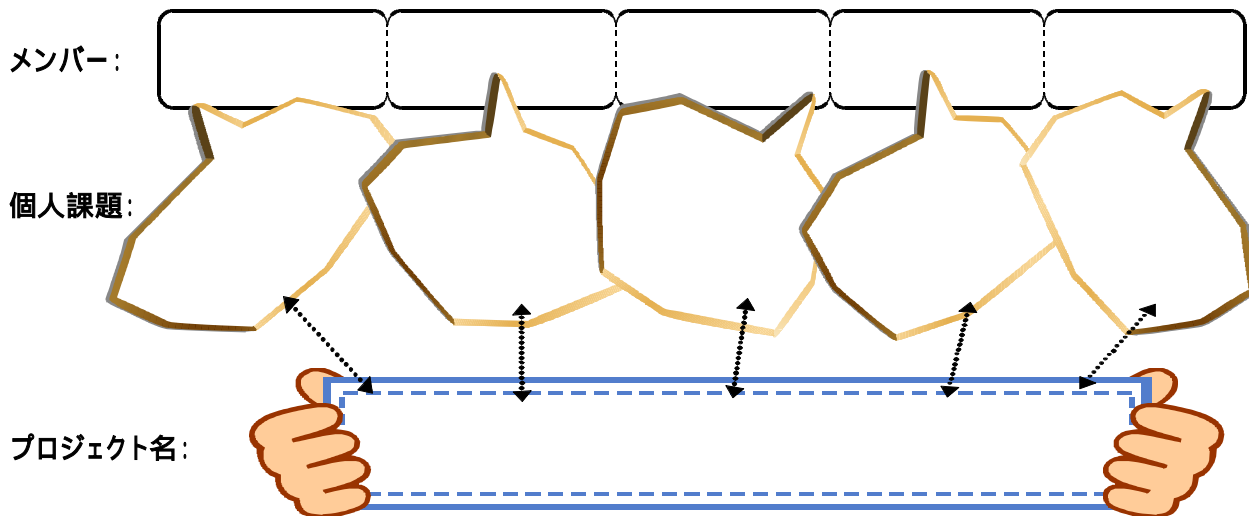
第5学年 総合的な学習の時間

見取りの視点（評価規準）

No. 2

単元名		お米博士になるう (22時間扱い)			
単元目標		米に興味・関心をもち、自分の課題を立ち上げ、植物としての稲・植物としての米に関する学習情報を効果的に活用しながら課題を追究することができる。 <関・意・態> 進んで自分の課題に沿った情報を、自分なりの方法で追究・解決することができる。 <思・判> 稲や米に関する情報を自分の方法で表現し、得た知識を生かしてまとめることができる。 <技・表> 田植えの経験や「お米博士になるう」で得た知識や気持ちを自分の生活に生かしていくことができる。 <知>			
	観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識の活用
単元の見取りの視点	自立	課題解決に向けて、積極的に調べたり主体的に体験したりしようとする。	課題解決の課程で課題の修正をしたり既習事項と関連づけをしたりして、解決することができる。	様々な方法で情報収集・課題解決・情報発信することができる。	学習過程で得た知識や情報を関連付けて、新たな知識として構築し、生活実践できる。
	共生	友だちや地域の人々の話を聞いたりインターネットや資料を活用して、共同して体験しようとする。	自他を理解し、比較することを通して、課題を修正したり既習事項と関連付けたりして解決することができる。	様々な方法で友だちや地域に働きかけ、情報収集・課題解決・情報発信することができる。	友だちからの情報交換で得た知識や情報を、新たな知識として結び付けることができる。
学習の各段階における評価	意識化・意欲化	米や稲について興味をもち、自分の活動に意欲的に取り組もうとしているか。 <small>(発言)(行動)</small> 友だちの考えにも興味を示して互いに話し合おうとしているか。 <small>(発言)(行動)</small>	様々な学習情報を基に米に関する学習意欲を高め、主体的に取り組もうとしているか。 <small>(行)</small> G Tや友だちから得た情報を自分の情報と比較し、課題を焦点化することができるか。 <small>(活動)</small>	web 図などを効果的に使い、自分の考えを焦点化しながら表したり発表したりできるか。 <small>(記録)(発表)</small> 友だちに働きかけたり相互に意見交換したりして互いに意識を高められるか。 <small>(発言)(活動)</small>	田植えなどの体験したことを課題解決の手段として取り入れ新たな知識にすることができるか。 <small>(活動)</small> 友だちの考えを自分の学習結果と比較したり取り入れたりすることができるか。 <small>(活動)</small>
	課題設定	課題の立ち上げに主体的に取り組む自分から進んで課題を設定しているか。 <small>(行)(動)</small> 課題立ち上げに向かって友だちや地域の人々の話を聞いて取り入れているか。 <small>(行)(動)</small>	これまでに得た学習情報を整理し、自分らしい課題を設定することができるか。 <small>(活)(動)</small> 自分と友だちの課題の共通点や相違点に気付いて相互に情報交換することができるか。 <small>(発言)(活動)</small>	web 図や学びの掲示板的な情報をもとに、自分にあった課題を決定したり表現したりすることができるか。 <small>(表)</small> 友だちと相互に意見交換したり友だちにもアドバイスすることができるか。 <small>(発言)</small>	インターネットや様々な情報を基に、自分にとって価値ある課題を設定することができるか。 <small>(記録)</small> 友だちの考えを自分の学習結果と比較したり取り入れたりすることができるか。 <small>(活動)(記録)</small>
	追究・体験	自分の設定した課題に向かって積極的に調べたり、主体的に体験しようとしたりしているか。 <small>(行)(動)</small> 友だちとの情報交換を通して意欲的に課題追究をしようとしているか。 <small>(発言)(行動)</small>	学習情報を効果的に利用してお米博士になるための課題を解決しようとするか。 <small>(活動)</small> 友だちの追究活動に対し、声をかけたり自分の仕方に取り入れることができるか。 <small>(活動)(発言)</small>	稲作について追究する手順や方法を知り自分の課題を主体的に追究することができるか。 <small>(活動)</small> 課題解決の方法を方法を他のかかりから知り、課題追究することができるか。 <small>(活)(動)</small>	田植え体験で得た知識を生かして自分の生活や家庭でのお手伝いに生かすことができるか。 <small>(活動)</small> 追究の過程で友だちとの情報交換で得た知識を新たな知識に結び付けることができるか。 <small>(活)(動)</small>
	自己実現・実践化	自分が調べたり考えたりした結果を情報として積極的に発信・公開しようとしているか。 <small>(活)(動)</small> 自分の活動結果を情報として積極的に発信・公開しようとしているか。 <small>(活)(動)</small>	自分の考えを発展させて、新たな課題を立ち上げようとするか。 <small>(発言)(発表)</small> 自分の考えを友だちと比較したり疑問に感じたりして新たな課題を追究につなげることができるか。 <small>(活)(動)</small>	発表に際し、課題追究過程や結果を様々な表現方法を使って発信することができるか。 <small>(発言)(発表)</small> 友だちの発表を自分の発表に生かしたりアドバイスしたり賛同することができるか。 <small>(発言)(活動)</small>	田植えや稲・米の追究活動を通して、お手伝いや生活に生かすことができるか。 <small>(活動)(行)</small> 友だちの米や稲の発表内容を自分の生活に取り入れたり生かしたりすることができるか。 <small>(行)(動)</small>

プロジェクト隊企画書



ゴールは? :どのような状態になれば完成になりますか

いいことは(自分編)? :これからの自分たちの生活に、どのように役立つと思いますか

いいことは(まわり編)? :まわりの人や学校・地域社会にとってどのように役立ちますか

やることは? :このプロジェクトを完成させるために、あなた方がやらなければならないことを、順序をよく考えて順番に3つ以上書いて下さい

.....

.....

.....

.....

.....

参考になる教科は? :このプロジェクトを進めるために、参考になる教科は何ですか

:その教科のどんなことですか

中間発表会 自己評価カード

グループ名

名前

よい

まずまず

がんばろう

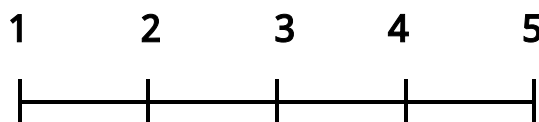
	自己評価項目	評価
1	発表の内容はよかったか	
2	発表の仕方を工夫したか	
3	絵や写真、図やグラフなどつかって分かりやすかったか	
4	大きな声ではっきりと聞き手を見て発表したか	
5	聞き手を引きつけてよく聞いてもらえるような工夫をしたか	
6	自分たちの発表内容と比べながら友だちの発表を聞いたか	
7	友だちの発表のよさや違いを見つけたか	
8	教科で勉強したことを参考にしたか	

よかった点

教科で勉強したことで参考にしたこと

改善点

今日のがんばり度



【補充資料3】総合的な学習の時間〈すこやか〉 学習活動案（大単元）

大単元 『米づくりにチャレンジしよう』

東和町立土沢小学校 第5学年

1 目指す児童像

自立

- 自ら課題を見付け、主体的に行動することに喜びを感じられる子
- ・課題解決のために積極的に調べたり主体的に体験したりしようとする子
- ・課題解決過程で課題修正・既習事項との関連付けをして解決していく子
- ・様々な方法で情報収集・課題解決・情報発信ができる子
- ・学習過程で得た知識や情報を関連付けて新たな知識として、構築し、生活実践できる子

共生

- 目的に応じ他（人・物・環境）とかがわりながら情報収集し、自分の考えを深める子
- ・友だちや地域の人話を聞いて、共同して体験しようとする子
- ・自他を理解・比較し課題修正・既習事項との関連付けをし解決していく子
- ・様々な方法で友だちや地域に働きかけ、情報収集・課題解決・情報発信する子
- ・友だちからの情報交換で得た知識や情報を新たな知識に結び付けられる子

2 大単元「米づくりにチャレンジしようについて」

本題材は、社会科・理科の教科を横断的に扱いながら、児童の「思いや願い」を引き出す単元構成である。児童から出された実際の願いは『共生』を視野に入れた活動でもある。さらに「お米名人」をゲストティーチャーとして招き、「米づくりとは何か？」や田植えのノウハウを伝授して頂いて、米づくりの難しさや喜びを感じさせたいと考え“稲と米、藁”にかかわる体験学習中心の活動を計画した。このように、身近な事象や人とのかかわりを深めながら、具体的な体験活動を通し、児童の思いや願いを中心に据えた活動を目指した。

また、見通しと追究・発信、ふり返りに総合的な学習の時間と教科との関連を意識させる工夫を行い、教科の学びがどう生かされ、総合的な学習の時間の学びがどう教科に広がっていったのかをとらえさせたい。

この「米づくりの活動」から、児童たちが、“自然環境の大切さの気付き”をきっかけに、6年生に予定している「自分たちの住む地域への誇りと愛着を深める取り組み」への活動のステップになることを期待している。

3 大単元設定の理由

大単元「米づくりにチャレンジしよう」（計89時間）である。田起こし、田植え、水管理、防鳥対策および米そのものの理解などの活動経験を生かし、人とのかかわりを深めながら、より具体的な体験活動を通した問題解決学習を目指して設定した単元である。

1学期の第1次『見つめよう私たちの学校田』では、田植えの体験・稲作の仕事調べ・農家の苦勞・工夫を通しながら、水田の水位・害虫・雨・風などの問題を解決し、「お米を育てたい」「作ったお米を食べたい」という願いをふくらませたい。

2学期の第2次『お米博士になろう』では、稲作の方法・植物としての稲の構造、外国米との相違・世界の米料理・栄養価など、子ども一人一人が自分の課題を追究をする。

第3次『味わおう収穫の喜びを』でも、1学期からの体験活動重視の方向性を継承しながら一人一人の意欲と課題意識を一層明確にさせることを目指したい。「もう稲刈りはできるの?」「早く収穫したい」という気持ちや「もうすぐお米が食べられる」「おにぎりが食べたい」「わらも何かに使いたい」というつばやきを期待している。

4 単元目標

米づくりに興味・関心をもち、進んで米づくりに取り組むことができる。

専門家や上級生のお話を聞くを通して自分の米づくりに対する考え方を深めるとともに、自分から進んで手だてを考え、課題を見付けたり、自分なりの方法で追究・解決したりすることができる。

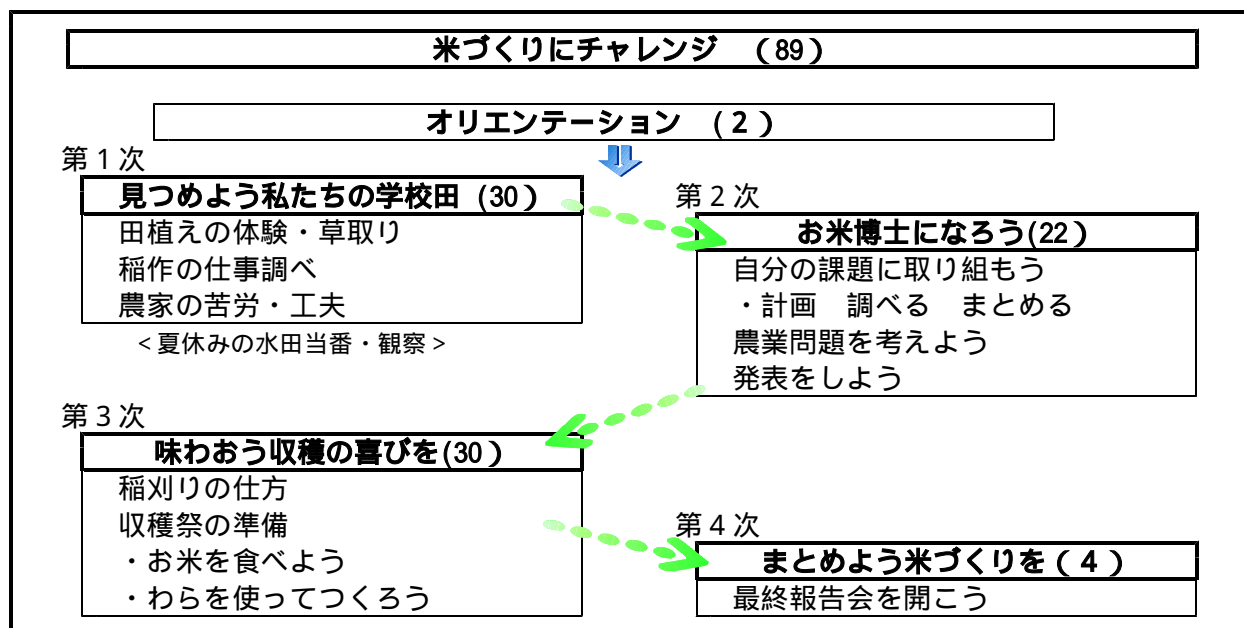
友だちとの情報交換や協力を通して、田植えの方法や稲の育て方について、自分なりのやり方を身に付けたり、表現したりすることができる。

専門家から得た米づくりに関する知識を生かして情報交換をしながら稲の育て方について、自分なりのやり方を身に付けたり、表現したりすることができる。

専門家や上級生から得た米づくりに関する知識を既習事項に結び付けたり、自分の米づくりに対する考えを深めたりすることができる。

体験したことや、体験によって得られた知識や気持ちを生活に生かしていくことができる。

5 単元計画（89時間）



6 目指す児童像に迫る手だて

(1) 主体的・創造的な追究・解決の視点から

- 児童の思い・願いを生かした単元構成 -

「稲を育てたい」「作ったお米を食べてみたい」という児童の願いや思いを実現させることが、単元構成の出発点である。

稲の栽培を通して児童は様々な困難に立ち向かわなければならない。「田起こしはどうやったらいいの?」「肥料は何を使うのだろう?」「夏の水やり当番を計画しよう」「実った稲穂がずずめやかからず食べられてしまう」「防鳥対策を聞いてみよう」このように次は『何をやったらいいのだろう』という疑問が次々に生まれそれが新たな課題を生み出す原動力につながっていくものとする。

- 直接的な共通体験から自己課題決定・解決 -

“お米名人”や“上級生”とのかかわりを通して、日々の“稲の世話”が連続性のあることの自覚も生まれ、稲の栽培の見通しをもって計画に臨む必要性が生まれてきた。

田起こし・代掻きから始まった「米づくりにチャレンジしよう」は収穫後も感謝祭時における炊飯・試食・藁の再利用へと続き、第4次「まとめよう米づくりを」において、最終発表会（情報発信）へと児童の興味・関心を見据えた長期的な単元構成となる。児童自らが直接的な体験活動をする事は、体と心に残る知識に結び付くと同時に多くの疑問や課題との遭遇があるはずである。

それらを友だちとの情報交換や自分自身の力で一つ一つ解決していくことが極めて重要である。

(2) 体験活動や他とのかかわりの視点から

- 人と自然深くかかわる活動 -

米づくり名人や上級生・友だち・精米業者・教師・両親・祖父母・農家の方々など、児童にかかわる人を挙げたら枚挙にいとまがない。児童は自分を取り巻く社会の中で、多くの人々と積極的にかかわることを通して、稲や自然そのものを深く見つめることができるようになるとともに、その人の生き方にふれるはずである。一粒の稲から始まる活動が、意欲を喚起し、一人一人の課題を高め、人とのかかわりが更に自分の考えを押し広げ、ひいてはその子自身の心の成長へもつながるものとする。

【補充資料3】総合的な学習の時間<すこやか> 学習活動案(小単元)
東和町立土沢小学校
第5学年(男子9名 女子8名 計17名)

1 単元名「米づくりにチャレンジしよう」
『(第2次)お米博士になろう』

2 単元設定の理由

本単元は、大単元「米づくりにチャレンジしよう」(計89時間)の第2次小単元『お米博士になろう』である。これまでの田起こし、田植え、水管理、防鳥対策及び米そのものの理解などの活動経験を生かし、人とのかかわりを深めながら、より具体的な体験活動をとおした問題解決的な学習を目指して設定した単元である。

1学期の第1次『見つめよう私たちの学級田』では、田植えの経験、学校田の観察、稲作の仕事調べ、農家の苦勞、工夫をとおしながら、「米」にかかわる様々な問題、例えば、水田の水位、害虫、雨、風の問題などを解決し、「お米を育てたい」「作ったお米を食べたい」という願いを膨らませた。

第2次『お米博士になろう』では、稲の栽培方法、植物としての稲の構造、外国米との相違、世界の米料理、米の流通、栄養価など、一人一人が自分の課題の追究をする。学習活動及び支援としては、次のように設定した。

学 習 活 動		主 な 支 援
オリエンテーション	全体のテーマを設定する。 1時間	米について全体のテーマを設定し、何を調べ発信したらよいか意見を出し合い、課題を整理する。 社会科の学習で学んだことが、課題を追究したり、解決したりするうえで有効であったことを意識させる。
プロジェクト隊グループづくり	個人の課題をもとにプロジェクト隊を編成する。 1時間	で決めた課題ごとに児童の希望で、プロジェクト隊(課題別グループ)を編成する。必要に応じて小グループ化する。
プロジェクト隊の課題づくり	プロジェクト隊のテーマ(課題)を設定し、活動の見通しを立てる。 2時間	プロジェクト隊ごとに個人の課題を整理し、グループのテーマ(課題)を設定する。その後、プロジェクト企画書をもとに活動の見通しを立てる。 プロジェクト隊での追究活動や発信活動の場面において、それぞれのテーマに応じた教科の学習との関連を意識させる。
プロジェクト隊追究1・2	・活動の計画を立てる。 ・課題追究1 ・中間発表会 ・課題追究2 10時間	課題追究の計画をもとに追究活動を行い、中間発表会での情報交換やアドバイスをもとに活動を修正し、さらに課題を追究する。
情報発信についての計画	マイプロジェクト報告会の計画を立てる。 1時間	プロジェクト隊ごとに調べたことの検討会を行い、何をどんな方法で発信するか計画を立て、役割分担をする。必要に応じてGTにアドバイスを受ける。
発信の準備	プロジェクト隊ごとに、発信の準備をする。 4時間	計画・役割分担にしたがって、発信の準備を進める。
発信発表会	マイプロジェクト発表会 2時間	課題追究の成果を報告し合い、よさを認め合ったり、アドバイスを与えたりする。
活動の振り返り	追究活動を振り返る。 1時間	追究活動を振り返り、自分や友だちのよさや成長を確認する。 学習活動の中で、教科の学習がどのようにつながっていったのか、学びの記録や「学びの関連表」の活用事項を確認することによって、教科との関連のよさや意味付けをする。

展開にあたっては、個々の児童が目的をもった課題を設定し、その目的に向かって、今まで培ってきた課題解決のための多様な方法や経験を生かしながら問題を解決する実践的な活動を展開させたい。また、問題を解決する過程においては、教科で培った力を関連させながら、一層の深まりや広がりを期待する。

本単元の活動は、これから自分の生活を意欲的に取り組もうとする意識を高めることができ、「人・自然・文化と体験的にふれ合い、意欲的に学び続ける児童の育成」という本校の研究テーマに迫ることができると思う。

3 単元の目標

米に興味をもち、自分の課題を立ち上げ、植物としての稲・植物としての米に関する学習情報を効果的に活用しながら課題を追究することができる。

進んで自分の課題に沿った情報を自分なりの方法で追究・解決することができる。

稲や米に関する情報を自分の方法で表現し、得た知識を生かしてまとめることができる。

田植えの経験や「お米博士になろう」で得た知識や気持ちを自分の生活に生かしていくことができる。

4 具体的な手だて（目指す児童像に迫る手だて）

【主体的・創造的な追究・解決】

プロジェクト隊の結成（プロジェクトとしての活動）

テーマに向かって、課題設定から情報発信まで、自ら計画を立て問題を解決することができるよう学習過程を考えた。

第1次小単元「見つめよう私たちの学校田」での学習活動をとおして、自分は米についてどんなことを調べ知らせたいのかという観点で興味・関心事項を整理し、いくつかの課題に絞り込む活動を設定する。そして、課題別にプロジェクト隊を結成し、同じ課題をもって集まることにより追究活動に広がりや深まりを出す。同時に、同じ思いを実現する喜びも共に感じるようにさせる。

プロジェクト学習企画書による課題設定

グループの課題では、一人一人の思いをより多く反映させるために、**学習活動の価値、学習活動のゴール、学習活動の過程を明確にしてから学習活動を開始する。**児童が最も興味や関心をもっている事柄について、指導者との相談をとおしていくつかの視点から検討し、学習活動の企画を立案する。指導者は、質問と必要に応じたアドバイスを重ねながら、児童が特に「価値」「ゴール」「過程」の3点についてより豊かで具体的なイメージができるように働きかける。

また、教科との関連を図るために、「学習活動を進めるうえで必要な学習」という動機付けによって、児童が他の教科についても、自発的に学ぶようにする。ここでは、どのような学習が自分のプロジェクトに必要なかをイメージさせたい。

学習活動をふり返り、計画を修正する場の設定

個々の課題追究の段階では、それぞれの追究活動の途中経過を報告し、互いの活動への意見交換をする機会を設ける。それにより、自分の活動をふり返るとともに、次の新たな計画を立てることができるようにする。互いに刺激し合うことは、意欲の喚起にもつながり、また、個人の活動をしながらも常にグループ（プロジェクト隊）の一員としての意識をもたせるためにも有効であると思う。

【体験活動や他とのかかわり】

教科と関連させた活動（学びのつながりの意識化）

第1次では、5年生の社会科の学習「わたしたちの生活と食料生産 米づくりの盛んな地域」に取り組む中で、米づくりの様子や従事している人々の工夫や努力について調査したり、資料などを活用したりして調べる機会を設けた。社会科の学習で学んだことが、課題を追究したり、解決したりするうえで有効であった。

第2次では、第1次での教科との関連の利点を強調し、プロジェクト隊での追究活動や発信活動の場面において、それぞれのテーマに応じた必要な教科の学習との関連の意識化を図りたい。その際、「学びの関連表」を用い、学び方と各教科の単元との関連を紹介し、以後自分たちで総合的な学習の時間と教科とが相互に行き来できるよう「学びの掲示板」等を提示していきたい。

情報収集のための多様なアプローチ（目的に応じた人との交流）

情報収集のアプローチとして、それぞれのプロジェクト隊のテーマに応じたゲストティーチャーを招き、これまでの追究活動と、これからの発信活動についてアドバイスをいただく機会をもつ。目的に応じた人との交流をとおして、情報が修正されたり、付け加え、発信への意欲、取り組んできたりしたことへの自信などにつながり、また、人とかかわるよさも実感できると考える。

5 単元計画 (全 22 時間)

	主な学習活動< > 支援や留意点<・>	教科との関連	評価()<観点/方法>					
意識化・意欲化	<p>全体のテーマを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の願いや興味・関心を生かした活動ができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>田植えをし、稲を育てている。 稲作農家の苦勞・工夫を知った。 🌀 知りたいことがはっきりしてきた ↓ 「お米博士になりたい！」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・米について、全体テーマ(第1次から)を設定し、何を調べ、発信したらよいか意見を出し合い課題を整理する。 	<p>社会：単元名 「わたしたちの生活と食料生産 米づくりの盛んな地域」 学習内容や資質・能力(学び方)を総合的な学習の時間の追究活動に生かすことによって、よりよい解決ができたことを意識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業に従事している人々の工夫や苦勞 ・調べ方、情報収集や取材の仕方、資料やグラフの読みとり等 	<p>これからの活動に興味・関心をもち、進んでかわろうとしているか。</p> <p><自：関・意・態 / 発言・行動> 友だちの考えにも興味を示して互いに話し合おうとしているか。</p> <p><共：関・意・態 / 発言・行動> これまでで得た学習情報を整理し、自分らしい課題を設定することができるか。</p> <p><自：思考・判断 / 活動></p>					
課題設定	<p>課題ごとに児童の希望でプロジェクト隊を編成する。</p> <p>プロジェクト隊のテーマ(課題)を設定し、活動の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト企画書をもとに「価値」「ゴール」を自覚させる。 ・追究活動の「過程」を具体的にイメージさせる。(ウェビング) ・どのような学習がプロジェクトに必要なイメージさせる。 	<p>各教科：</p> <p>テーマ(課題)を追究する上で、関連しそうな学習内容や学び方を紹介し、積極的に総合的な学習の時間と教科の学習とが相互に行き来するよう動機付ける。</p>	<p>グループ編成にかかわって、友だちの話を聞いて取り入れているか。</p> <p><共：関・意・態 / 行動> 自分と友だちの企画の同意点や相違点に気づいて相互に情報交換できるか。</p> <p><共：思考・判断 / 発言・行動> web 図や学びの掲示板の情報をもとに、プロジェクト隊にあった企画を立てることができるか。</p> <p><自：技能・表現 / 発言・行動></p>					
追究・体験	<p>プロジェクト隊ごとに分かれる。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black;">プロジェ クト隊1</td> <td style="border: 1px dashed black;">プロジェ クト隊2</td> <td style="border: 1px dashed black;">プロジェ クト隊3</td> <td style="border: 1px dashed black;">プロジェ クト隊4</td> <td style="border: 1px dashed black;">プロジェ クト隊5</td> </tr> </table> <p>活動の計画を立てる。</p> <p>課題追究1 課題追究の計画をもとに追究活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の相談を行う。 <p>中間発表会 これまで追究してきたことを報告し合い、グループ内でアドバイスし合う。</p> <p>課題追究2 アドバイスされたことを参考に計画を立て直し、さらに課題を追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の相談を行う。 	プロジェ クト隊1	プロジェ クト隊2	プロジェ クト隊3	プロジェ クト隊4	プロジェ クト隊5	<p>理科：単元名 「実や種子のでき方」 稲の観察の結果を理科の学習内容(花から実への変化を調べ、実になる部分を考えたり、結実の仕組みを調べたりする)に関連させる(観察の仕方や知識・理解)</p> <p>国語：単元名 「わたしは こう考える」 身に付けた資質や能力(学び方)を生かし、結論がまとまるように、時間配分に注意したり、決まったことを確認したりしながら話し合う。(学びの掲示板利用)</p> <p>社会・算数 資質・能力(学び方) 資料やグラフの読み取りや活用の仕方等</p>	<p>積極的に他とかかわりながら、課題を追究することができるか。</p> <p><共：関・意・態 / 記録・聞き取り> 課題についてよりよい解決方法を考えて、課題追究に取り組みることができるか。</p> <p><自：思考・判断 / 記録> これまでで学んだ多様な解決方法や表現方法(教科を含む)から目的に応じた方法で課題を追究することができるか。</p> <p><自：技能・表現 / 発言・行動> 積極的に他とかかわりながら、課題を追究することができるか。</p> <p><共：技能・表現 / 発言> これまでの追究活動で学んだこと体験したことを生かし、課題を追究することができるか。</p> <p><自：知識の活用 / 記録></p>
プロジェ クト隊1	プロジェ クト隊2	プロジェ クト隊3	プロジェ クト隊4	プロジェ クト隊5				

自己実現・実践化	<p>プロジェクト報告会の計画を立てる。 ・課題追究の成果を知らせる計画を立てる。</p> <p>プロジェクト報告会 課題追究の成果を報告し合い、よかったことやアドバイスを「発見カード」に書いて渡す。 ・友だちの活動のよさに目を向けるように促す。 追究活動のふり返り。 追究活動をふり返り、自分や友だちのよさや成長を確認する。</p> <p>自分の学習や生活に役立てる。</p>	<p>国語：単元名 「わかりやすく伝えよう」 身に付けた資質・能力(学び方)生かし、「だれに」「何を」「どのように」伝えるか、工夫して書く。</p> <p>国語：単元名 「依頼状・礼状を書こう」 身に付けた資質・能力(学び方)を生かし、礼状を相手を意識して効果的な表現を工夫しながら書く。</p> <p>教科との関連の成果を意識付け、教科と総合のつながりによる学びのよさを意味付ける。 ・学びの記録 ・学びの関連表 等</p>	<p>これまでの活動をふり返り、進んでカードに記入したり、情報発信の準備をしているか。 <自：関・意・態/行動・記録> 友だちと情報交換をし合いながら協力して情報を発信しようとしているか。 <共：関・意・態/行動></p> <p>友だちの情報を興味をもって取り入れることができたか。 <共：知識の活用/行動・記録></p> <p>体験したことを進んで生活に生かすことができたか。 <自：知識の活用/行動・記録></p>
----------	---	---	---

【補充資料3】総合的な学習の時間<すこやか> 指導実践の概要・考察

実践1 - 第5学年 米づくりにチャレンジしよう「(第2次)お米博士になろう」

本時のねらい

第1次の活動をふり返り、工夫や成果を確認し合うとともに、興味・関心や疑問等を全体テーマ設定に生かし課題を整理することができる。

友だちの課題にも興味・関心を示して意見交換し、理解・比較することを通して、課題を修正し、設定することができる。

関連の段階：全体テーマ設定の段階

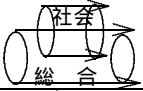
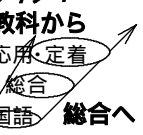
関連教科と考え方

社会 社会科と並行して進めた学習活動の成果(人と人との関係や役割、地域環境との関わりを読みとる力や図表やグラフの読み取り方)を確認し、第2次の導入を図る。

国語 「わたしたちは、こう考える」学習活動の内容「計画的に話し合うために」を話し合いの場で活用し、定着を図る。


手だて：「学びの掲示板」「計画シート」

指導計画の類型と関連事項

	教材や題材、学習活動での関連	資質・能力での関連
社会	タイプ3 並行  農業に従事している人々の工夫・苦勞 <知識の活用>	自分に必要な情報を集めたり、その情報を読みとる力 <思考・判断> <技能・表現>
国語	タイプ1 教科から  計画的な話し合いの仕方を理解し、自分の考えをまとめる <学習活動>	意図をはっきりさせて発表する。 丁寧な言葉遣いで話す <話す・聞く能力>



展開 (1・2 / 22時間)

形態	学習活動() 留意点(・)	教科との関連	評価() 支援 ()ねらいを達成した児童へ ()ねらいの達成が不十分な児童へ
一斉	本時の活動予定を確かめる。 ・第1次の「見つめようわたしたちの学校田」での学習活動をふり返る 田植えの経験 稲の成長 社会科の学習内容 ・本時の活動の見通しをもって意欲的に取り組めるようにする。 全体テーマの設定 課題の修正、整理	社会 「わたしたちの生活と食料生産 米づくりの盛んな地域」との関連学習から、関連のよさや成果を意識付ける。 学習内容 - 農業に従事している人々の工夫や苦勞 資質・能力 - 調べ方、情報収集や取材の仕方、資料・グラフの読み取り方 等	自分の活動のねらいを確かめ、見通しをもって取り組もうとしているか。 <自 関心・意欲・態度/行動> 自分のねらいを達成するとともに、友だちへの働きかけや仕事分担ができるように支援する。 自分の今日の種痘を確認させたり、友だちと相談したりできるように支援する。 友だちの「知りたいこと」について話し合いをとおして、そのよさに気付くことができる。 <共 思考・判断/発言・記録> 共通点と相違点に着目させ、内容についての価値を考えるよう支援する。 自分と違うことや、取り入れたらよりよい活動になりそうなポイントに気付くように支援する。
活動	米についての全体テーマの設定 ・自分が知りたいこと、やってみたいことを全体で確認してまとめ、全体テーマに結び付ける。 お米博士になろう! 学習カードをもとに話し合う 何を調べ、何を伝えるか 自分は?友だちは? 課題を設定する ・課題を修正し、設定する。		「思いを込めて設定した課題」について、話し合いをとおしてプロジェクト隊の活動への意欲をもつことができる。 <共 関・意・態/発言・記録> 活動のよさを見付け、友だちへそのよさを伝える。 「思いを込めた活動」のよさを伝える。
活動	設定した課題を発表する。 ・自分と友だちの課題の共通点や相違点に気付く。 ・友だちと相互に意見交換して課題を集約したり、友だちにもアドバイスすることができる。	国語 「わたしたちは、こう考える」 資質・能力「聞く、話す力」 意図をはっきりさせて発表する。丁寧な言葉遣いで話す。 (学びの掲示板の利用)	「思いを込めて設定した課題」について、話し合いをとおしてプロジェクト隊の活動への意欲をもつことができる。 <共 関・意・態/発言・記録> 活動のよさを見付け、友だちへそのよさを伝える。 「思いを込めた活動」のよさを伝える。
一斉	学習のまとめをする。・学習カードに記入し、次時の活動の予定を確認する。		

考察：日常生活の中の興味・関心等から学習テーマを提示する場面である。第1次の学習活動では、社会科の学習活動と類似性があるため、並行して学習を進め、地域の特色を知り、必要な情報を得る力を培った。社会科の学習と関連させて学習したことで、相互の学習を詳しく、深く展開できたことを確認し、第2次のテーマ設定へつなげた。児童にとっては、学習活動や内容が似ているため、総合と社会科の区別が付かない場面も見られたが、指導者が、総合のねらいと教科のねらいを曖昧にせず、それぞれのねらい・目標に沿った力を身に付けさせることが大切である。

実践2 - 第5学年 米づくりにチャレンジしよう「(第2次)お米博士になろう」

本時のねらい

関心・興味をもっていることがらについて、学習活動の企画を立てることができる。
 友だちの企画にも興味を示して、理解・比較しながら意見交換を行い、学習活動の企画を検討・修正することができる。
 企画の段階で、教科の学習内容や教科で培った力を生かすことを意識できる。

関連の段階：見通しを立てる段階

指導計画の類型と関連事項

関連教科と考え方

教科 課題解決にあたり、各教科で培った知識や技能、学び方などが活用できること意識と見通しをもつ。

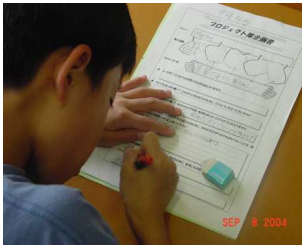
国語 「わたしたちは、こう考える」学習活動の内容「計画的に話し合うために」を話し合いの場で活用し、定着を図る。

手だて：「学びの掲示板」「学びの関連表」「計画シート」

	教材や題材、学習活動での関連	資質・能力での関連	
教科	タイプ1 教科から 発展 総合 教科へ 総合へ	各教科の学習活動における内容を想起し、つながりを考える。 <知識の活用>	学び方(問題解決的な学習過程を支える力)の活用を考える。 <思考・判断> <技能・表現>
国語	タイプ1 教科から 応用 定着 総合 国語へ 総合へ	計画的な話し合いの仕方を理解し、自分の考えをまとめる。 <学習活動>	結論がまとまるように、時間配分に注意し、決まったことを確認したりしながら話し合う。<話す・聞く能力>



展開 (3・4 / 22時間)

形態	学習活動() 留意点(・)	教科との関連	評価() 支援 ()ねらいを達成した児童へ ()ねらいの達成が不十分な児童へ
一斉	本時の活動予定を確かめる。 プロジェクト企画書を作成し、グループのテーマと活動の見通しをもつ。 ・プロジェクト隊編成までの活動をふり返り、本時の活動の見通しをもって、意欲的に取り組めるようにする。		自分の活動のねらいを確かめ、見通しをもって取り組もうとしているか。 <自 関心・意欲・態度/行動> 自分のねらいを達成するとともに、友だちへの働きかけや仕事分担ができるように支援する。 自分の今日の進捗を確認させたり、友だちと相談したりできるように支援する。
活動	プロジェクト隊企画書(計画シート)にしたがって、テーマを設定し、活動の見通しを立てる。 「価値」「ゴール」の自覚 「追究活動の過程」のイメージ化 教科との関連の意識化 企画書の項目にしたがって、グループで意見交換しながら、完成させる。 ・必要に応じて具体的なイメージができるように働きかける。	国語 『わたしたちは、こう考える』 資質・能力「聞く、話す力」 結論がまとまるように、時間配分に注意し、決まったことを確認したりしながら話し合う。 (学びの掲示板の利用)	自分の企画のよいところに気づき、積極的に表現しようとしているか。 <自 技能・表現/活動・記録> その子らしさが表れている項目を紹介し、活動への意欲へつなげる。 工夫したことや困ったことについて体験を通して具体的に表現できるように支援する。
活動 ・ 一斉	追究活動や発信活動において、どのような学習が必要か考え、教科との関連を具体的にイメージする。 ・「学びの関連表」を提示し、追究・発信活動に活用できそうな教科を、具体的な事例を取り上げながら考えさせる。 教科で培った力を様々な形で追究・発信活動に活用できることを全員で確認する ↓ プロジェクト隊の企画を発表する。	各教科 「学習活動を進めるうえで必要な学習」という動機づけによって、具体的にどのような学習(学習内容・能力や資質)と関連を図るかを具体的な例示をとって、イメージさせる。	教科の学習成果を活用してお米博士になる見通しを立てることができるか。 <自 思考・判断/発言・記録> 発表を聞きながらのつぶやきや気づき・記録に対して具体的にイメージできるように支援する。 各グループの考えや取り入れたらよりよい活動になりそうなポイントに気づくように支援する。
一斉	学習のまとめをする。・学習カードに記入し、次時の活動の予定を確認する。		

考察：さまざまな事物・事象とのふれ合いや友だちとの話し合いから自分の学習課題を決めて、学習活動の見通しをもつ場面である。学習活動のスタートに当たり、教科と総合的な学習とのかかわりを意識付けることが必要である。話し合い活動では、国語の学習内容と「聞く、話す能力」は「学びの掲示板」を利用して、各教科との学びのつながりは「学びの関連表」を利用して、関連のイメージを図った。たくさんの教科の学習が結び付いていることに驚いたり、教科書にフィードバックしたりして確かめていた児童もいて、自分の追究活動に活用しようとする意欲が見られた。

実践3 - 第5学年 米づくりにチャレンジしよう「(第2次)お米博士になろう」

本時のねらい

課題についてよりよい解決方法を考えて、課題追究に取り組むことができるようにする。
 これまで学んだ多様な解決方法や表現方法から、目的に応じた方法で課題を追究することができるようにする。
 課題追究の段階で、教科の学習内容や教科で培った力を生かすことを意識できる。

関連の段階：課題追究の段階

指導計画の類型と関連事項

関連教科と考え方

理科「種子の発芽と成長」
 「実や種子のできかた」
 植物の成長の様子を調べ、成長過程についての学習情報や実験・観察の仕方を相互に生かし合う。

算数・社会

算数・社会で培った、問題解決的な学習を支える力を生かして課題を追究する。

手だて：「学びの掲示板」「学びの関連表」「学習シート」

	教材や題材、学習活動での関連	資質・能力での関連
理科	<p>タイツ 並行</p> <p>植物を丈夫に育てるための条件を調べ、花粉の有無による実のでき方の違いや、花粉の運ばれ方について調べる。</p>	<p>植物が丈夫に育つための条件を考え、条件を変えて、育ち方を比べる実験をしている。おべ・めしと、実の関係を考えている。 <科学的な思考/技能 表現></p>
算数・社会		<p>・概数にしてからの計算 ・いろいろな物の比かくの仕方 ・グラフの読み取り方 ・まとめのレポートの書き方 ・問題の見つけ方 等<学び方></p>

展開 (5・6 / 22時間)

形態	学習活動() 留意点(・)	教科との関連	評価() 支援 ()ねらいを達成した児童へ ()ねらいの達成が不十分な児童へ
一斉	<p>本時の活動予定を確かめる。 プロジェクト隊企画書にしたがって、課題追究の計画を立て、課題を追究する。 ・企画書の内容を確認させ、本時の見通しをもって、意欲的に取り組めるようにする。</p>		<p>自分の活動のねらいを確かめ、見通しをもって取り組もうとしているか。 <自 関心・意欲・態度/行動> 自分のねらいを達成するとともに、友だちへの働きかけや作業手順が理解できるように支援する。 自分の今日の活動を確認させたり、友だちと相談したりできるように支援する。</p>
活動	<p>プロジェクト隊ごとに分かれる。 プロジェクト1 プロジェクト2 プロジェクト3 プロジェクト4 プロジェクト5 プロジェクト6</p> <p>活動の計画を立てる。 ・学習シートを活用し、個別の相談を行う。</p> <p>課題追究1 ・個別に対話をしながら状況を把握し、相談を行う。</p>	<p>理科『種子の発芽と成長』 『実や種子のできかた』 学習活動：「観察、条件調べ等」 資質・能力：「比較し、考える力」</p> <p>稲の観察の結果を理科の学習内容や活動(成長の条件、結実の仕組み等)と比較しながら相互に関連させる。</p> <p>算数・社会 資質・能力：「学び方」</p> <p>問題の見つけ方 比較した考え方 資料やグラフの読み取りや活用の仕方 およその見取り方 等</p>	<p>学習情報を効果的に利用してお米博士になるための課題を解決しようとするか。 <自 思考・判断/活動> 参考とした学習情報についての価値を考え、分析できるよう支援する。 「学びの関連表」や「掲示板」から解決に役立ちそうなポイントに気付くよう支援する。 課題解決の方法を他とのかかわりから知り、課題追究することができるか。 <共 技能・表現/活動> 解決方法のよさを見付け、友だちへそのよさを伝える。 解決方法を一緒に考えるなどして、個別に対応する。</p>
一斉	<p>学習のまとめをする。 ・学習シートに記入し、ふり返る。 ・次時の活動の予定を確認する。</p>		

考察：活動計画表に従って調査・取材・観察・実験などの活動を積極的に実施している場面である。

追究活動では、問題意識を広げたり、深めたりしながら学習が連続し、発展していくことが大切である。ここでは、「稲の成長観察と理科の学習内容」「学習情報を分析し考える力と算数・理科・社会で培う資料やグラフの読み取り方、比較したものの考え方」等を関連させる。児童は、課題や追究過程によって必要とする教科の学びも参考にしながら活動を進めた。個別に対話しながら状況を把握した支援が必要である。

実践4 - 第5学年 米づくりにチャレンジしよう「(第2次)お米博士になろう」

本時のねらい

稲や米に関する情報を自分の方法で表現し、得た知識を生かしてまとめることができる。
 友だちとの発表にも興味を示し、理解・比較しながら意見交換を行い、学習過程の追究やまとめ方を検討・修正することができる。
 追究活動2やまとめの工夫に、教科の学習内容や教科で培った力を生かすことを意識することができる。

関連の段階：中間発表の段階


関連教科と考え方

国語「わたしたちの学校生活」
 学習活動の内容「カードを使って組み立てる・スピーチで大切なこと」を発表準備や発表の場で活用し、定着を図る。
算数・社会・理科
 算数・社会・理科で問題解決的な学習を構成する力を生かして情報を発信する。
手だて：「学びの掲示板」「学びの関連表」「学習シート」

指導計画の類型と関連事項

	教材や題材、学習活動での関連	資質・能力での関連
国語	タイプ1 教科から 応用(定着) 総合 国語 総合へ	伝えたいことをカードに書き出して、整理する構成する文章を書く原稿をつくるスピーチする <学習活動>
算数・社会・理科		効果的なグラフ等の提示の仕方 集めた情報を筋道を立ててまとめる力 まとめのレポートの書き方 比較して考える力

展開 (11・12 / 22 時間)

形態	学習活動() 留意点(・)	教科との関連	評価() 支援 ()ねらいを達成した児童へ ()ねらいの達成が不十分な児童へ
一斉	本時の活動予定を確かめる。 これまで追究してきたことを報告し合い、グループ内でアドバイスし合う。 ・中間発表会での情報交換やアドバイスをもとに活動を修正し、さらに課題を追究できるようにする。		自分の活動のねらいを確かめ、見通しをもって取り組もうとしているか。 <自 関心・意欲・態度/行動> 自分のねらいを達成するとともに、友だちへの働きかけや作業手順が理解できるように支援する。 自分の今日の活動を確認させたり、友だちと相談したりできるように支援する。
活動	プロジェクト隊ごとに分かれる。 追究活動で得たことが、伝わるように工夫して発表する。 ・あらかじめ発表の場、時間等を確認し、用具機材の準備点検をしておく。 発表に対して、意見を言ったり質問したりする。 ・発表を聞き、よいところや教科の学習とのつながりを自分の活動に生かすことができるようにする。 ・発表者の一覧表に気付いたこと(調べた方法、表現方法、調べた内容、疑問、質問など)を書くようにする。	国語 『わたしたちの学校生活』 学習活動：「構成、スピーチ等」 資質・能力：「話す・聞く・書く」 書く - だれに何をどのようにを工夫する 話す - 事実と感想、意見の組立を工夫する 算数・社会・理科 資質・能力：「問題解決の力」 資料・グラフ等を効果的に活用する 比かくして考える 筋道を立ててまとめる	調べたり体験したりしたことについて、自分なりに表現しようとしているか。 <自 関・意・態/行動・作品> 自分なりに工夫した方法で表現ができたことを認め、さらに追究しよう励ます。 表現できたことを認め、次の活動に意欲がもてるよう助言する。 友だちの表現活動を見聞きしながら、自分の課題についての考え方をさらに深めることができるか。 <共 思考・判断/行動・記録> 積極的な態度を認め、活動に生かす方法を考えるように促す。 友だちの発表から学べること(調べた方法、表現方法)を助言する。
活動	発信活動において、教科のどのような学習とつながりがあるか考え、教科との関連を具体的にイメージする。 ・発表内容から、具体化する。	↓ 具体的事例の提示	
一斉	発表内容から、具体化する。		
一斉	学習のまとめをする。		・学習シートに記入し、ふり返る。・次時の活動の予定を確認する。

考察：調査・探究した情報を基に、途中経過をグラフ・図・表等自分なりの方法でまとめ、発表している場面である。発表資料や表現方法から、国語で培った「話す、聞く、書く能力」の活用や資料、グラフ、図等を用いて比較して考え、筋道を立てて伝えたことを評価し、関連例を紹介する。このように、学びのつながりを意識化させることは、内面レベルでの関連である。児童は、無意識のうちに教科で培った力を発揮しており、具体的事例を取り上げることで相互の関連のよさを発見し、これからも教科の学習を活用していこうという意欲が見られた。

実践5 - 第5学年算数科 算数のひろば「きまりに目をつけて」

本時のねらい

棒を並べて正方形を作るときの、棒の数と正方形の数の規則性を調べる活動を通して、数量の関係を見付けたり、調べたりする能力を伸ばす。

関連の段階：見通しをもち自力解決をする段階

総合的な学習の時間との関連の考え方

総合的な学習の時間で培った問題解決の資質や能力（グラフや表からの考察・推察する力、数値同士の比較・検討する力）を生かして、問題を解決する。


手だて： 総合的な学習の時間での学習活動における学び方の確認「学びの掲示板」

指導計画の類型と関連事項

	教材や題材、学習活動での関連	資質・能力での関連
総合	タイプ2 総合から 応用・発展 教科 総合 教科へ <学習活動>	・数値化の処理（計算） ・表や式の作成 ・グラフや表の読み取り ・数値の考察 ・数値の取り出し 等 <思考・判断> <技能・表現>



展開 (1 / 1 時間)

段階	学習内容と活動 留意点(・)	総合的な学習の時間との関連	評価 関 興味・関心・態度 考 数学的な考え方
つかむ	1 問題を把握する。 長さの等しいぼうで正方形を作り正方形を横にならべていきます。31本のぼうでは、正方形は何こでできますか。 ・内容把握 - 条件を分析し、実演させて問題を把握させる。		
みとおす	2 課題を把握する。 正方形の数の調べ方を考えよう ・児童の言葉で課題を設定する。		
といてみる	3 課題解決のための見通しをもつ。 結果の見通し 方法の見通し ・図 ・数え棒 ・表 ・式 4 見通しをもとに自力解決をする。 ・表の有用性に気付かせる。 考えが進まない児童には、表の空欄をうめながら考えさせる。 表を用いて求める場合には途中で規則性を見付けて、その先を推測できるようにする。	総合：「お米博士になろう」学習活動「米の収穫量」「米の栄養素」など 資質・能力 「数値の取り出しや表を作成する力」 「数値を考察する力」 手だて 実際に作成した資料等を提示しながら、数値を表に表すことの有用性に気付かせ、積極的に活用していこうとする意識化を図る。	関 2つの数量の変化の仕方について、対応する数値を表に表すなどして問題を解決しようとしている。 (観察・ノート) 考 対応する数値を表した表から対応の規則性を論理的に考えている。 (観察・発言)
まとめる	5 考えたことを発表し合う。 ・多様な考えを認めながらも、表の活用を図る。 6 本時のまとめをする。 7 練習問題を解く。 ・表に表すなどして規則性を見付けて求められるようにする。 8 本時の学習をふり返る。 ・カードで自己評価させる。		

考察：総合的な学習の時間で培った力を教科の学習に生かす場面である。ここでは、総合『お米博士になろう』の学習活動で培った「表の作成」「数値の考察」といった能力を、算数の『きまりに目をつけて』の学習で表の有用性に気付かせながら、活用を図ることをねらった。相互に支え合う力を総合的な学習の時間と教科の中に見いだした関連指導が継続されることにより、関連学習の必然性を実感できるものとする。児童の表の作成や活用状況には個人差が見られたものの、対応する数値を考える場合には、表が有効であることを確認することができた。